
さぬき市総合計画のためのアンケート調査
【結果報告書】

平成30年7月

さぬき市

◇ 目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	1
II. 調査結果	2
□ あなたご自身について	2
□ 現在のまちづくりについて	11
□ これからのまちづくりについて	31
□ あなたの暮らしについて	59
□ 自由な意見	88

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第2次さぬき市総合計画」の前期基本計画の見直しに当たり、身近な生活環境、防災・防犯、教育、福祉など、様々な取組に対する市民の皆様の評価及び今後のまちづくりに対する意向を把握するために実施しました。

2. 調査概要

- 調査地域：さぬき市全域
- 調査対象者：18歳以上の市民
- 抽出方法：無作為抽出
- 調査期間：平成30年1月15日～平成30年1月29日
- 調査方法：郵送配布、郵送回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	回収数	回収数	
			有効回答数※	有効回答率※
総合計画に関する アンケート調査	2,500件	1,153件	1,144件	45.8%

※有効回答数、有効回答率は、回収数から無効回答分（白票・回収期限を超えたもの）を除いたものです。

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明、無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 問4、問5の経年比較について、前回調査では第1次総合計画の項目で調査を実施しているため、今回の調査内容と表記が異なる項目がありますが、類似する項目（分野）での比較を行っています。

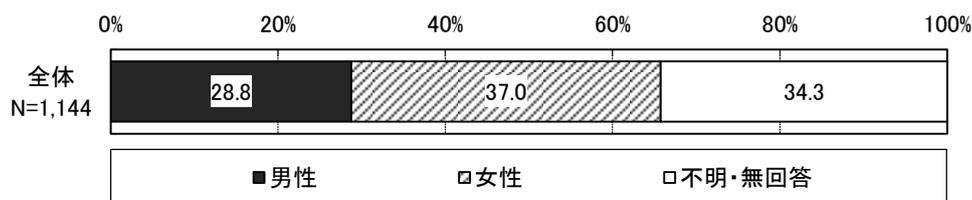
Ⅱ. 調査結果

□ あなたご自身について

問 1

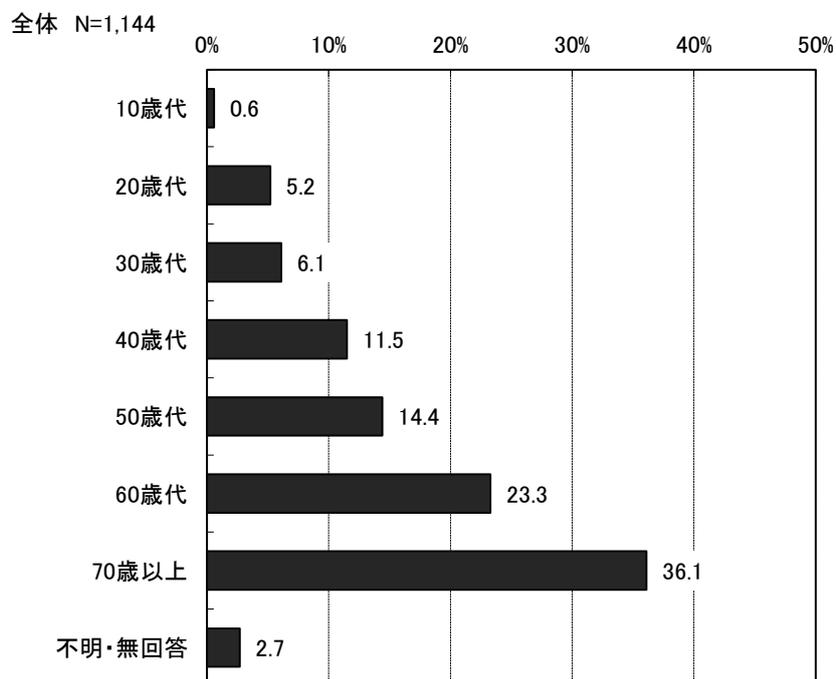
○ あなたの性別（1つに○印）

性別についてみると、「男性」が28.8%、「女性」が37.0%となっています。



○ あなたの年齢（1つに○印）

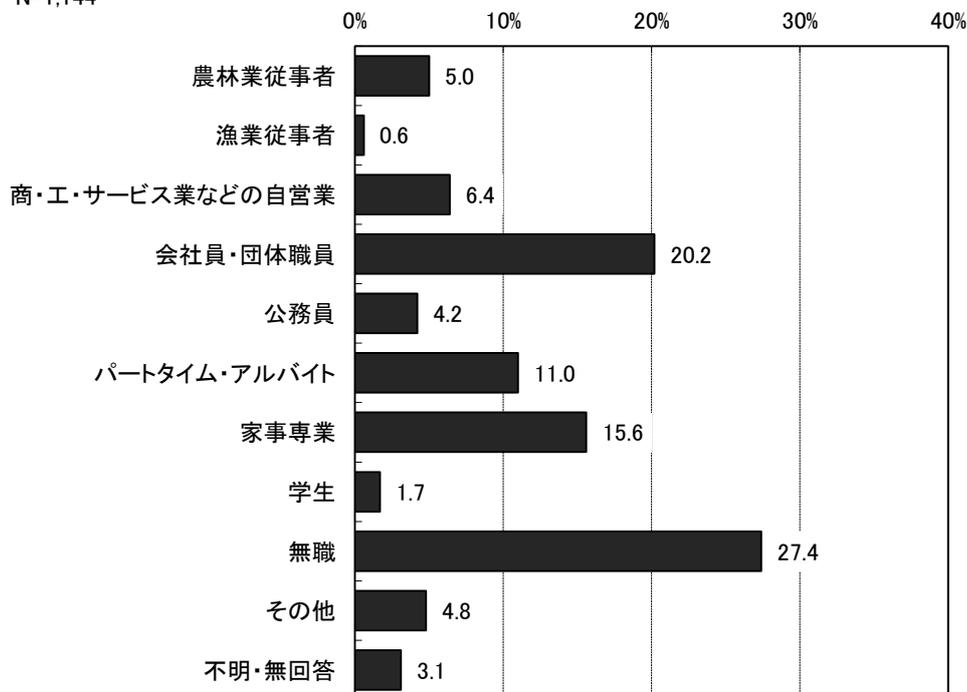
年齢についてみると、「70歳以上」が36.1%と最も高く、次いで、「60歳代」が23.3%、「50歳代」が14.4%となっています。



○ あなたの職業（1つに○印）

職業についてみると、「無職」が27.4%と最も高く、次いで、「会社員・団体職員」が20.2%、「家事専業」が15.6%となっています。

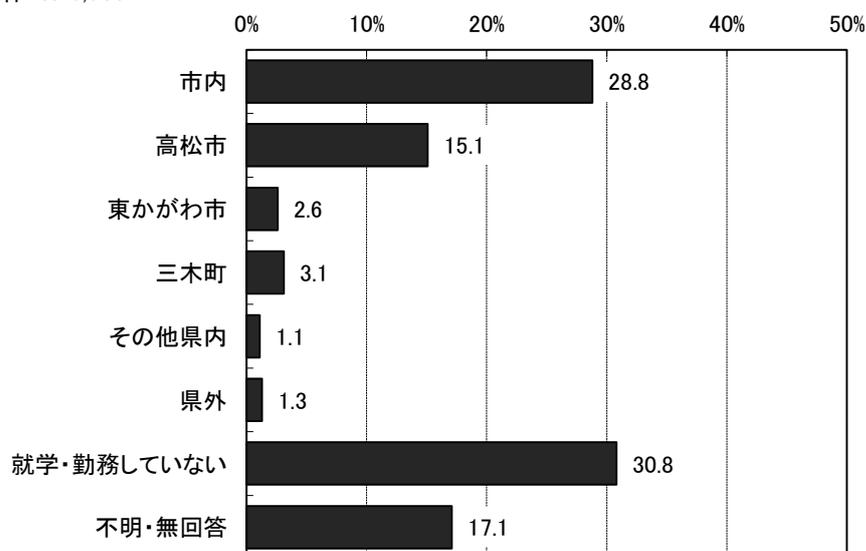
全体 N=1,144



○ あなたの就学先・勤務先（1つに○印）

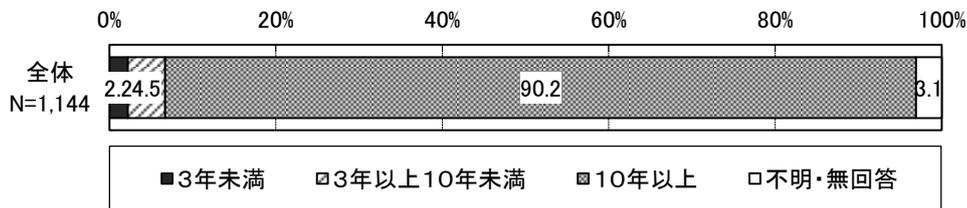
就学先・勤務先についてみると、「就学・勤務していない」が30.8%と最も高く、次いで、「市内」が28.8%、「高松市」が15.1%となっています。

全体 N=1,144



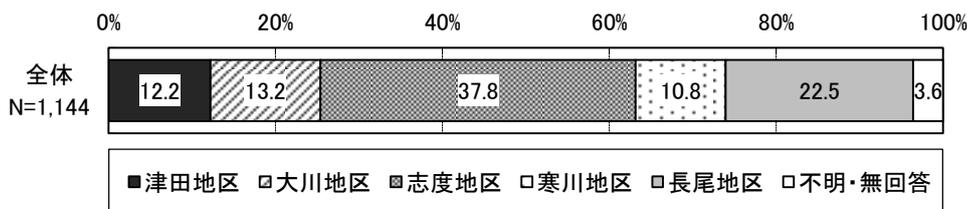
○ さぬき市での居住年数（※通算年数）（1つに○印）

居住年数についてみると、「10年以上」が90.2%と最も高く、次いで、「3年以上10年未満」が4.5%、「3年未満」が2.2%となっています。



○ あなたの居住地区（1つに○印）

居住地区についてみると、「志度地区」が37.8%と最も高く、次いで、「長尾地区」が22.5%、「大川地区」が13.2%となっています。

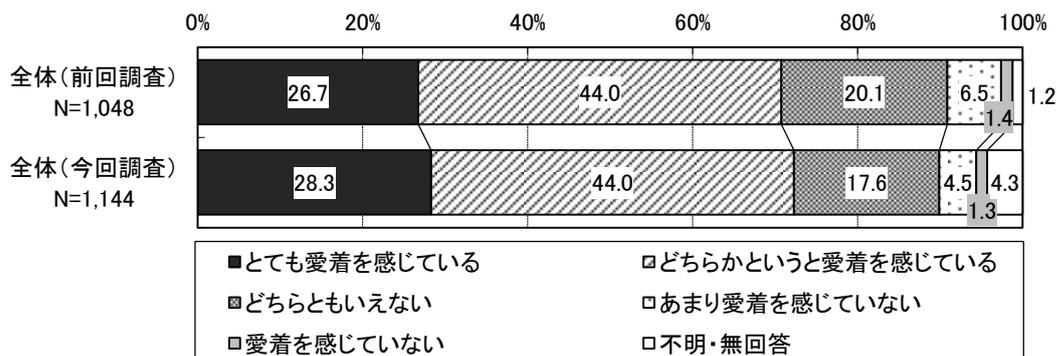


問2 あなたは、さぬき市に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか（1つに○印）

さぬき市に対して「自分のまち」としての愛着についてみると、今回調査において、「どちらかという愛着を感じている」が44.0%と最も高く、次いで、「とても愛着を感じている」が28.3%、「どちらともいえない」が17.6%となっており、『愛着がある（とても愛着を感じている+どちらかという愛着を感じているの合計）』と回答された方が72.3%となっています。

前回調査と比較すると、「とても愛着を感じている」の割合が増加しており、『愛着がある』の回答は1.6ポイント上昇しています。

【経年比較】

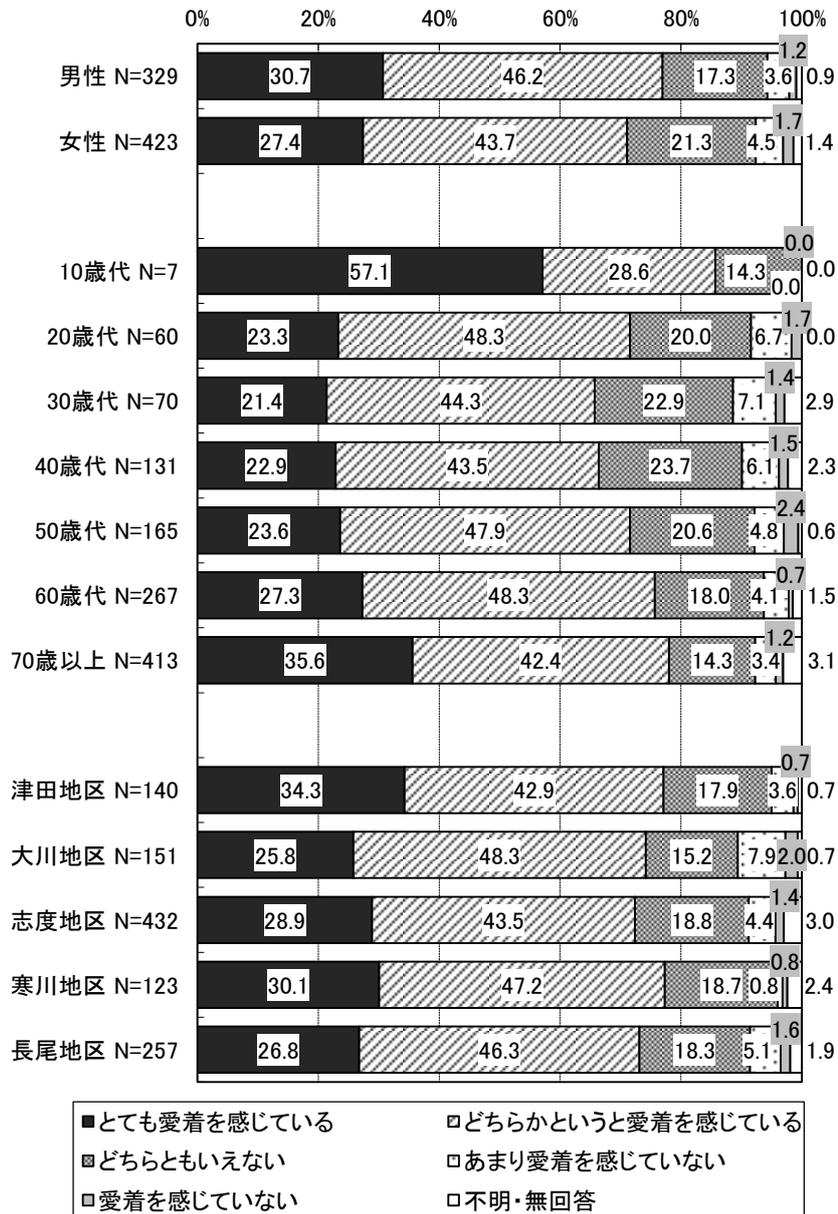


性別では、『愛着がある』と回答された方は、男性が76.9%、女性が71.1%と、女性より男性の割合が高くなっています。

年齢別では、『愛着がある』と回答された方は、30歳代が65.7%と最も低く、30歳代から70歳以上にかけて、年齢が上がるほど割合が高くなっています。

居住地区別では、津田地区の「とても愛着を感じている」が他の地区より割合が高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

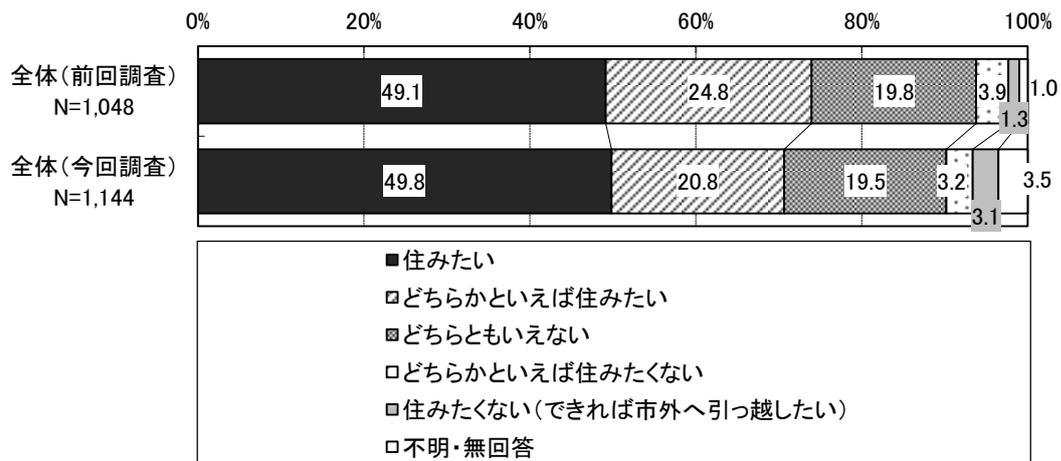


問3 あなたは、これからもさぬき市に住みたいと思いますか（1つに○印）

これからもさぬき市に住みたいと思いますかについてみると、今回調査において、「住みたい」が49.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば住みたい」が20.8%、「どちらともいえない」が19.5%となっており、『住みたい（住みたい+どちらかといえば住みたいの合計）』と回答された方が70.6%となっています。

前回調査と比較すると、「住みたい」の回答が0.7ポイント上昇している一方で、「住みたくない（できれば市外へ引っ越したい）」の回答も1.8ポイント上昇しています。

【経年比較】

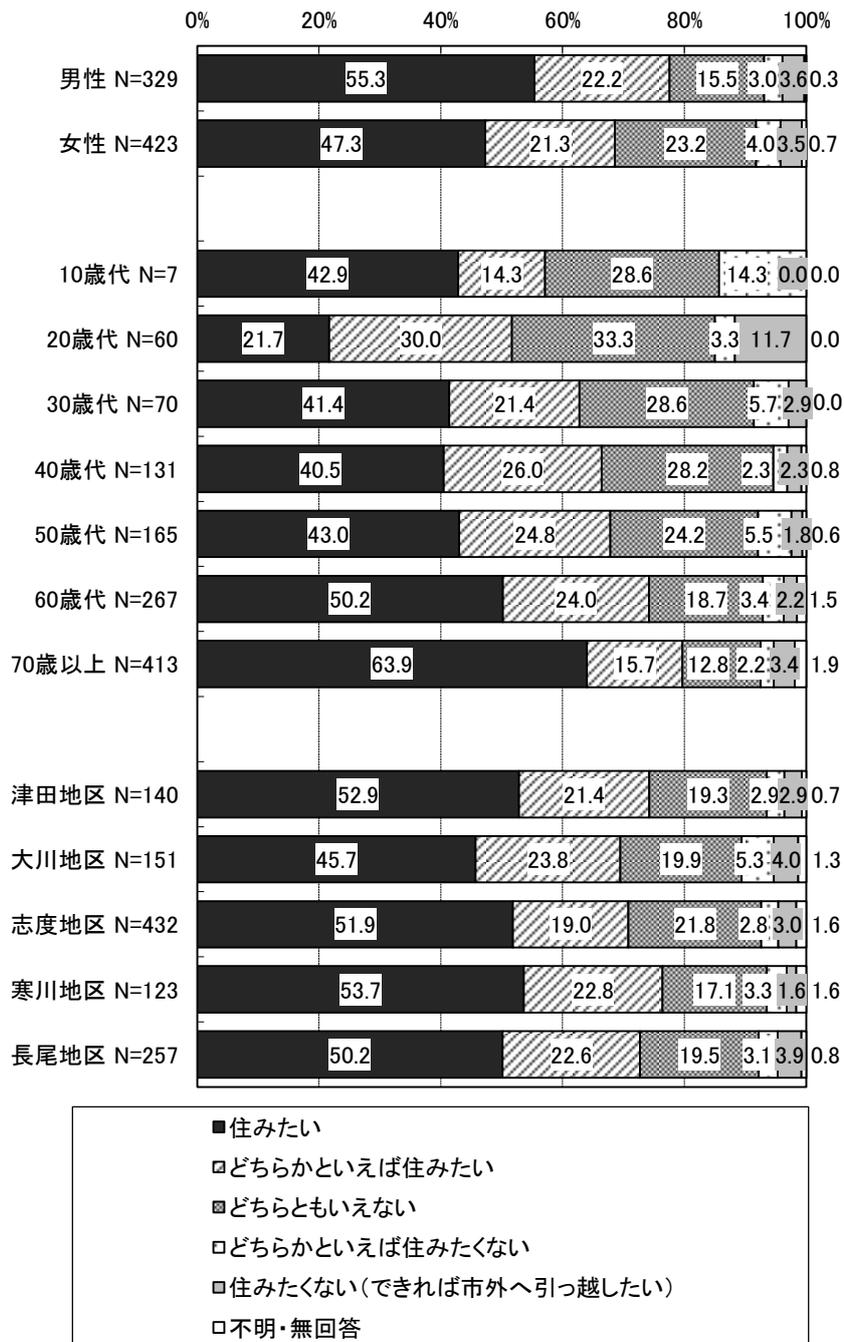


性別では、『住みたい』と回答された方は、男性が77.5%、女性が68.6%と、女性より男性の割合が高くなっています。

年齢別では、『住みたい』と回答された方は、20歳代が51.7%と最も低く、20歳代から70歳以上にかけて、年齢が上がるほど割合が高くなっており、20歳代では「住みたくない（できれば市外へ引っ越したい）」が11.7%と他の年齢より高くなっています。

居住地区別では、『住みたい』と回答された方は、寒川地区で76.5%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

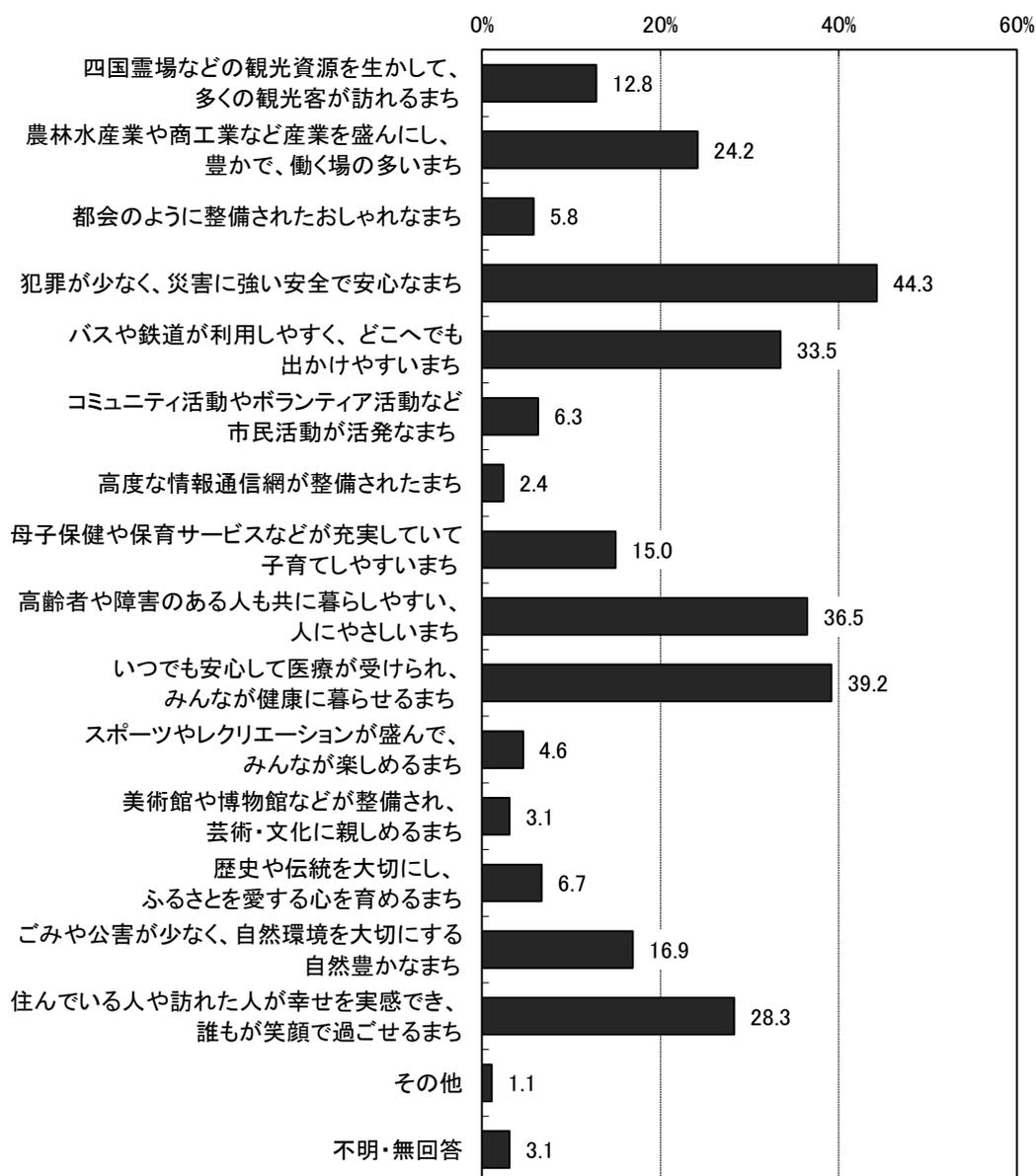


問4 あなたは今後のさぬき市について、どのようなまちになれば良いと思いますか (3つまで○印)

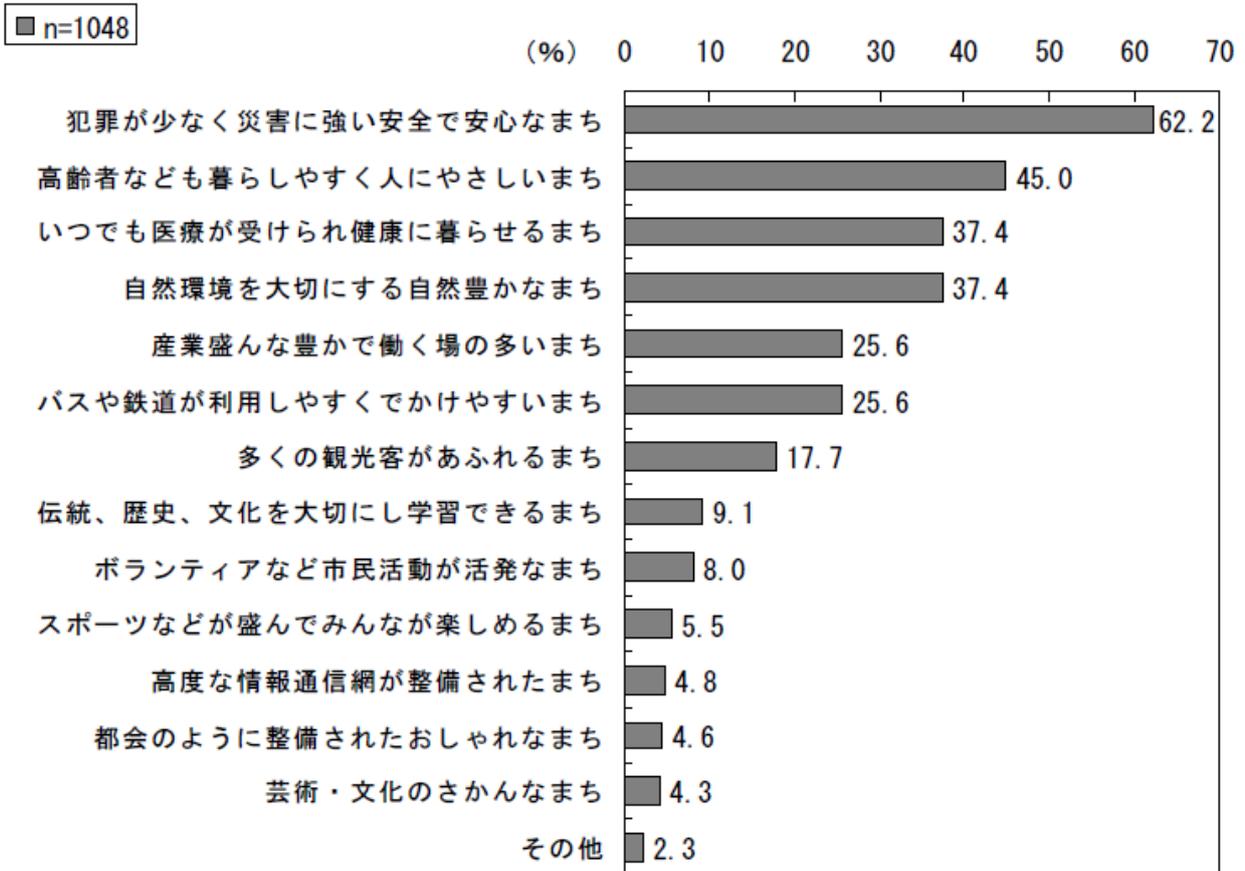
今後のさぬき市について、どのようなまちになれば良いと思いますかについてみると、「犯罪が少なく、災害に強い安全で安心なまち」が44.3%と最も高く、次いで、「いつでも安心して医療が受けられ、みんなが健康に暮らせるまち」が39.2%、「高齢者や障害のある人も共に暮らしやすい、人にやさしいまち」が36.5%となっています。

前回調査では、「犯罪が少なく災害に強い安全で安心なまち」が最も高く、次いで「高齢者なども暮らしやすく人にやさしいまち」、「いつでも医療が受けられ健康に暮らせるまち」となっており、同様の傾向がみられます。

全体 N=1,144



【参考：前回調査結果】



性別では、男女ともに「犯罪が少なく、災害に強い安全で安心なまち」が最も高くなっています。また、「バスや鉄道が利用しやすく、どこへでも出かけやすいまち」では、男性が28.6%、女性が40.0%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、30歳代は「母子保健や保育サービスなどが充実していて子育てしやすいまち」が50.0%と最も高くなっています。

居住地区別では、上位3位は全体とおおむね同様となっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数(人)	観光客が訪れる多くの観光資源を生かして、多くの観光客が訪れるなどの観光資	ちかど農林業を盛んに商多し、豊かな	た都会のよ様に整備され	強い犯罪が少なく、災害に	けやくすいどこへでも出か	バスや鉄道が利用しや	民活動が活発なまち	ラ活動が活発なまち	コ活動が活発なまち	備されたまち	高度な情報通信網が整	子育などが充実している	母子保健や保育サービス	人も高齢者や障害のある人	
性別	男性	329	13.4	28.3	6.4	45.3	28.6	5.8	3.6	12.5	33.4						
	女性	423	11.6	23.4	5.0	47.8	40.0	6.1	1.9	14.9	40.0						
年齢別	10歳代	7	28.6	0.0	14.3	57.1	71.4	0.0	0.0	14.3	0.0						
	20歳代	60	6.7	16.7	16.7	40.0	28.3	1.7	5.0	33.3	26.7						
	30歳代	70	14.3	12.9	8.6	48.6	24.3	4.3	5.7	50.0	14.3						
	40歳代	131	13.0	29.0	9.2	42.0	38.9	3.8	6.1	22.9	26.7						
	50歳代	165	8.5	30.3	6.1	41.8	40.0	5.5	2.4	12.7	38.2						
	60歳代	267	10.1	25.8	4.1	46.8	32.6	7.5	2.2	16.1	39.7						
	70歳以上	413	17.4	24.2	3.9	47.2	33.7	7.7	0.7	5.3	45.0						
居住地区別	津田地区	140	8.6	24.3	3.6	46.4	37.9	7.9	4.3	10.7	40.0						
	大川地区	151	8.6	22.5	4.0	45.0	39.1	3.3	4.0	11.9	34.4						
	志度地区	432	12.5	24.8	8.6	44.4	32.9	7.4	1.9	17.6	38.4						
	寒川地区	123	11.4	32.5	1.6	50.4	30.9	4.9	1.6	18.7	37.4						
	長尾地区	257	19.5	23.3	6.2	45.1	33.5	6.2	2.3	15.2	35.4						
		対象者数(人)	に受けられる安心な医療が	がシスポートが盛んな	し備美術館や博物館などが整	めふる歴史や伝統を大切に育	豊か環境を大切に自然	ごみや公害が少なく、自	が笑顔を過ごせるまち	が幸いでいる人や訪れた人	住んでる人や訪れた人	その他	不明・無回答				
性別	男性	329	42.2	5.5	3.0	8.8	18.2	29.8	2.1	0.6							
	女性	423	40.0	3.8	3.1	5.2	17.0	28.1	0.7	0.5							
年齢別	10歳代	7	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	57.1	0.0	0.0							
	20歳代	60	23.3	10.0	5.0	8.3	18.3	45.0	0.0	0.0							
	30歳代	70	34.3	8.6	2.9	8.6	22.9	17.1	2.9	0.0							
	40歳代	131	43.5	4.6	3.8	3.1	19.1	18.3	3.1	0.8							
	50歳代	165	37.6	9.1	4.8	7.3	15.8	30.3	2.4	0.0							
	60歳代	267	43.8	5.2	1.1	7.1	16.5	28.1	0.7	1.1							
	70歳以上	413	41.6	1.5	3.4	7.5	16.7	31.7	0.2	1.0							
居住地区別	津田地区	140	40.7	4.3	2.9	5.0	19.3	32.1	0.7	1.4							
	大川地区	151	48.3	4.0	2.6	3.3	21.9	30.5	1.3	0.7							
	志度地区	432	38.0	5.1	3.5	6.5	15.3	26.2	1.9	0.9							
	寒川地区	123	42.3	2.4	3.3	7.3	19.5	27.6	0.8	0.0							
	長尾地区	257	37.7	5.8	3.5	10.5	15.2	31.1	0.4	0.4							

(単位:%)

□ 現在のまちづくりについて

問5 さぬき市の現在の状況の満足度（1つに○印）

満足度が最も高い項目は、「資源循環型社会の構築」が 2.4 点、次いで、「生活安全対策の推進」が 1.9 点、「消防・防災体制の充実」「墓地・斎場の整備」「上下水道の維持・整備」がそれぞれ 1.7 点となっています。

満足度が最も低い項目は、「商工業の振興と産学官の連携強化」が-2.0 点、次いで、「雇用の場の確保と労働環境の充実」が-1.8 点、「住環境の整備と都市計画の推進」が-1.6 点となっています。

さぬき市の現在のまちづくりの状況について、どの程度満足しているかを把握するため、1. 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち、2. 安全、安心、快適に暮らせるまち、3. 健全な心身と思いやりを育むまち、4. 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち、5. 人と地球にやさしいまち、6. 市民協働による、持続可能な自主自律のまちの、基本目標6分野・基本施策 39 項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔下記参照〕による数量化で評価点（満足度：最高点 10 点、中間点 0 点、最低点 -10 点）を算出しました。

この結果、満足度評価が最も高い項目は、「資源循環型社会の構築」（2.4 点）となっており、次いで「生活安全対策の推進」（1.9 点）、「消防・防災体制の充実」「墓地・斎場の整備」「上下水道の維持・整備」（1.7 点）、と続き、以下、「心身の健康づくりに対する支援」（1.6 点）、「生涯学習・スポーツの推進」「歴史・文化の伝承」「自然環境との共生」それぞれ（1.0 点）、「家庭と地域の教育力の強化」（0.9 点）、「人権教育の推進」（0.7 点）、「学校教育の充実」（0.6 点）、「子育て支援の充実」「地域力の強化による地域福祉の充実」「青少年の健全育成」それぞれ（0.5 点）などの順となっています。

一方、満足度評価の低い項目をみると、「商工業の振興と産学官の連携強化」（-2.0 点）が最も低く、次いで「雇用の場の確保と労働環境の充実」（-1.8 点）、「住環境の整備と都市計画の推進」（-1.6 点）、「公共交通網の充実」（-1.5 点）、「定住促進対策」（-1.3 点）、「農林業の振興」「観光の振興」それぞれ（-1.2 点）、「企業誘致の推進」「財政の健全化」「公共施設マネジメントの推進」それぞれ（-0.8 点）、「歳入の確保」「行政改革の推進」それぞれ（-0.6 点）と続いています。

全体的にみると、39 項目のうち満足度がプラス評価の項目が 24 項目、マイナス評価の項目が 15 項目となっています。

※加重平均の計算方法

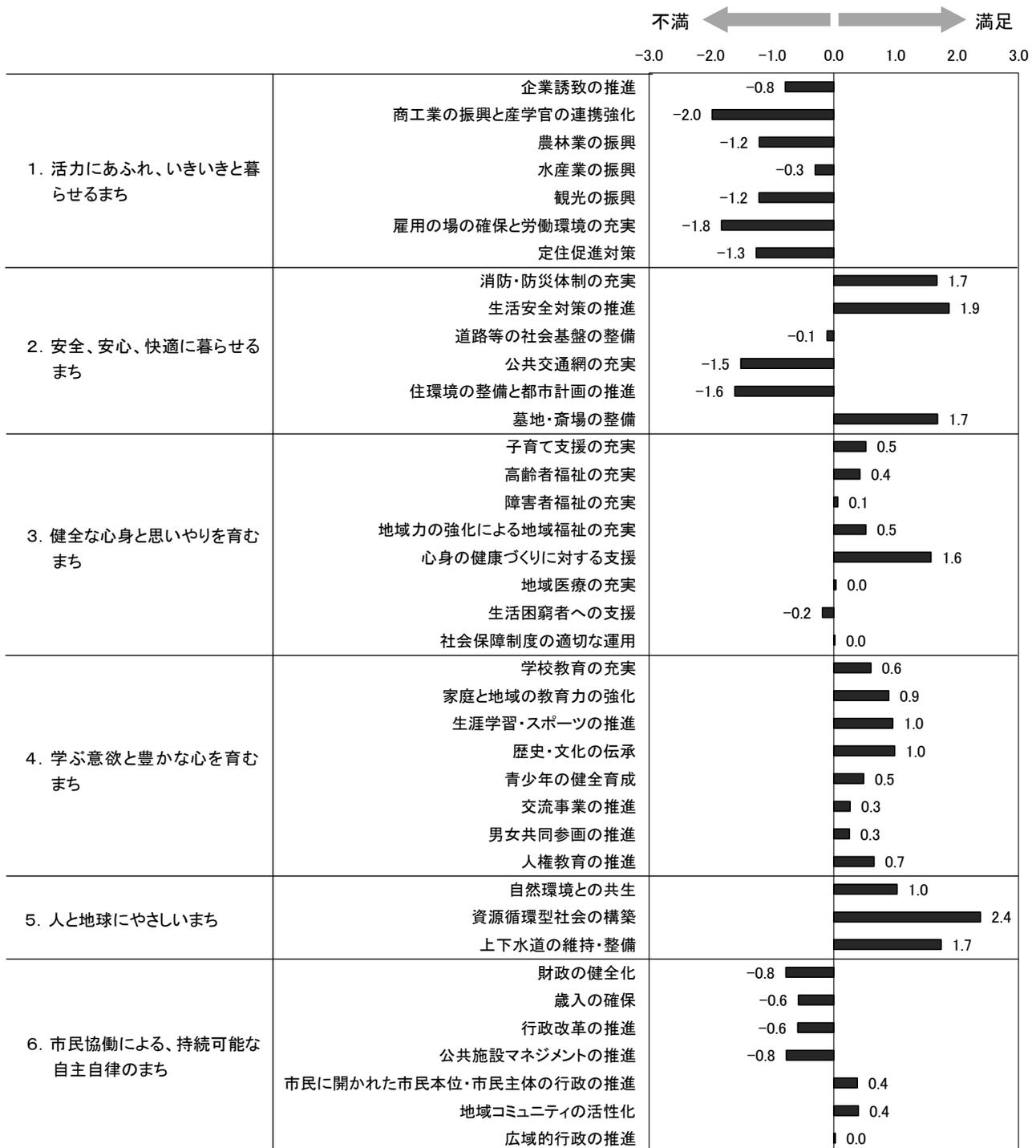
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\begin{aligned} \text{評価点} = & (\text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} + \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ & + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} + \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ & + \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点}) \div (\text{「満足している」、「どちらかといえば満足している」、} \\ & \text{「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の回答者数の合計}) \end{aligned}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に -10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

〈まちづくりの状況に関する満足度〉

(単位：評価点)

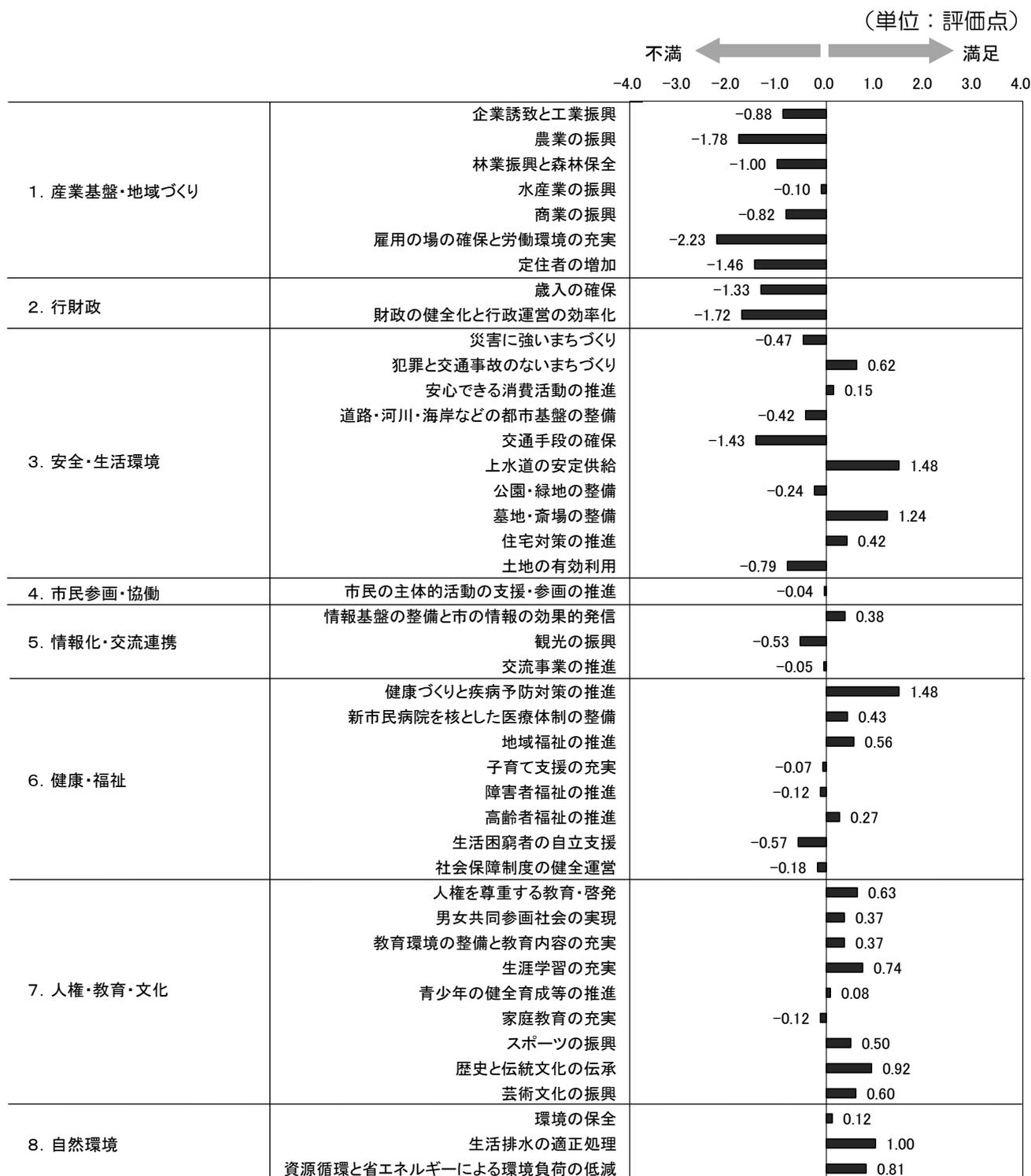


前回調査では、満足度の高い項目は、「上下水道の安定供給」が最も高く、次いで、「健康づくりと疾病予防対策の推進」、「墓地・斎場の整備」となっていました。

満足度が低い項目は、「雇用の場の確保と労働環境の充実」が最も低く、次いで、「農業の振興」、「財政の健全化と行政運営の効率化」となっていました。

また、前回調査と比較すると、住環境に関する項目では、満足度が下がっており、消防・防災に関する項目や家庭教育に関する項目、子育て支援に関する項目では、前回調査より満足度が上がっています。

【参考：前回調査結果】

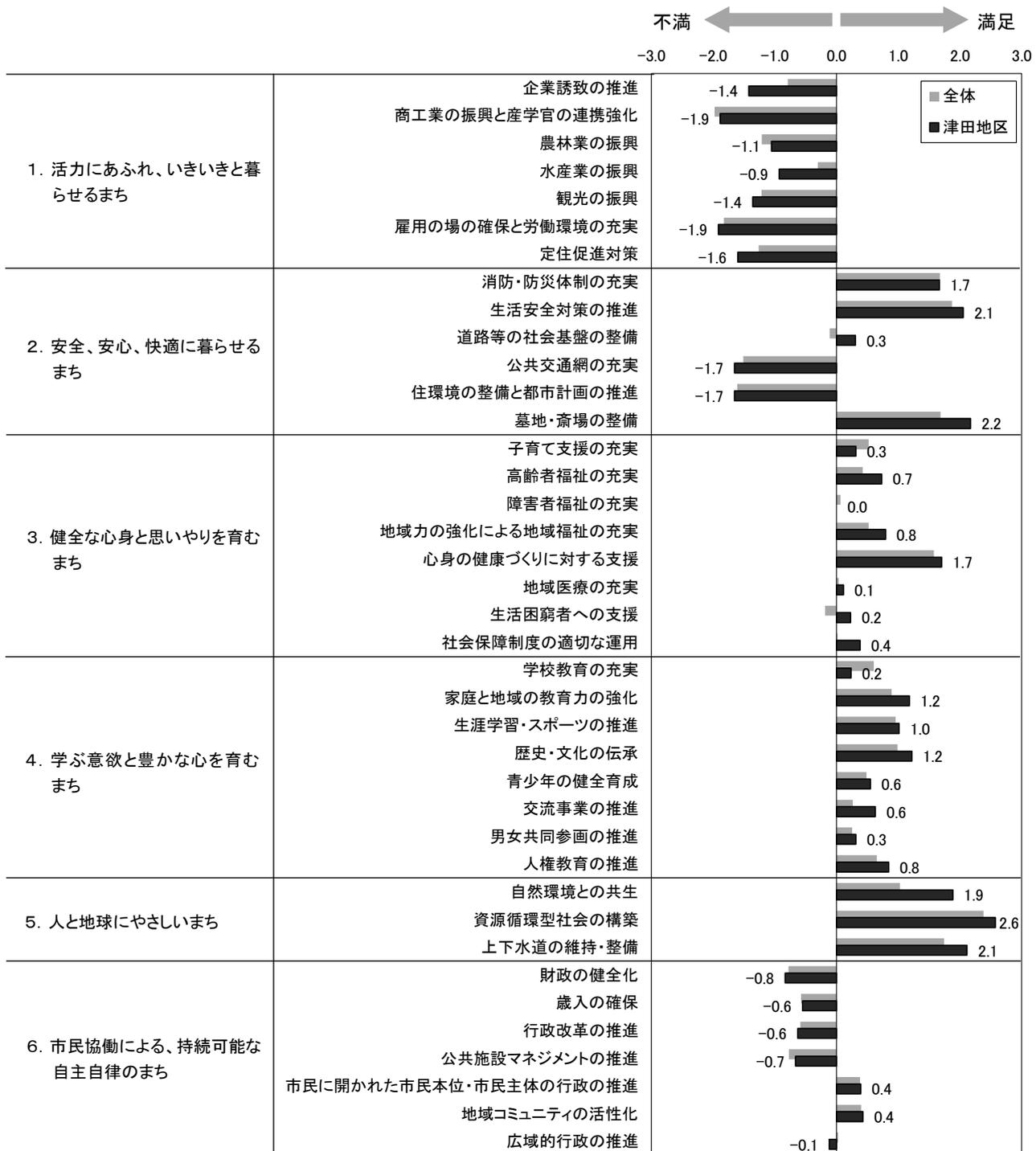


津田地区で満足度が最も高い項目は、「資源循環型社会の構築」が 2.6 点となっています。また、「自然環境との共生」では全体と比較して特に満足度が高くなっています。

満足度が最も低い項目は、「商工業の振興と産学官の連携強化」「雇用の場の確保と労働環境の充実」が-1.9 点となっています。また、「企業誘致の推進」「水産業の振興」では全体と比較して特に満足度が低くなっています。

【居住地区別：津田地区】

(単位：評価点)

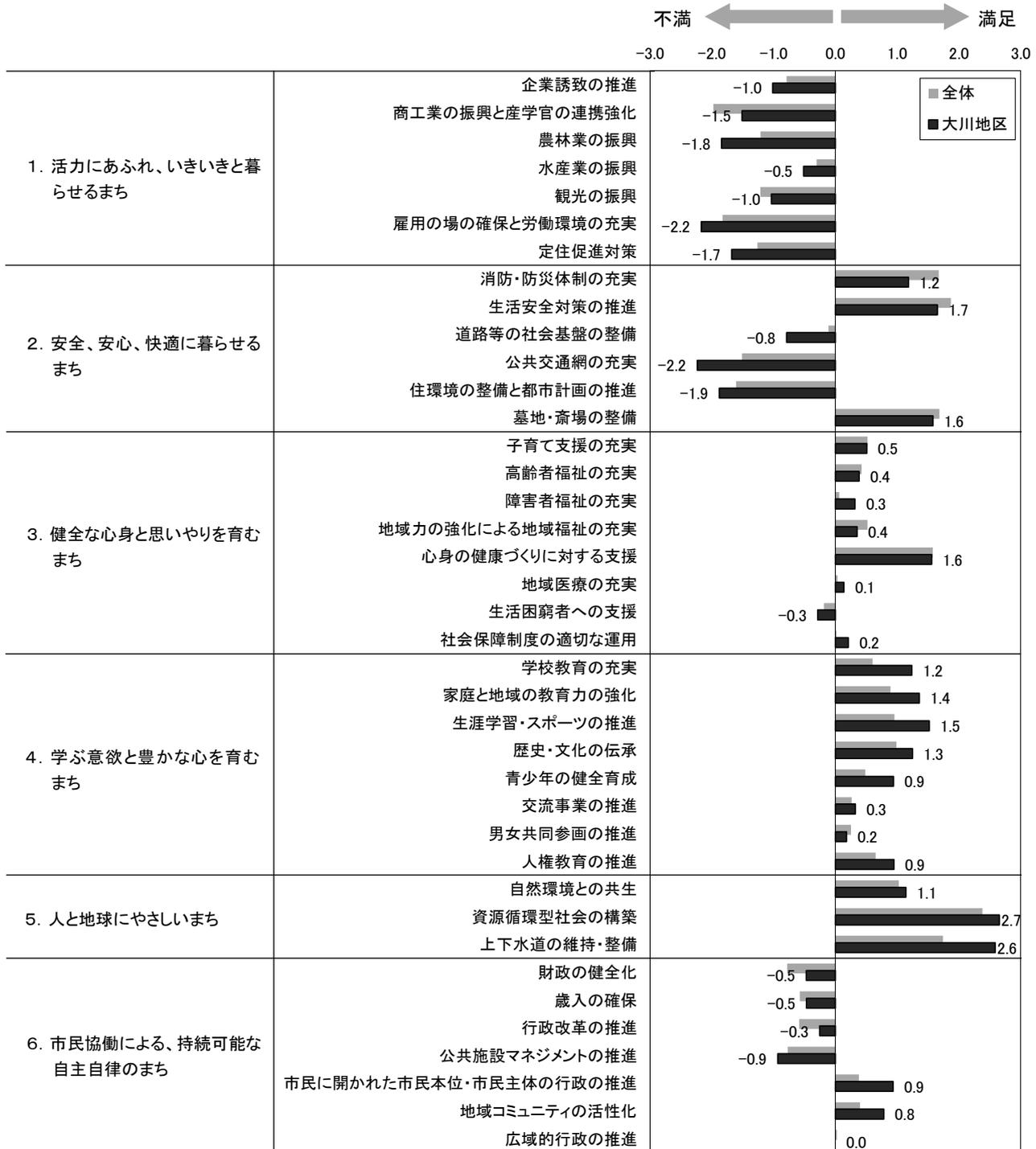


大川地区で満足度が最も高い項目は、「資源循環型社会の構築」が 2.7 点となっています。また、「上下水道の維持・整備」では全体と比較して特に満足度が高くなっています。

満足度が最も低い項目は、「雇用の場の確保と労働環境の充実」「公共交通網の充実」が-2.2 点となっています。また、「公共交通網の充実」では全体と比較して特に満足度が低くなっています。

【居住地区別：大川地区】

(単位：評価点)

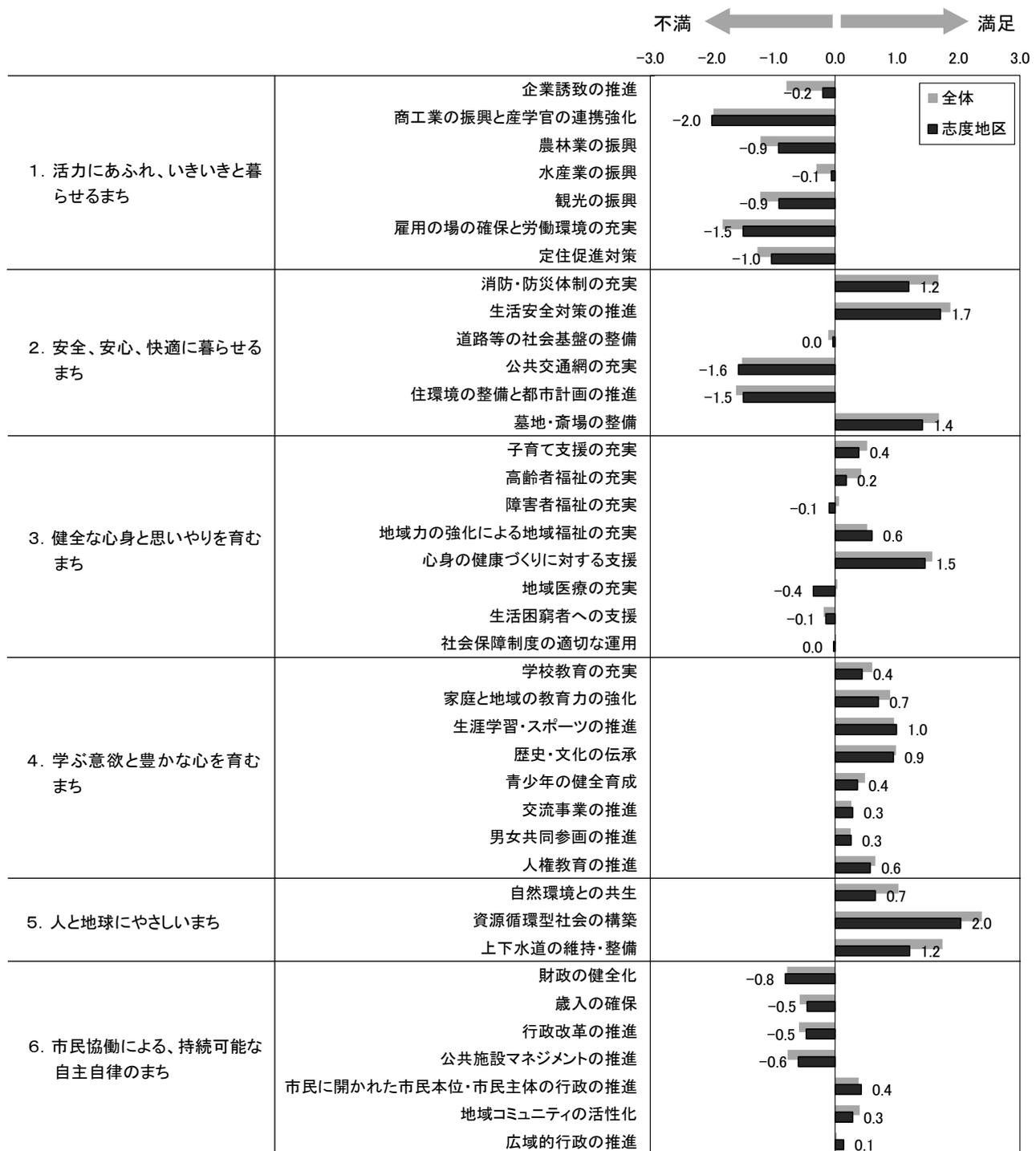


志度地区で満足度が最も高い項目は、「資源循環型社会の構築」が 2.0 点となっています。また、「企業誘致の推進」では全体と比較して特に満足度が高くなっているものの、-0.2 点とマイナス評価となっています。

満足度が最も低い項目は、「商工業の振興と産学官の連携強化」が-2.0 点となっています。また、「地域医療の充実」では全体と比較して特に満足度が低く、-0.4 点とマイナス評価となっています。

【居住地区別：志度地区】

(単位：評価点)

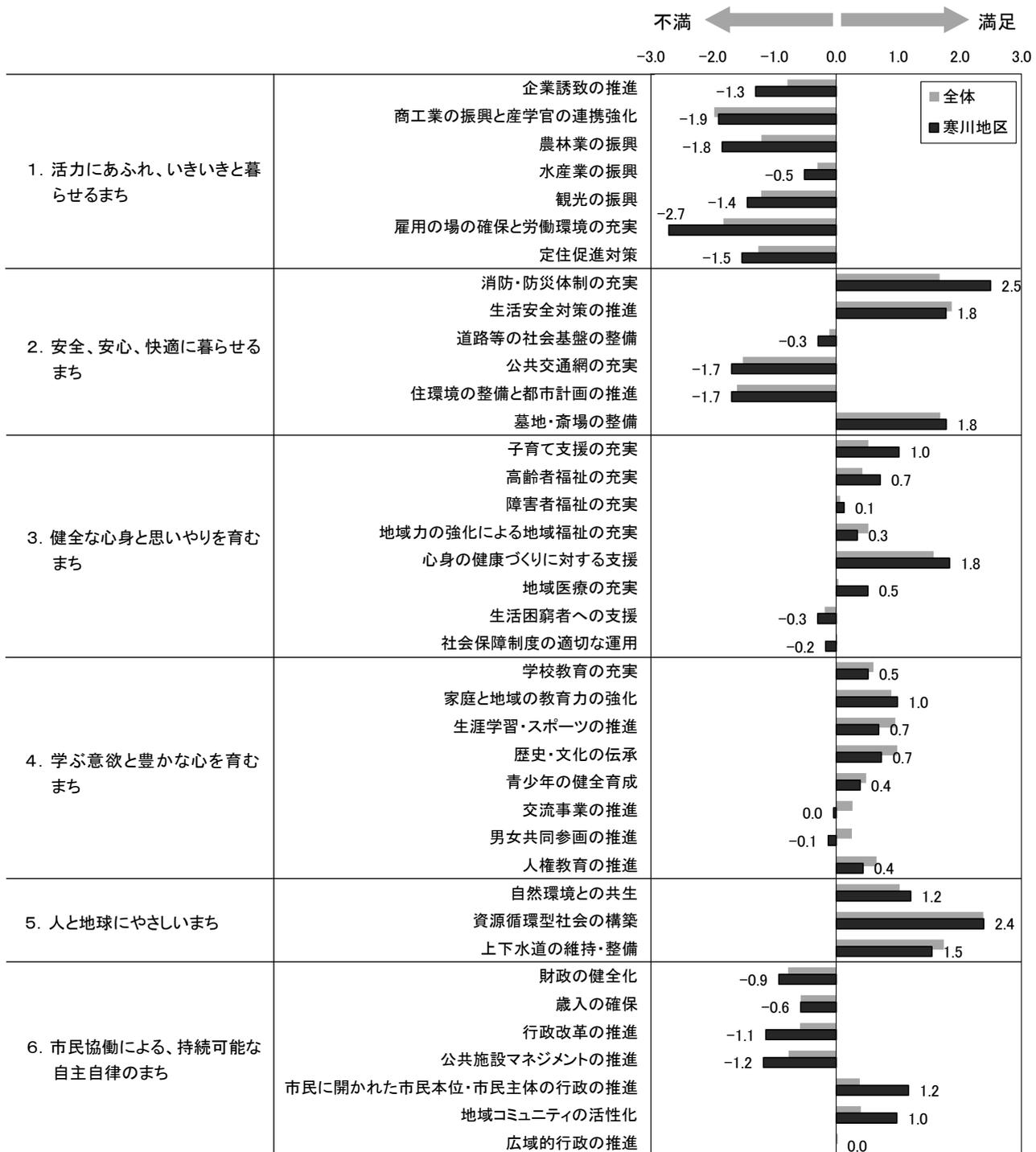


寒川地区で満足度が最も高い項目は、「消防・防災体制の充実」が2.5点となっており、全体と比較して特に満足度が高くなっています。また、「市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推移」「地域コミュニティの活性化」でも体と比較して特に満足度が高くなっています。

満足度が最も低い項目は、「雇用の場の確保と労働環境の充実」が-2.7点となっており、全体と比較して特に満足度が低くなっています。

【居住地区別：寒川地区】

(単位：評価点)

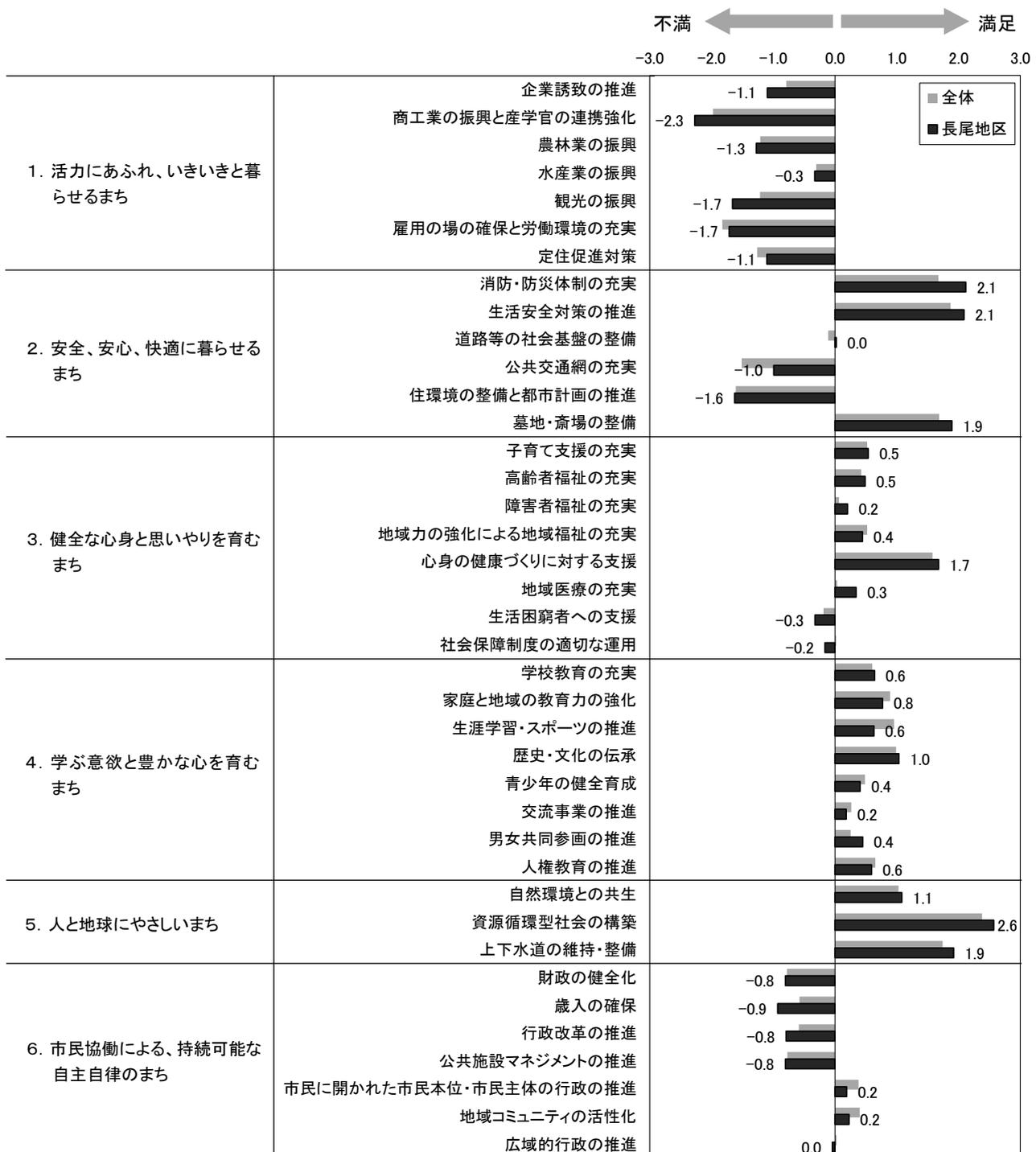


長尾地区で満足度が最も高い項目は、「資源循環型社会の構築」が 2.6 点となっています。また、「公共交通網の充実」では全体と比較して特に満足度が高くなっているものの、-1.0 点とマイナス評価となっています。

満足度が最も低い項目は、「商工業の振興と産学官の連携強化」が-2.3 点となっています。また、「観光の振興」では全体と比較して特に満足度が低くなっています。

【居住地区別：長尾地区】

(単位：評価点)



問5 今後のまちづくりにおける重要度（1つに○印）

重要度が最も高い項目は、「消防・防災体制の充実」「生活安全対策の推進」がそれぞれ 6.4 点、次いで、「地域医療の充実」「財政の健全化」がそれぞれ 6.3 点、「学校教育の充実」が 6.2 点となっています。

さぬき市のまちづくりの状況について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ6分野 39 項目について、「重要である」、「やや重要である」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔下記参照〕による数量化で評価点（重要度：最高点 10 点、中間点 0 点、最低点-10 点）を算出しました。

この結果、重要度評価が最も高い項目は、「消防・防災体制の充実」「生活安全対策の推進」それぞれ（6.4 点）となっており、次いで「地域医療の充実」「財政の健全化」それぞれ（6.3 点）、「学校教育の充実」（6.2 点）、「雇用の場の確保と労働環境の充実」（6.0 点）、「資源循環型社会の構築」（5.9 点）、「道路等の社会基盤の整備」「高齢者福祉の充実」「上下水道の維持・整備」それぞれ（5.8 点）、「社会保障制度の適切な運用」（5.7 点）、「心身の健康づくりに対する支援」（5.6 点）、「商工業の振興と産学官の連携強化」「農林業の振興」「歳入の確保」それぞれ（5.5 点）、「公共交通網の充実」「障害者福祉の充実」それぞれ（5.4 点）などの順となっています。

※加重平均の計算方法

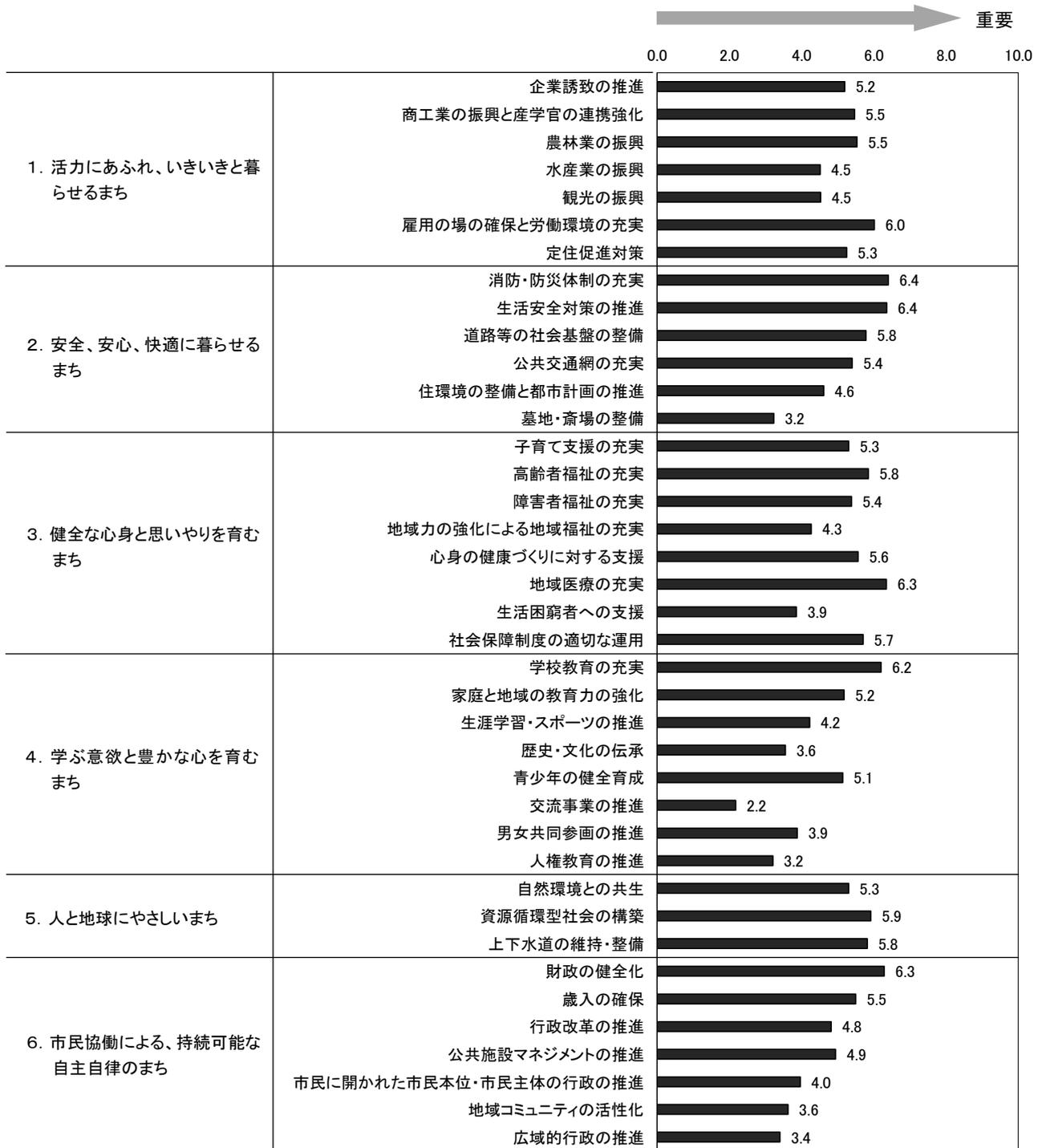
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\begin{aligned} \text{評価点} = & (\text{「重要である」の回答者数} \times 10 \text{ 点} + \text{「やや重要である」の回答者数} \times 5 \text{ 点} + \text{「どちらともいえない」の} \\ & \text{回答者数} \times 0 \text{ 点} + \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} + \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{ 点}) \\ & \div (\text{「重要である」、「やや重要である」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」} \\ & \text{の回答者数の合計}) \end{aligned}$$

この算出方法により、評価点（重要度）は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

<まちづくりの状況に関する重要度>

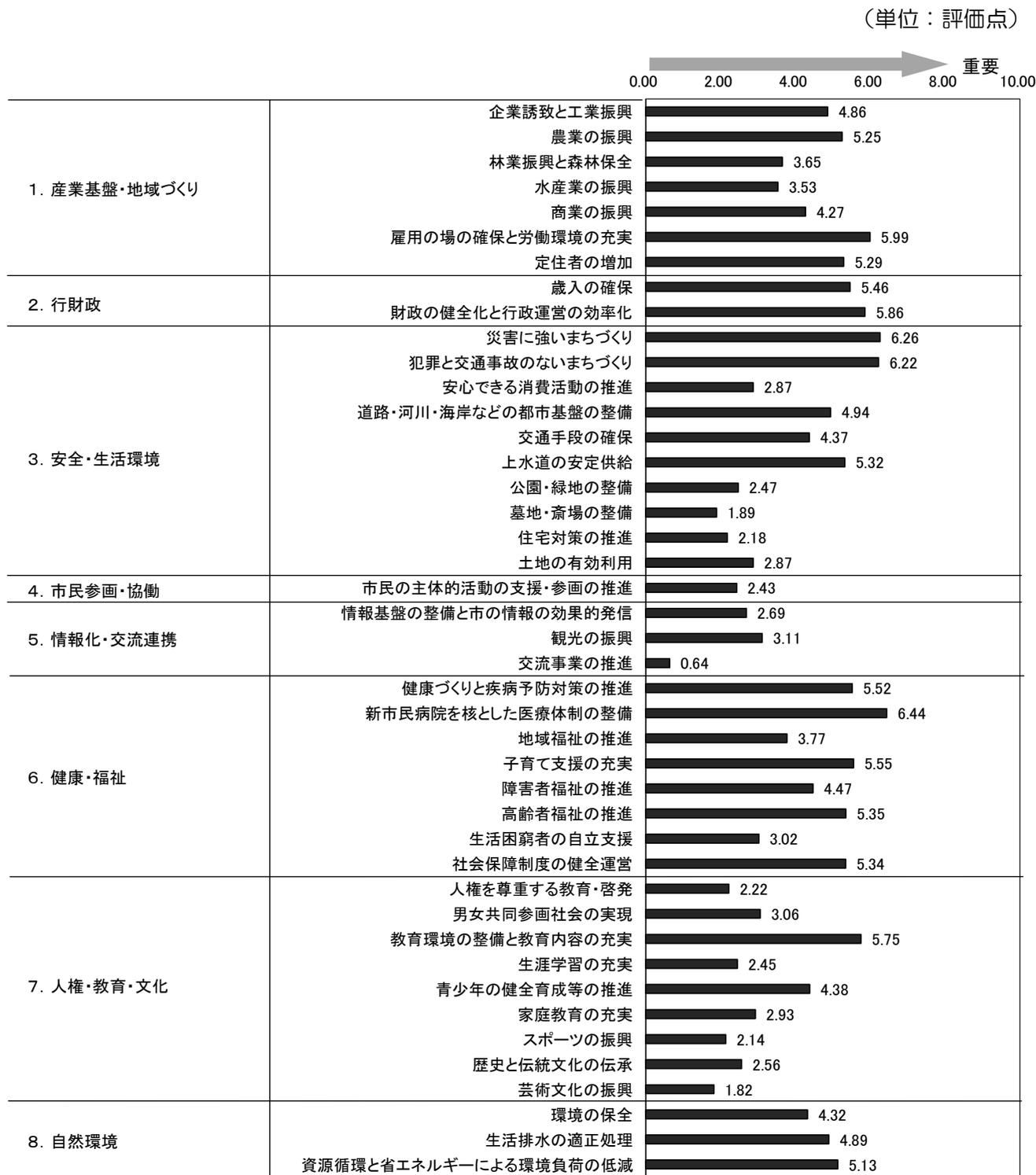
(単位：評価点)



前回調査では、重要度の高い項目は、「新市民病院を核とした医療体制整備」が最も高く、次いで、「災害に強いまちづくり」、「犯罪と交通事故のないまちづくり」となっていました。

上位の項目は、前回調査と同様の項目が高くなっていますが、学校教育に関する項目では、前回調査よりも重要度が上がっています。

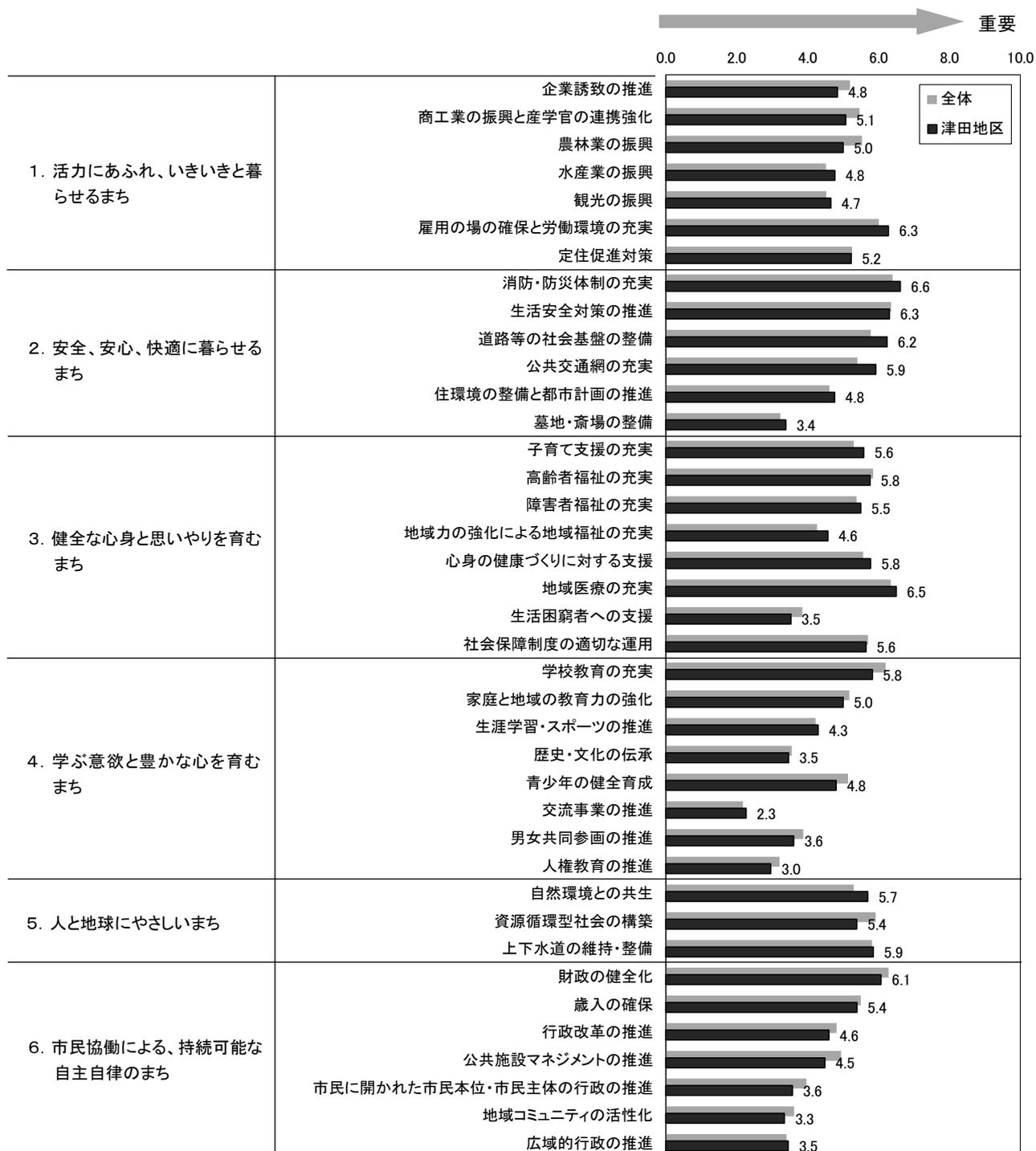
【参考：前回調査結果】



津田地区で重要度が最も高い項目は、「消防・防災体制の充実」が6.6点となっています。また、「公共交通網の充実」では全体と比較して特に重要度が高く、「農林業の振興」では全体と比較して特に重要度が低くなっています。

【居住地区別：津田地区】

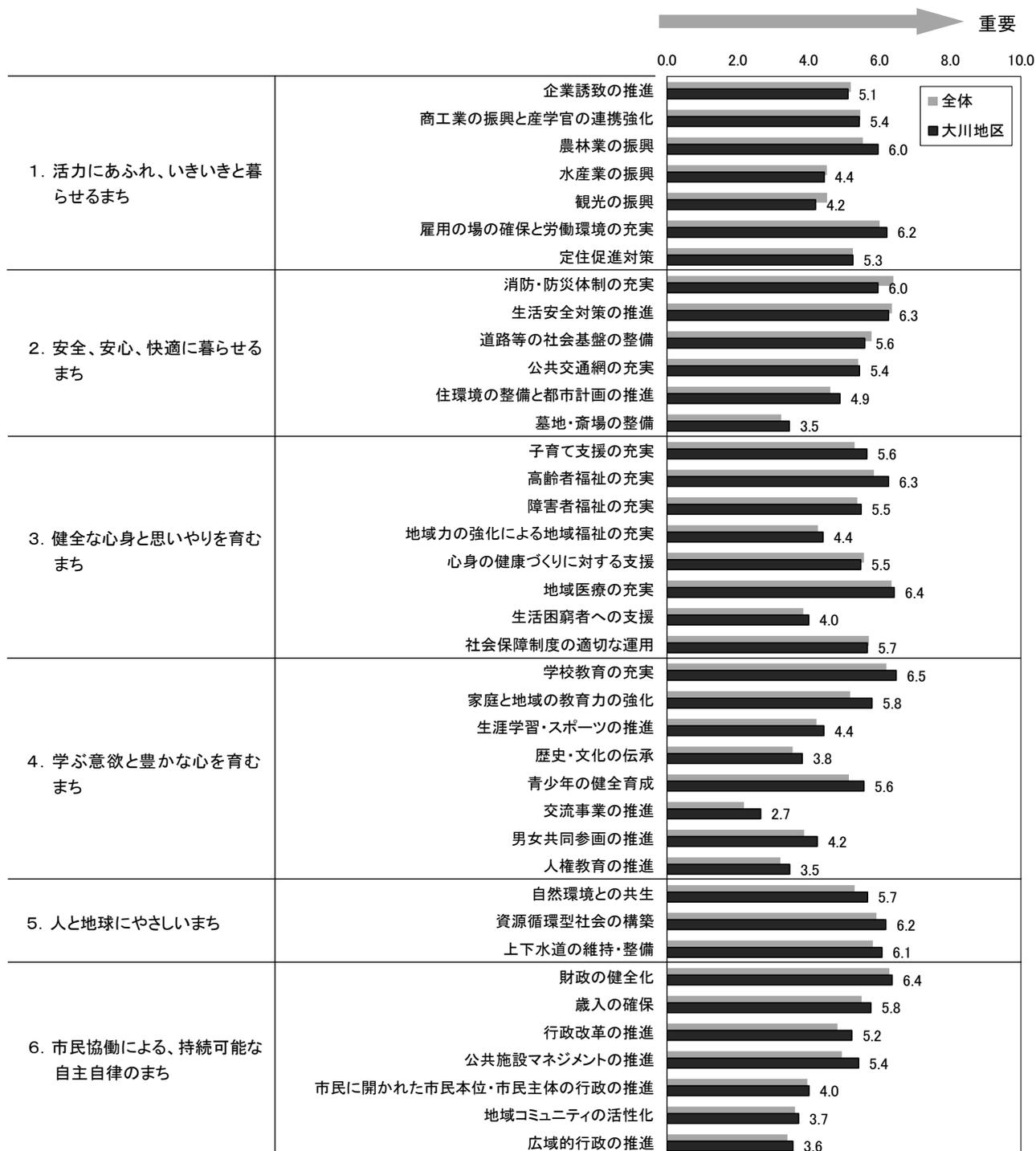
(単位：評価点)



大川地区で重要度が最も高い項目は、「学校教育の充実」が 6.5 点となっています。また、「家庭と地域の教育力の強化」では全体と比較して特に重要度が高く、「消防・防災体制の充実」では全体と比較して特に重要度が低くなっています。

【居住地区別：大川地区】

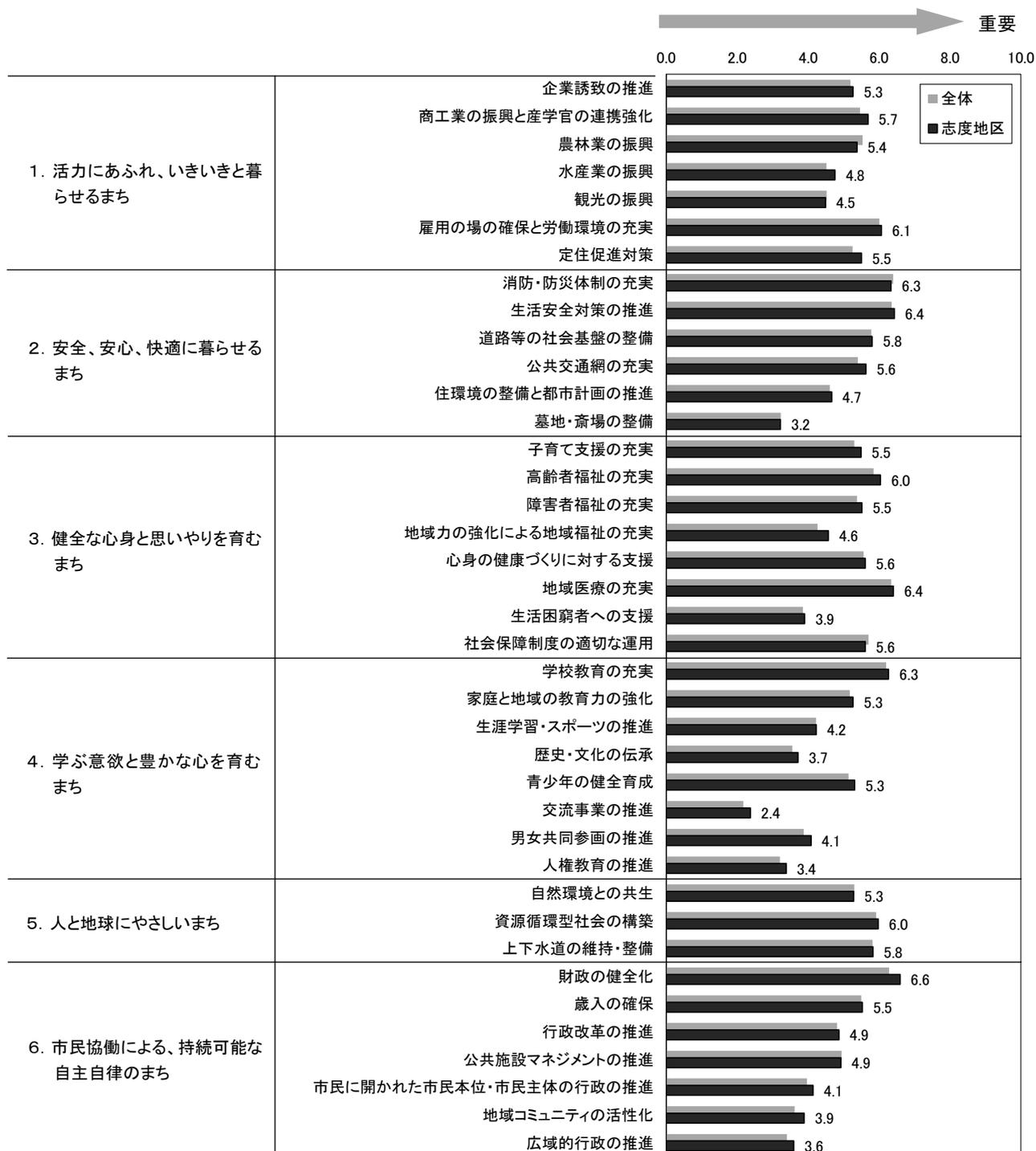
(単位：評価点)



志度地区で重要度が最も高い項目は、「財政の健全化」が6.6点となっており、全体と比較して特に重要度が高くなっています。また、「農林業の振興」では全体と比較して特に重要度が低くなっています。

【居住地区別：志度地区】

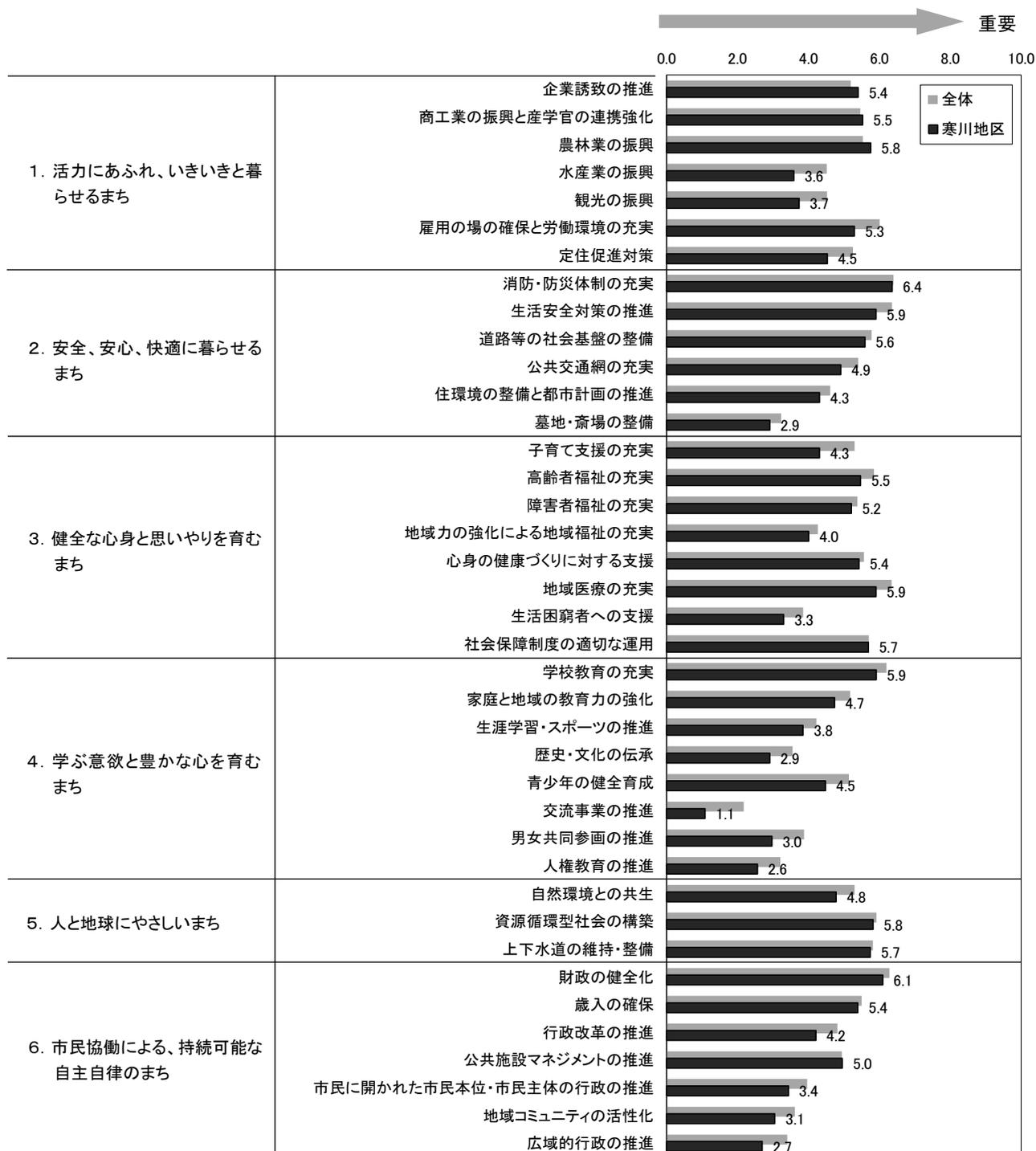
(単位：評価点)



寒川地区で重要度が最も高い項目は、「消防・防災体制の充実」が 6.4 点となっています。また、「農林業の振興」では全体と比較して特に重要度が高く、「交流事業の推進」では全体と比較して特に重要度が低くなっています。

【居住地区別：寒川地区】

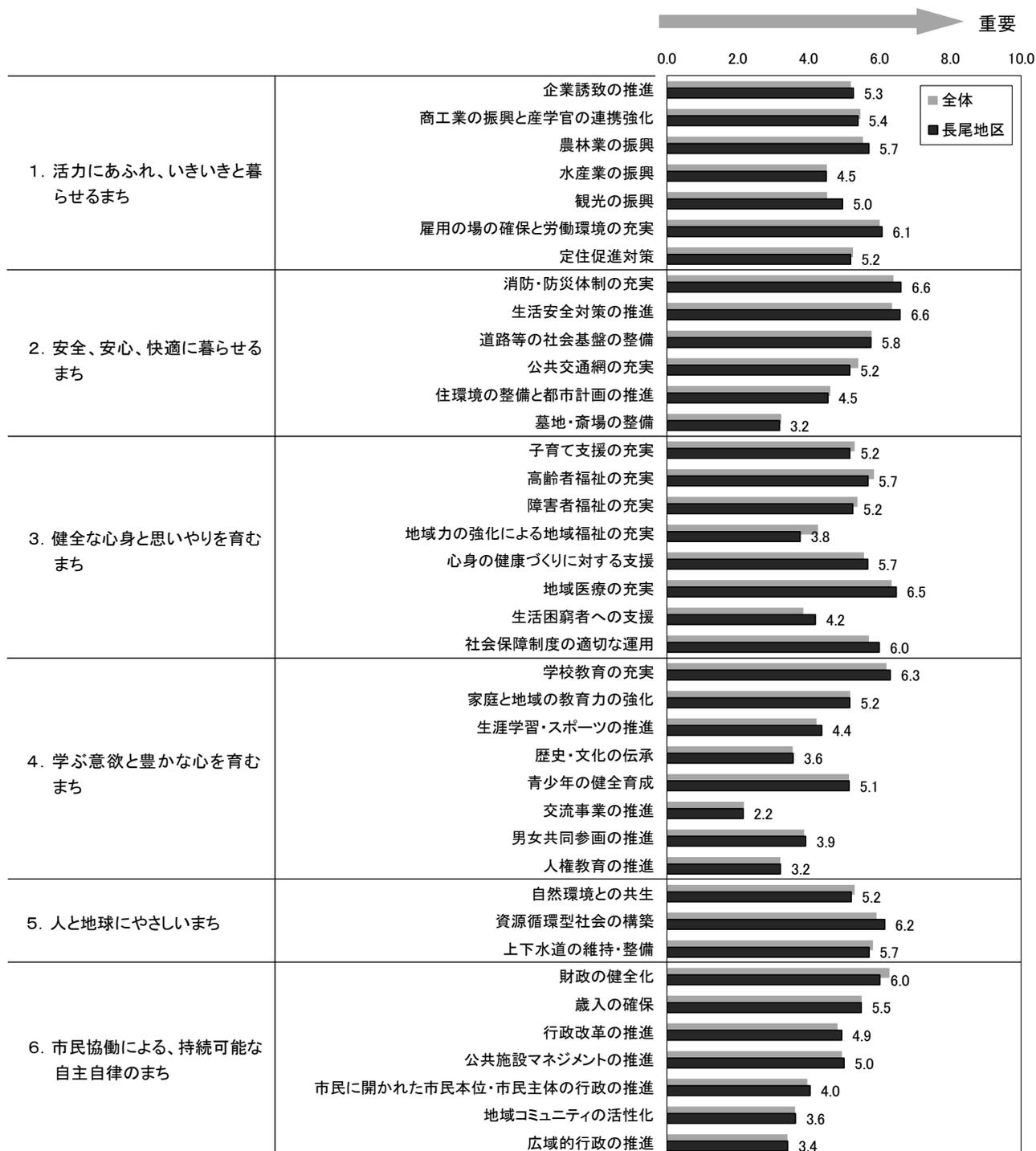
(単位：評価点)



長尾地区で重要度が最も高い項目は、「消防・防災体制の充実」「生活安全対策の推進」が 6.6 点となっています。また、「観光の振興」では全体と比較して特に重要度が高く、「地域力の強化による地域福祉の充実」では全体と比較して特に重要度が低くなっています。

【居住地区別：長尾地区】

(単位：評価点)



問5 今後のまちづくりにおける優先度

優先度が最も高い項目は、「雇用の場の確保と労働環境の充実」が17.2点、次いで、「財政の健全化」が13.3点、「商工業の振興と産学官の連携強化」が13.2点となっています。

これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図からの数量化〔下記参照〕による分析で優先度（評価点：最高点42.43点、中間点0点、最低点-42.43点）を算出しました。

この結果をみると、優先度は、「雇用の場の確保と労働環境の充実」（17.2点）が第1位となっており、次いで「財政の健全化」（13.3点）、「商工業の振興と産学官の連携強化」（13.2点）、「公共交通網の充実」（10.6点）、「農林業の振興」（10.5点）、「定住促進対策」（8.4点）、「歳入の確保」（7.7点）、「地域医療の充実」（7.2点）、「住環境の整備と都市計画の推進」（6.0点）、「企業誘致の推進」（5.8点）、「道路等の社会基盤の整備」（5.5点）などの順となっています。〔次頁、散布図・グラフ参照〕

※優先度の算出方法

- ①散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。

例：「雇用の場の確保と労働環境の充実」→満足度偏差値 31.89…、重要度偏差値 60.19…

- ②①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。

例：「雇用の場の確保と労働環境の充実」→ $20.78\dots = \sqrt{(31.89-50)^2 + (60.19-50)^2}$

- ③平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。

例：「雇用の場の確保と労働環境の充実」→15.65度

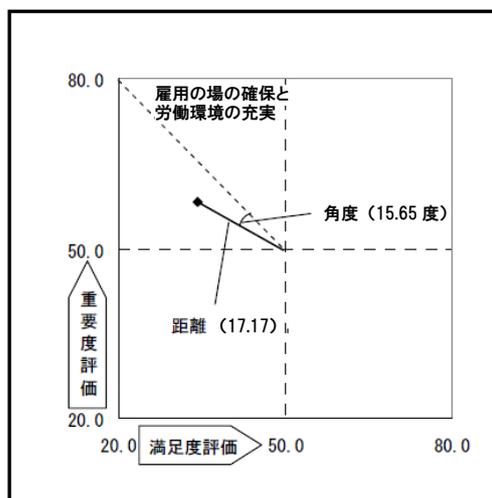
- ④③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。

例：「雇用の場の確保と労働環境の充実」→ $0.8262 = (90 - 15.65) \times (1 \div 90)$

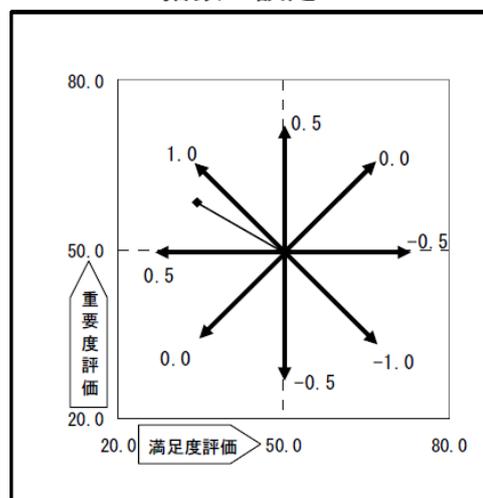
- ⑤②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。

例：「雇用の場の確保と労働環境の充実」→ $17.17 = 20.78\dots \times 0.8262\dots$

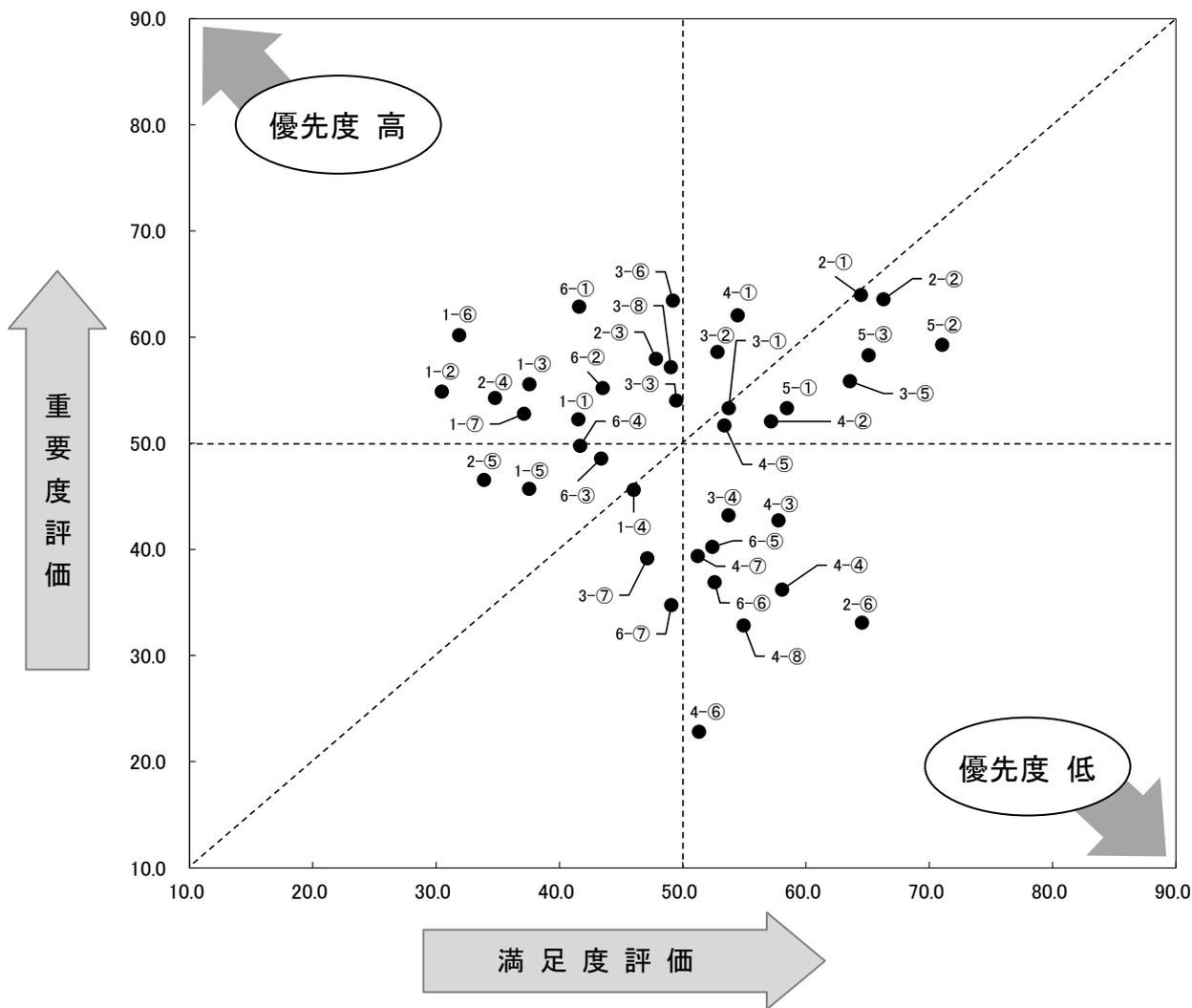
距離・角度



指数の設定



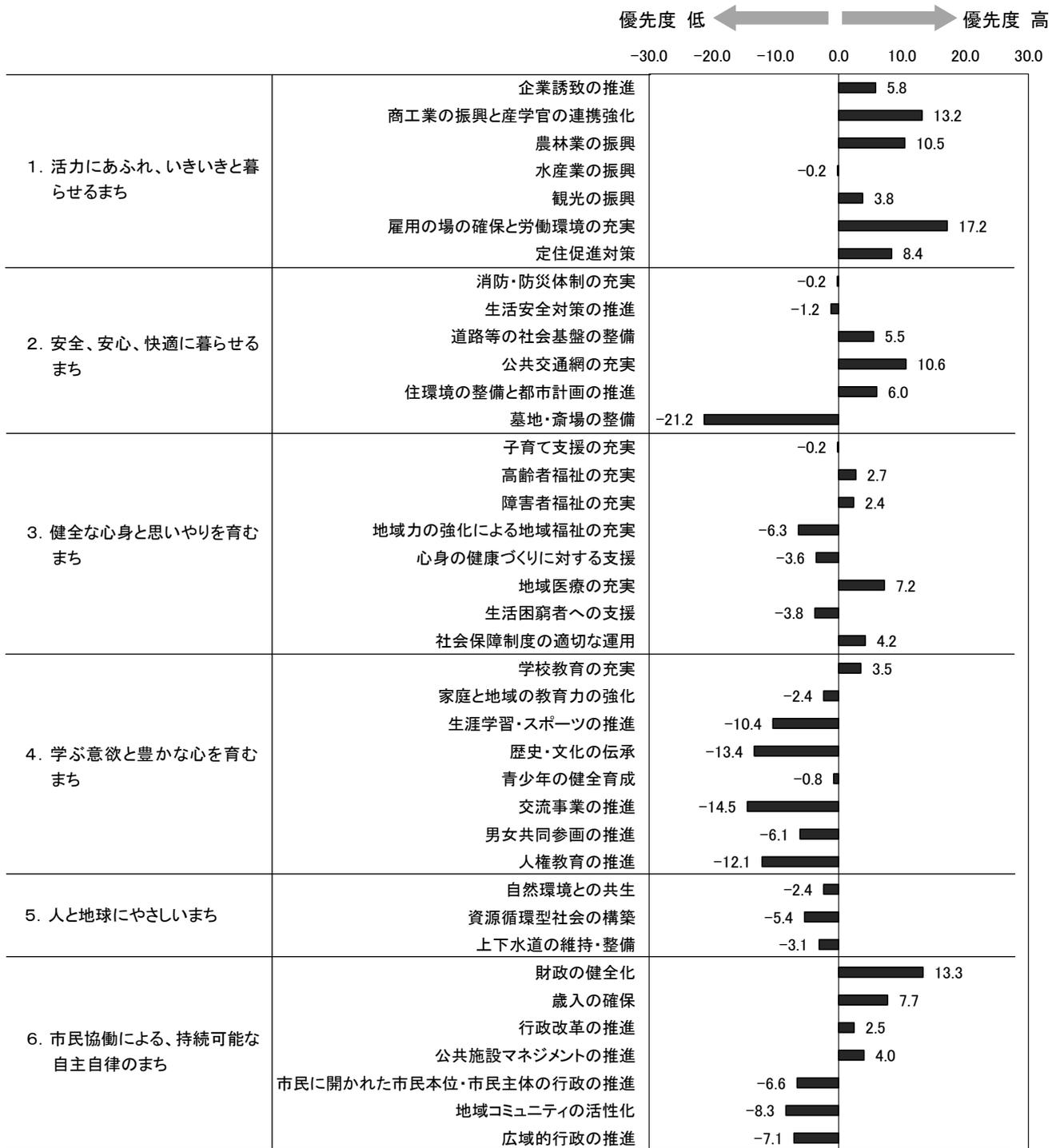
<満足度と重要度の相関（優先度）散布図>



優先度高い		優先度低い	
1位 1-⑥ 雇用の場の確保と労働環境の充実	12位 3-⑧ 社会保障制度の適切な運用	1位 2-⑥ 墓地・斎場の整備	12位 3-⑦ 生活困窮者への支援
2位 6-① 財政の健全化	13位 6-④ 公共施設マネジメントの推進	2位 4-⑥ 交流事業の推進	13位 3-⑤ 心身の健康づくりに対する支援
3位 1-② 商工業の振興と産学官の連携強化	14位 1-⑤ 観光の振興	3位 4-④ 歴史・文化の伝承	14位 5-③ 上下水道の維持・整備
4位 2-④ 公共交通網の充実	15位 4-① 学校教育の充実	4位 4-⑧ 人権教育の推進	15位 4-② 家庭と地域の教育力の強化
5位 1-③ 農林業の振興	16位 3-② 高齢者福祉の充実	5位 4-③ 生涯学習・スポーツの推進	16位 5-① 自然環境との共生
6位 1-⑦ 定住促進対策	17位 6-③ 行政改革の推進	6位 6-⑥ 地域コミュニティの活性化	17位 2-② 生活安全対策の推進
7位 6-② 歳入の確保	18位 3-③ 障害者福祉の充実	7位 6-⑦ 広域的行政の推進	18位 4-⑤ 青少年の健全育成
8位 3-⑥ 地域医療の充実		8位 6-⑤ 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進	19位 2-① 消防・防災体制の充実
9位 2-⑤ 住環境の整備と都市計画の推進		9位 3-④ 地域力の強化による地域福祉の充実	20位 3-① 子育て支援の充実
10位 1-① 企業誘致の推進		10位 4-⑦ 男女共同参画の推進	21位 1-④ 水産業の振興
11位 2-③ 道路等の社会基盤の整備		11位 5-② 資源循環型社会の構築	

<満足度と重要度の相関（優先度）>

（単位：評価点）

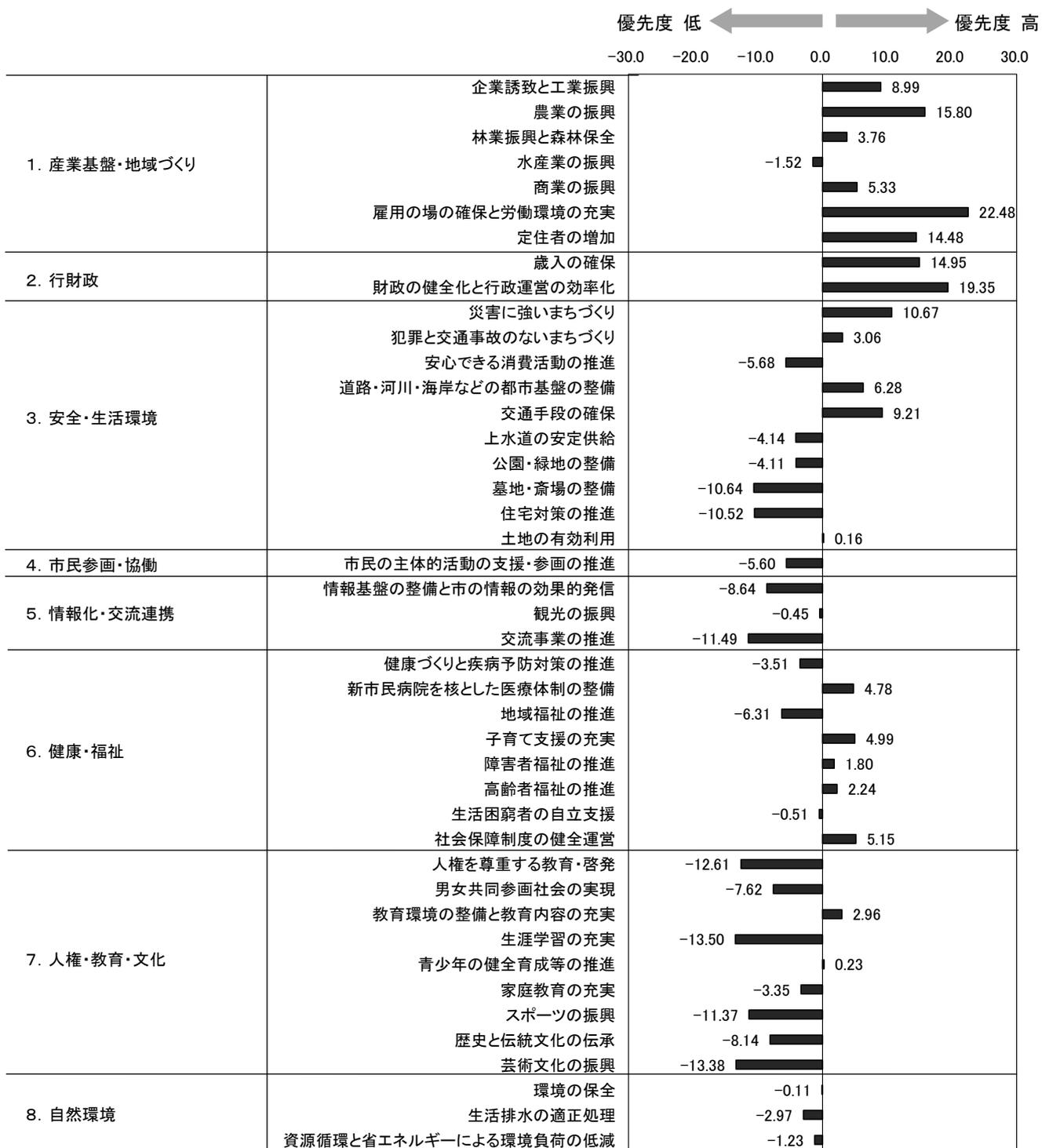


前回調査では、優先度が最も高い項目は、「雇用の場の確保と労働環境の充実」が最も高く、次いで、「財政の健全化と行政運営の効率化」、「農業の振興」、「歳入の確保」となっていました。

前回調査と比較すると、上位2位は同様の項目になっており、商工業に関する項目や観光の振興に関する項目では、前回調査より優先度が上がっています。また、消防・防災に関する項目や防犯・交通安全に関する項目、子育て支援に関する項目では、前回調査より優先度が下がっています。

【参考：前回調査結果】

(単位：評価点)

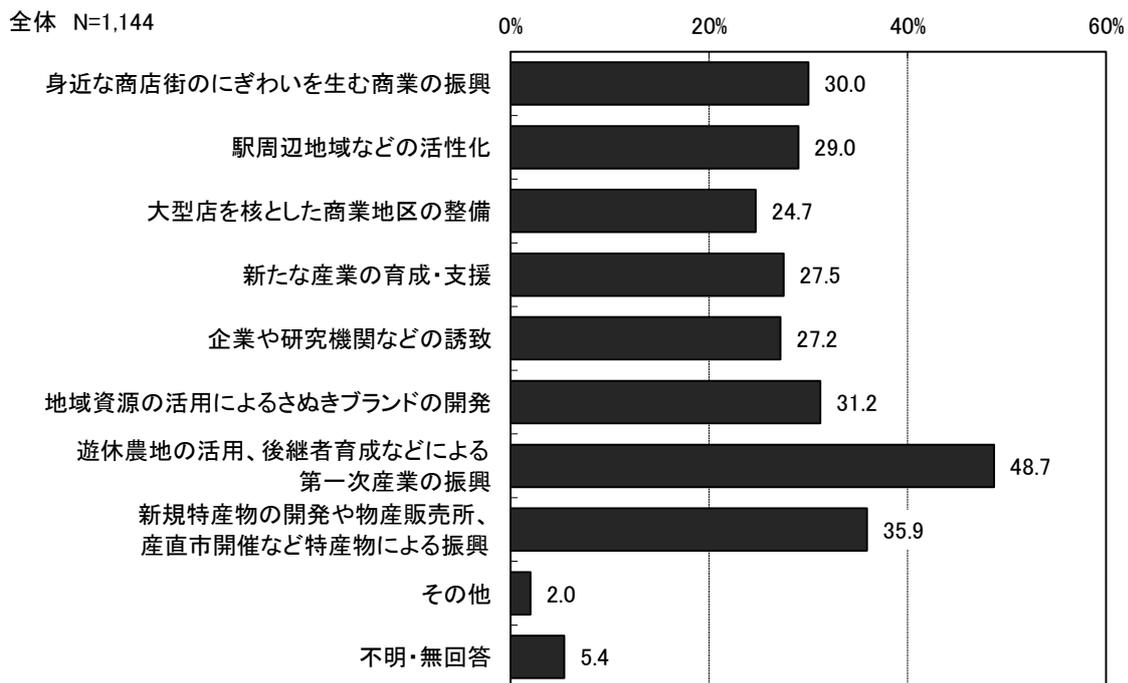


□ これからのまちづくりについて

<産業振興>

問6 あなたは、産業の振興のためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか（3つまで〇印）

産業の振興のためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますかについてみると、「遊休農地の活用、後継者育成などによる第一次産業の振興」が48.7%と最も高く、次いで、「新規特産物の開発や物産販売所、産直市開催など特産物による振興」が35.9%、「地域資源の活用によるさめきブランドの開発」が31.2%となっています。



性別では、男女ともに「遊休農地の活用、後継者育成などによる第一次産業の振興」が最も高くなっています。

年齢別では、10歳代～30歳代を除くすべての年齢で「遊休農地の活用、後継者育成などによる第一次産業の振興」、10歳代、30歳代は「駅周辺地域などの活性化」、20歳代は「地域資源の活用によるさぬきブランドの開発」が最も高くなっています。

居住地区別では、上位2位は全体とおおむね同様となっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数（人）	身近な商店街の振興にぎわ	駅周辺地域などの活性化	大型店の核とした商業	新たな産業の育成・支援	企業や研究機関などの誘致	地域資源の活用による開発	次産業の振興	遊休農地の活用、後継者育成などによる第一	産特産物による振興	新規特産物の開発や物産直売所の開催	その他	不明・無回答
性別	男性	329	26.7	30.1	25.8	30.7	29.5	32.5	51.1	31.6	2.7	4.6		
	女性	423	32.4	30.0	23.6	24.8	27.0	32.2	46.1	35.7	1.9	5.0		
年齢別	10歳代	7	28.6	57.1	42.9	28.6	0.0	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0		
	20歳代	60	33.3	43.3	38.3	23.3	21.7	51.7	33.3	25.0	0.0	0.0		
	30歳代	70	27.1	40.0	35.7	21.4	25.7	34.3	34.3	31.4	1.4	2.9		
	40歳代	131	30.5	36.6	32.8	26.0	29.8	31.3	42.7	33.6	0.8	2.3		
	50歳代	165	32.1	27.9	29.7	24.2	28.5	30.3	39.4	32.7	2.4	7.3		
	60歳代	267	30.7	30.0	18.0	28.5	28.1	33.0	57.7	36.7	2.2	3.0		
	70歳以上	413	28.8	22.0	20.6	31.2	27.4	27.4	55.2	39.7	2.7	7.0		
居住地区別	津田地区	140	32.9	30.7	22.1	30.0	30.7	32.1	47.1	41.4	0.7	2.9		
	大川地区	151	28.5	9.3	29.8	28.5	29.1	36.4	58.9	31.8	2.6	5.3		
	志度地区	432	33.1	34.5	23.4	25.0	24.5	31.5	45.8	35.9	2.1	5.1		
	寒川地区	123	20.3	27.6	23.6	27.6	28.5	35.0	50.4	39.0	3.3	4.9		
	長尾地区	257	30.0	31.9	26.1	32.3	29.2	26.5	49.8	33.1	1.9	4.7		

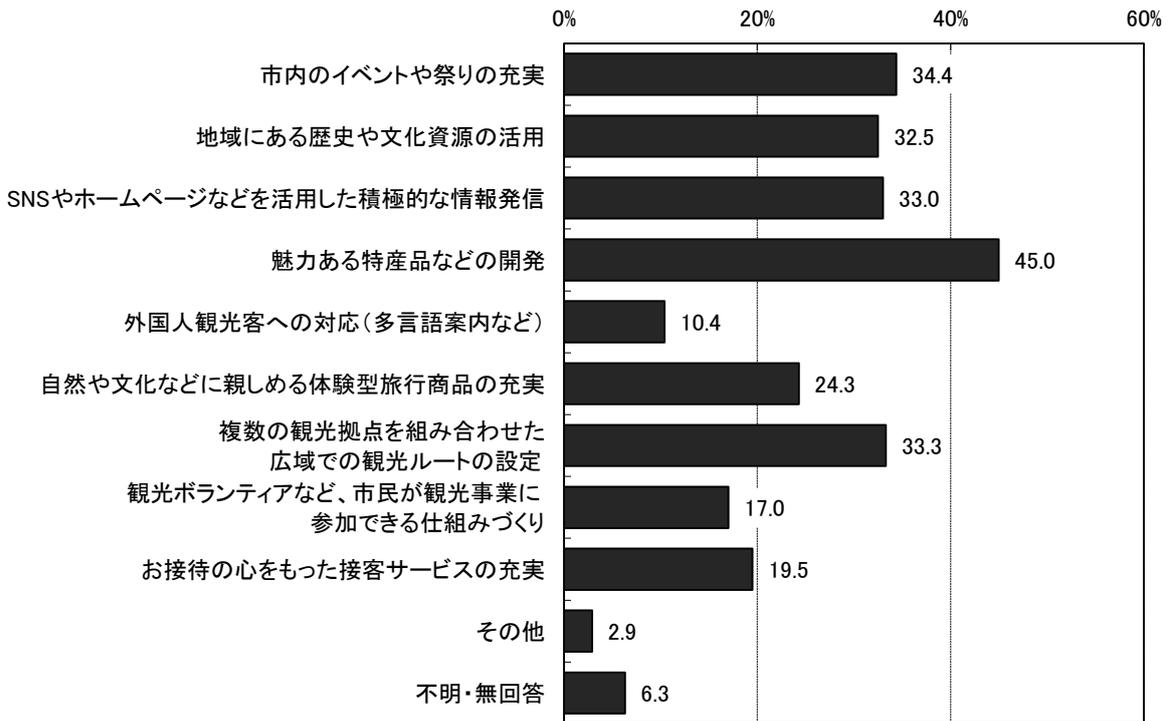
(単位:%)

＜観光の活性化＞

問7 あなたは、観光の活性化のためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか（3つまで○印）

観光の活性化のためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますかについてみると、「魅力ある特産品などの開発」が45.0%と最も高く、次いで、「市内のイベントや祭りの充実」が34.4%、「複数の観光拠点を組み合わせた広域での観光ルートの設定」が33.3%となっています。

全体 N=1,144



性別では、男女ともに「魅力ある特産品などの開発」が最も高くなっています。

年齢別では、10歳代～40歳代は「市内のイベントや祭りの充実」、50歳代～70歳以上は「魅力ある特産品などの開発」が最も高くなっています。

居住地区別では、すべての地区で「魅力ある特産品などの開発」が最も高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数（人）	市の充実にイベントや祭りの活用	地域に歴史や文化	さまざまな情報発信	SNSやホームページ	魅力ある特産品などの開発	外国人観光客への対応（多言語案内など）	充実した体験型旅行商品の開発	自然や文化などに親しみやすい観光商品の開発	複数の観光拠点での観光	観光ボランティアなど観光事業への参加	観光客の心を満たすサービスの実施	その他	不明・無回答
性別	男性	329	33.1	34.3	35.6	43.5	13.1	22.2	34.7	15.2	17.0	4.3	4.9		
	女性	423	32.4	29.8	34.8	47.0	9.5	25.1	34.3	15.4	23.4	1.7	5.9		
年齢別	10歳代	7	85.7	0.0	42.9	42.9	14.3	42.9	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0		
	20歳代	60	46.7	20.0	43.3	38.3	23.3	43.3	20.0	18.3	16.7	5.0	1.7		
	30歳代	70	55.7	21.4	34.3	45.7	7.1	28.6	32.9	11.4	10.0	2.9	2.9		
	40歳代	131	48.1	25.2	43.5	39.7	13.7	27.5	29.0	11.5	13.7	3.8	3.1		
	50歳代	165	24.8	26.7	41.8	41.8	11.5	23.6	35.2	17.0	19.4	1.8	6.1		
	60歳代	267	27.7	36.7	34.8	46.8	12.4	24.7	36.7	20.2	17.6	3.7	4.1		
	70歳以上	413	32.9	38.7	24.5	47.9	6.8	19.9	34.9	16.9	24.5	2.2	8.7		
居住地区別	津田地区	140	36.4	23.6	34.3	52.1	8.6	29.3	37.9	15.7	17.9	5.7	3.6		
	大川地区	151	29.8	37.7	35.1	48.3	6.6	27.2	29.1	13.9	15.9	2.6	6.6		
	志度地区	432	33.8	33.3	35.4	42.8	11.3	23.4	31.9	18.5	18.1	2.1	5.6		
	寒川地区	123	38.2	33.3	30.1	47.2	9.8	25.2	36.6	12.2	19.5	2.4	5.7		
	長尾地区	257	37.4	33.5	31.1	42.4	12.8	21.8	35.4	19.1	24.9	3.1	6.2		

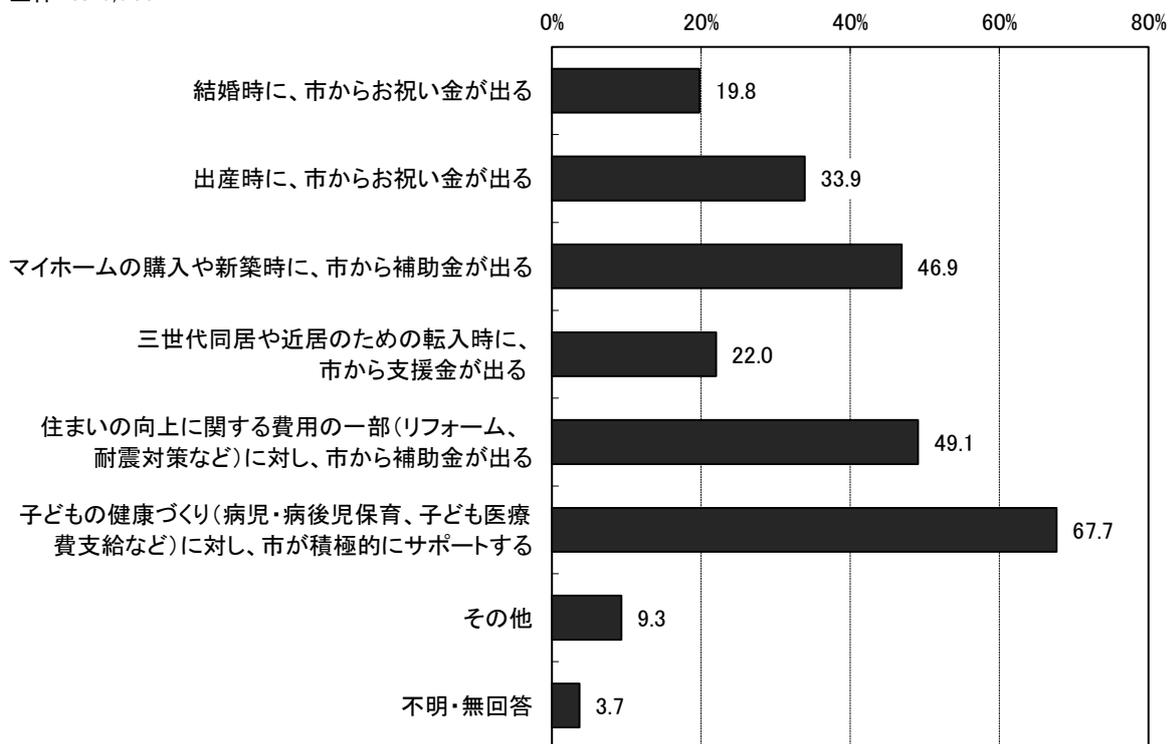
(単位:%)

＜定住促進＞

問8 市の人口が減少傾向にある中、あなたは、転出抑制や転入促進に効果が高いと思われる取組は何だと考えますか（3つまで○印）

転出抑制や転入促進に効果が高いと思われる取組は何だと考えますかについてみると、「子どもの健康づくり（病児・病後児保育、子ども医療費支給など）に対し、市が積極的にサポートする」が67.7%と最も高く、次いで、「住まいの向上に関する費用の一部（リフォーム、耐震対策など）に対し、市から補助金が出る」が49.1%、「マイホームの購入や新築時に、市から補助金が出る」が46.9%となっています。

全体 N=1,144



性別では、男女ともに「子どもの健康づくり（病児・病後児保育、子ども医療費支給など）に対し、市が積極的にサポートする」が最も高くなっています。

年齢別では、20歳代を除くすべての年齢で「子どもの健康づくり（病児・病後児保育、子ども医療費支給など）に対し、市が積極的にサポートする」、20歳代は「出産時に、市からお祝い金が出る」が最も高くなっています。

居住地区別では、すべての地区で「子どもの健康づくり（病児・病後児保育、子ども医療費支給など）に対し、市が積極的にサポートする」が最も高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数（人）	い結 金婚 が出 るに 、市 から お祝 い	い出 金産 が出 るに 、市 から お祝 い	が築 出に 、市 から 購入 助や 金新	マ イ ホ ー ム の 購 入 や 新	支 援 金 が 出 る に 、 近 居 か の ら	三 世 代 同 居 に 、 近 居 か の ら	出 る し 、 耐 震 補 助 金 が	住 宅 の 耐 震 補 助 金 が	的ど に サ ポ ー ト す る 積 極	子 （ 病 児 も の 健 康 づ き り 、	子 （ 病 児 も の 健 康 づ き り 、	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性 別	男性	329	18.2	35.9	48.6	19.8	45.6	68.7	12.5	2.7					
	女性	423	19.4	32.2	46.1	23.9	51.3	64.8	7.6	4.0					
年 齢 別	10歳代	7	14.3	28.6	57.1	14.3	42.9	85.7	0.0	0.0					
	20歳代	60	41.7	66.7	51.7	16.7	35.0	65.0	5.0	1.7					
	30歳代	70	20.0	44.3	65.7	12.9	47.1	71.4	7.1	1.4					
	40歳代	131	16.0	28.2	58.8	20.6	51.9	71.8	11.5	2.3					
	50歳代	165	12.7	26.1	50.9	20.6	52.1	56.4	13.3	5.5					
	60歳代	267	18.7	32.6	43.1	22.5	47.9	72.3	9.7	1.9					
	70歳以上	413	22.0	33.2	39.0	25.2	50.6	66.6	8.0	5.3					
居 住 地 区 別	津田地区	140	25.0	37.9	45.7	25.0	43.6	66.4	7.9	4.3					
	大川地区	151	14.6	25.2	44.4	21.9	53.0	76.8	7.3	4.6					
	志度地区	432	21.5	34.3	47.2	19.2	49.8	65.3	10.4	3.2					
	寒川地区	123	15.4	30.9	48.0	25.2	42.3	73.2	10.6	4.9					
	長尾地区	257	20.6	37.4	47.5	22.6	51.8	64.2	8.9	3.1					

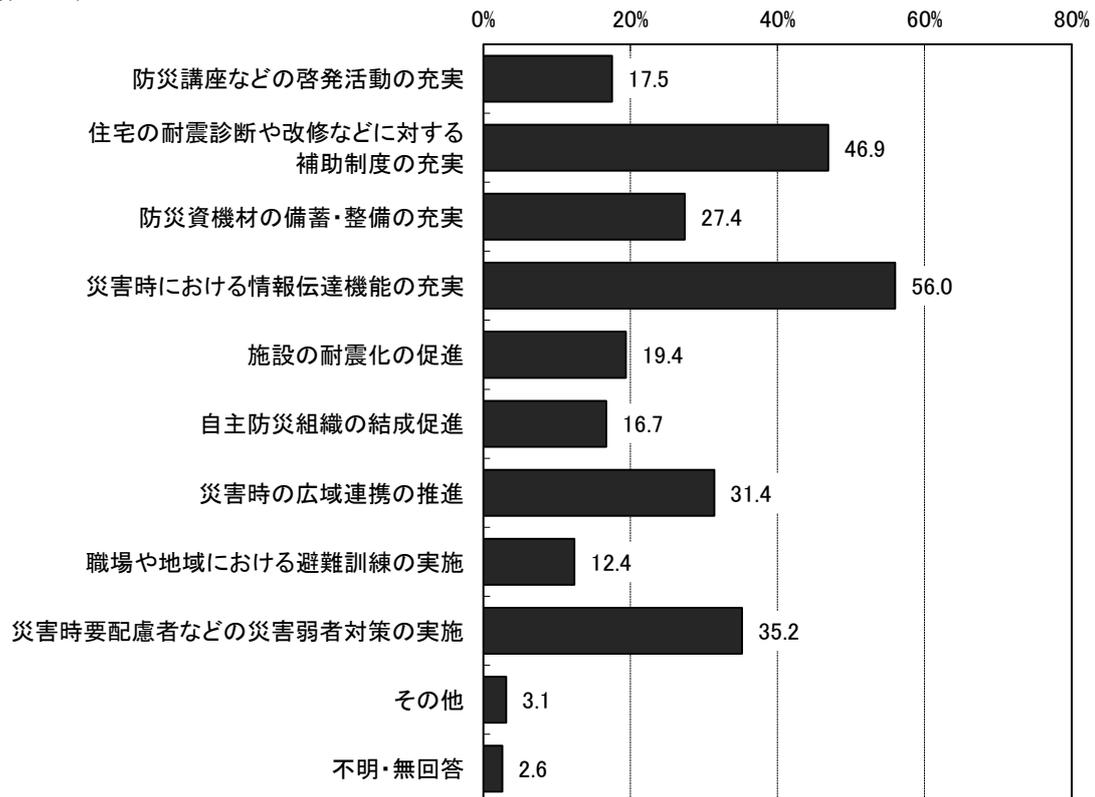
(単位:%)

＜防災＞

問9 あなたは、地震や台風、大雨など、自然災害による被害を防ぐ取組として、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか（3つまで○印）

地震や台風、大雨など、自然災害による被害を防ぐ取組として、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますかについてみると、「災害時における情報伝達機能の充実」が56.0%と最も高く、次いで、「住宅の耐震診断や改修などに対する補助制度の充実」が46.9%、「災害時要配慮者などの災害弱者対策の実施」が35.2%となっています。

全体 N=1,144



性別では、上位3位は全体と同様となっています。

年齢別では、10歳代、20歳代を除くすべての年齢で「災害時における情報伝達機能の充実」、10歳代、20歳代は「住宅の耐震診断や改修などに対する補助制度の充実」が最も高くなっています。

居住地区別では、上位3位は全体と同様となっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数 (人)	防災講座などの啓発活動の充実	住宅の耐震診断や改修などの補助制度の充実	防災資機材の備蓄・整備の充実	災害時における情報伝達機能の充実	施設の耐震化の促進	自主防災組織の結成促進	災害時の広域連携の推進	職場や地域における避難訓練の実施	災害弱者対策の実施	その他	不明・無回答
性別	男性	329	20.4	42.9	28.6	54.1	19.8	19.5	29.2	12.8	32.8	4.9	2.7
	女性	423	16.5	48.2	27.9	54.4	19.4	14.4	31.7	13.0	35.5	2.1	2.8
年齢別	10歳代	7	28.6	71.4	14.3	42.9	42.9	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0
	20歳代	60	16.7	55.0	40.0	45.0	41.7	13.3	30.0	6.7	21.7	0.0	1.7
	30歳代	70	11.4	50.0	40.0	64.3	28.6	10.0	25.7	11.4	15.7	2.9	1.4
	40歳代	131	14.5	52.7	32.8	52.7	28.2	15.3	31.3	12.2	28.2	2.3	2.3
	50歳代	165	13.9	47.3	35.2	50.9	18.8	17.0	28.5	10.3	24.8	4.2	3.6
	60歳代	267	20.2	42.7	25.1	60.7	14.6	16.9	36.7	12.7	39.7	3.4	1.1
	70歳以上	413	19.1	45.5	20.3	56.9	15.3	18.4	30.0	14.0	44.6	2.7	3.6
居住地区別	津田地区	140	20.7	43.6	27.1	57.1	12.9	15.7	35.0	13.6	41.4	3.6	3.6
	大川地区	151	17.2	48.3	24.5	52.3	22.5	15.9	30.5	9.9	33.1	3.3	2.6
	志度地区	432	16.2	46.3	30.1	55.6	21.3	16.0	30.8	12.7	33.1	2.3	2.5
	寒川地区	123	17.9	47.2	23.6	61.0	23.6	14.6	33.3	9.8	34.1	2.4	2.4
	長尾地区	257	18.3	48.2	26.5	57.2	16.7	19.8	30.4	13.6	38.1	3.5	2.3

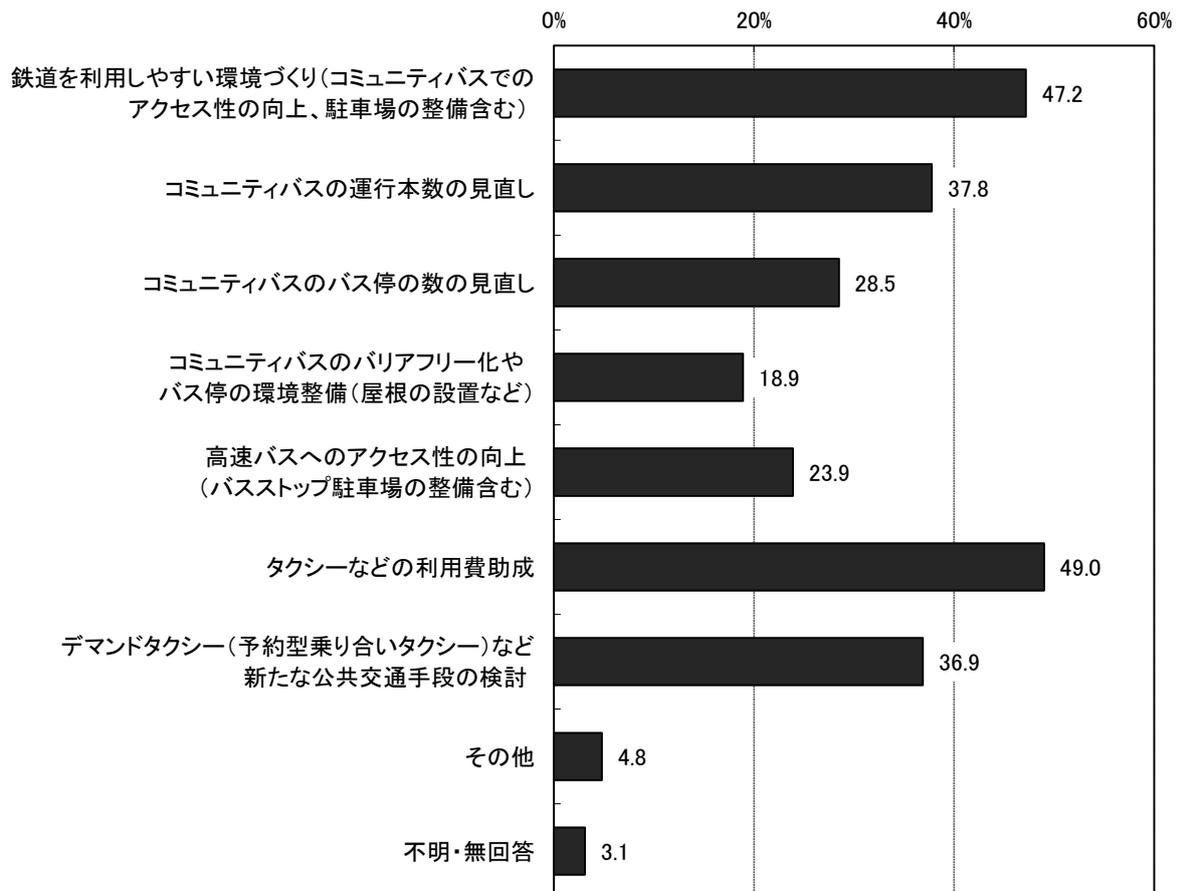
(単位:%)

＜公共交通＞

問 10 あなたは、公共交通の整備を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか（3つまで〇印）

公共交通の整備を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますかについてみると、「タクシーなどの利用費助成」が49.0%と最も高く、次いで、「鉄道を利用しやすい環境づくり（コミュニティバスでのアクセス性の向上、駐車場の整備含む）」が47.2%、「コミュニティバスの運行本数の見直し」が37.8%となっています。

全体 N=1,144



性別では、男性は「鉄道を利用しやすい環境づくり（コミュニティバスでのアクセス性の向上、駐車場の整備含む）」が50.2%、女性は「タクシーなどの利用費助成」が54.1%と最も高くなっています。

年齢別では、10歳代、60歳代、70歳以上を除くすべての年齢で「鉄道を利用しやすい環境づくり（コミュニティバスでのアクセス性の向上、駐車場の整備含む）」、10歳代は「コミュニティバスの運行本数の見直し」、60歳代、70歳以上は「タクシーなどの利用費助成」が最も高くなっています。

居住地区別では、津田地区、大川地区、長尾地区を除くすべての地区で「鉄道を利用しやすい環境づくり（コミュニティバスでのアクセス性の向上、駐車場の整備含む）」、津田地区は「コミュニティバスの運行本数の見直し」、大川地区、長尾地区は「タクシーなどの利用費助成」が最も高くなっています。

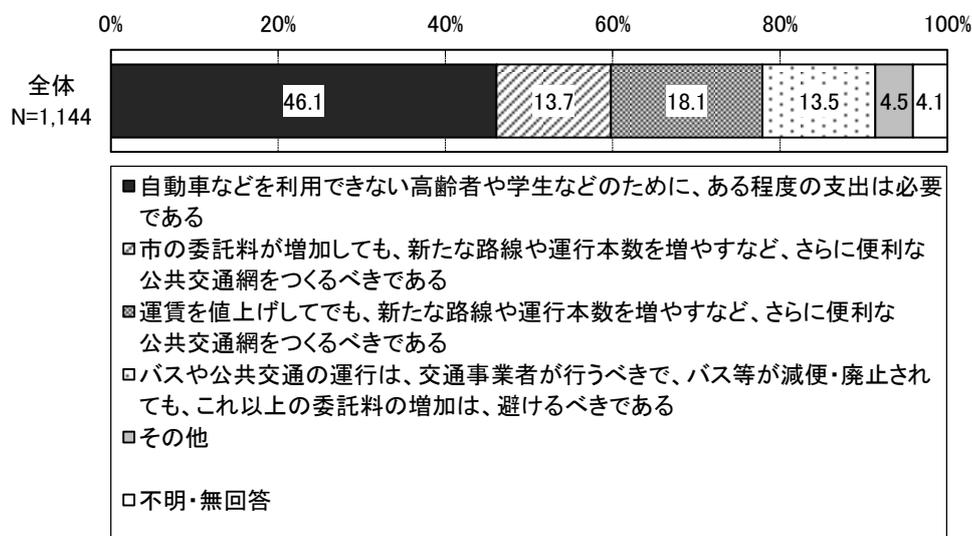
【性別、年齢別、居住地区別】

	対象者数（人）	備性テ境鉄 含のイづ道 む向パくを 、で（利用 駐のコしや 車場クユす のセニ環 整ス	行本数の見直し	コミユのテイ の数の見直し	スミのテイ の数の見直し	置の環 境整備 （屋根 の設	リアミ フユリ テ化イ やバス の設	プ駐の 車場上 へのバ の整バ 備ス 含む ツ	助成 タク シー など の利 用費	交シ約デ 通―型マ 手―乗ド 段―合タ の―新ク 検―た 討―な 公	その他	不明・無回答
性別	男性	329	50.2	32.2	24.0	21.9	25.5	46.8	33.1	6.4	3.3	
	女性	423	46.3	38.3	29.3	13.9	22.2	54.1	37.1	2.4	3.3	
年齢別	10歳代	7	57.1	85.7	14.3	0.0	42.9	42.9	14.3	28.6	0.0	
	20歳代	60	58.3	35.0	21.7	23.3	36.7	43.3	20.0	1.7	3.3	
	30歳代	70	57.1	40.0	32.9	17.1	22.9	37.1	18.6	2.9	4.3	
	40歳代	131	62.6	38.9	29.0	11.5	27.5	44.3	29.8	3.8	2.3	
	50歳代	165	55.8	26.7	21.8	15.8	29.7	44.2	37.6	9.1	3.6	
	60歳代	267	44.6	36.3	31.5	19.9	24.3	54.7	41.6	4.5	0.7	
	70歳以上	413	38.0	42.1	30.0	20.8	19.1	52.1	40.9	4.1	4.4	
居住地区別	津田地区	140	43.6	49.3	28.6	16.4	17.1	47.1	38.6	4.3	3.6	
	大川地区	151	39.1	39.1	25.2	20.5	17.9	53.6	48.3	5.3	2.6	
	志度地区	432	50.2	39.8	30.1	19.7	27.1	46.3	32.6	4.6	3.2	
	寒川地区	123	50.4	24.4	30.1	12.2	25.2	47.2	40.7	6.5	4.9	
	長尾地区	257	48.6	34.2	28.0	19.1	26.8	54.9	33.9	4.3	1.9	

(単位:%)

問 11 さぬき市では、コミュニティバスの運行に対し、現在市が委託料を支出しています。このことを踏まえ、あなたは、コミュニティバスなどの公共交通の維持のために行政が負担することについて、どのように考えますか（1つに○印）

コミュニティバスなどの公共交通の維持のために行政が負担することについて、どのように考えますかについてみると、「自動車などを利用できない高齢者や学生などのために、ある程度の支出は必要である」が 46.1%と最も高く、次いで、「運賃を値上げしてでも、新たな路線や運行本数を増やすなど、さらに便利な公共交通網をつくるべきである」が 18.1%、「市の委託料が増加しても、新たな路線や運行本数を増やすなど、さらに便利な公共交通網をつくるべきである」が 13.7%、「市の委託料が増加しても、新たな路線や運行本数を増やすなど、さらに便利な公共交通網をつくるべきである」が 13.5%、「バスや公共交通の運行は、交通事業者が行うべきで、バス等が減便・廃止されても、これ以上の委託料の増加は、避けるべきである」が 4.5%、「その他」が 4.1%となっています。

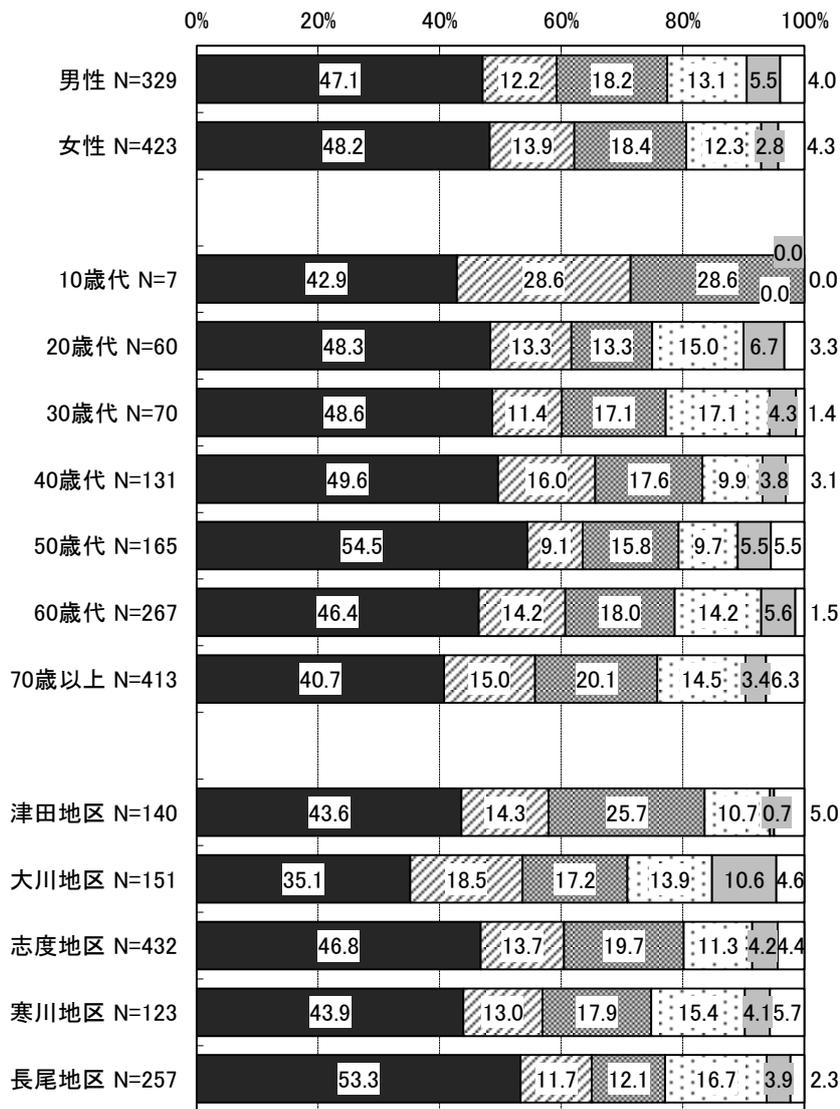


性別では、男女ともに「自動車などを利用できない高齢者や学生などのために、ある程度の支出は必要である」が最も高くなっています。

年齢別では、すべての年齢で「自動車などを利用できない高齢者や学生などのために、ある程度の支出は必要である」が最も高くなっています。

居住地区別では、すべての地区で「自動車などを利用できない高齢者や学生などのために、ある程度の支出は必要である」が最も高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

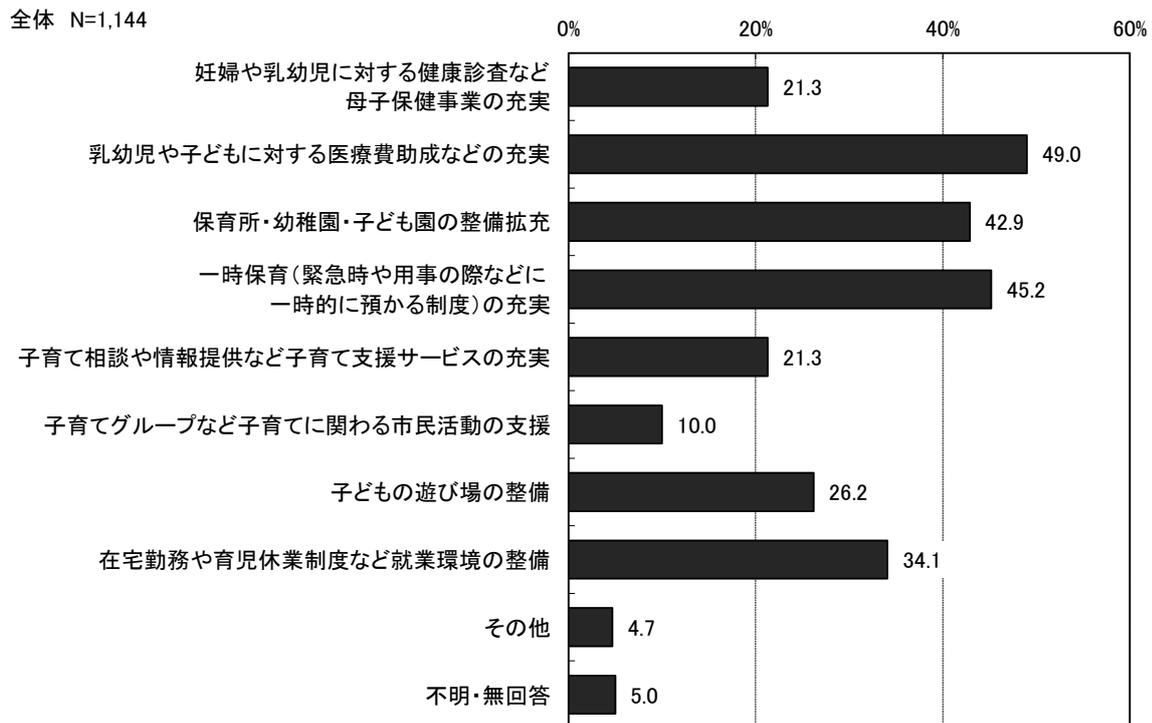


- 自動車などを利用できない高齢者や学生などのために、ある程度の支出は必要である
- 市の委託料が増加しても、新たな路線や運行本数を増やすなど、さらに便利な公共交通網をつくるべきである
- ▣運賃を直上げしても、新たな路線や運行本数を増やすなど、さらに便利な公共交通網をつくるべきである
- バスや公共交通の運行は、交通事業者が行うべきで、バス等が減便・廃止されても、これ以上の委託料の増加は、避けるべきである
- その他
- 不明・無回答

<子育て環境>

問 12 あなたは、少子化が進む中で、この変化に対応するには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか（3つまで〇印）

少子化が進む中で、この変化に対応するには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますかについてみると、「乳幼児や子どもに対する医療費助成などの充実」が 49.0%と最も高く、次いで、「一時保育（緊急時や用事の際などに一時的に預かる制度）の充実」が 45.2%、「保育所・幼稚園・子ども園の整備拡充」が 42.9%となっています。



性別では、男女ともに「乳幼児や子どもに対する医療費助成などの充実」が最も高くなっています。

年齢別では、10歳代、50歳代を除くすべての年齢で「乳幼児や子どもに対する医療費助成などの充実」、10歳代は「保育所・幼稚園・子ども園の整備拡充」「子どもの遊び場の整備」が同率、50歳代は「一時保育（緊急時や用事の際などに一時的に預かる制度）の充実」が最も高くなっています。

居住地区別では、津田地区を除くすべての地区で「乳幼児や子どもに対する医療費助成などの充実」、津田地区は「一時保育（緊急時や用事の際などに一時的に預かる制度）の充実」が最も高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数（人）	事業の充実	健康診断や乳幼児健診など	妊婦や乳児に対する	実費や助成などの	乳幼児や子どもへの	も園の整備・拡充	保育所・幼稚園・子ども園の整備	預かる制度の一時的に	一時保育（緊急時や用事の際などに）	などの充実	子育て相談や情報提供	子育てに関する市民活動	子どもの遊び場の整備	在宅勤務や育児休業の整備	その他	不明・無回答
性別	男性	329	24.0	49.5	42.9	38.3	21.9	9.7	27.7	31.3	6.7	4.3						
	女性	423	19.1	48.5	41.8	48.2	21.0	9.9	26.7	33.8	3.5	5.7						
年齢別	10歳代	7	28.6	42.9	57.1	28.6	28.6	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0						
	20歳代	60	25.0	48.3	45.0	33.3	21.7	11.7	35.0	38.3	6.7	6.7						
	30歳代	70	27.1	51.4	45.7	42.9	8.6	5.7	51.4	28.6	7.1	2.9						
	40歳代	131	16.0	51.9	38.2	45.0	11.5	4.6	41.2	40.5	10.7	2.3						
	50歳代	165	12.7	46.7	45.5	48.5	16.4	10.9	16.4	36.4	6.7	6.1						
	60歳代	267	21.3	52.8	44.2	47.2	27.7	9.0	22.5	36.3	2.2	2.6						
	70歳以上	413	25.2	46.0	41.9	44.8	25.4	12.3	21.1	30.3	2.9	7.3						
居住地区別	津田地区	140	23.6	47.1	38.6	47.9	22.1	11.4	25.7	35.0	2.1	6.4						
	大川地区	151	21.9	47.7	34.4	46.4	27.8	6.6	18.5	35.8	7.9	6.6						
	志度地区	432	22.2	49.1	45.4	44.4	20.1	9.3	29.4	34.3	3.9	4.2						
	寒川地区	123	23.6	45.5	40.7	44.7	21.1	8.9	22.0	34.1	6.5	6.5						
	長尾地区	257	18.7	53.7	46.3	44.4	21.4	12.8	26.8	31.5	4.7	3.9						

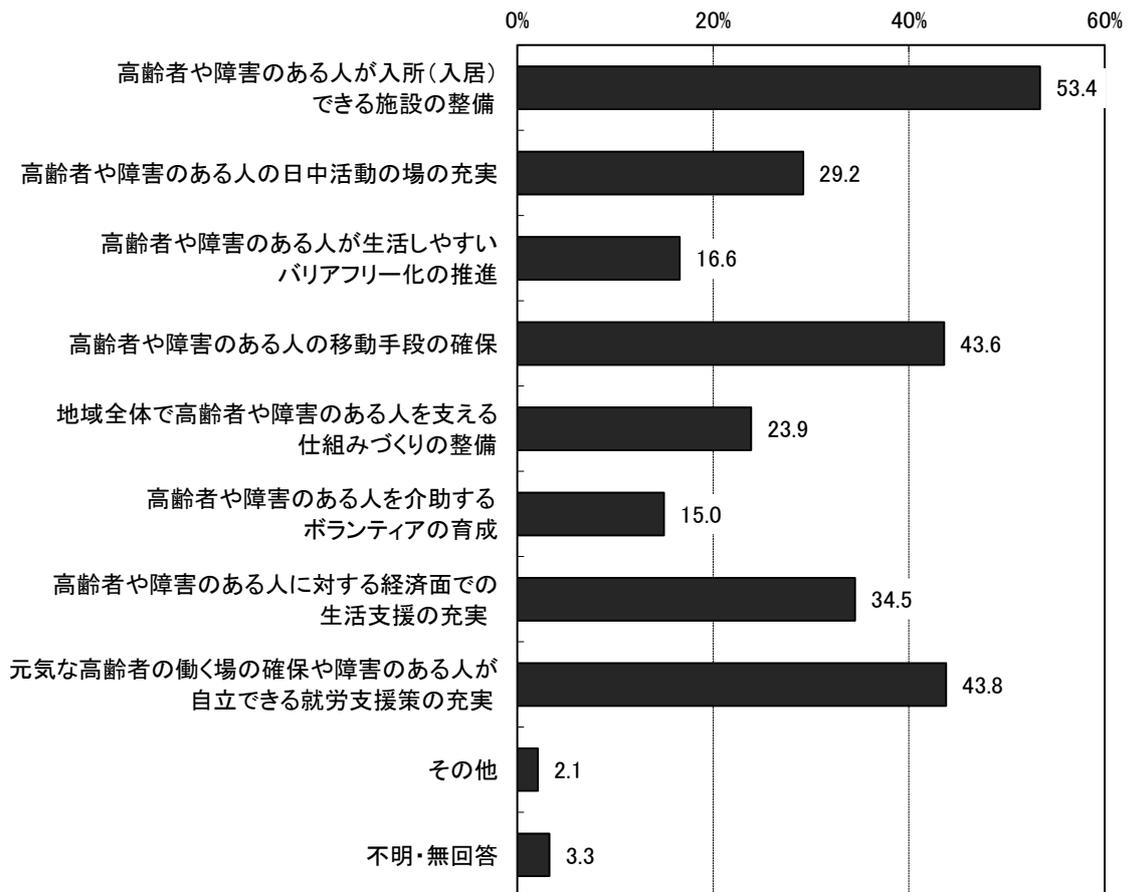
(単位:%)

＜高齢者・障害者福祉＞

問 13 あなたは、高齢者や障害のある人への福祉を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか（3つまで○印）

高齢者や障害のある人への福祉を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますかについてみると、「高齢者や障害のある人が入所（入居）できる施設の整備」が 53.4%と最も高く、次いで、「元気な高齢者の働く場の確保や障害のある人が自立できる就労支援策の充実」が 43.8%、「高齢者や障害のある人の移動手段の確保」が 43.6%となっています。

全体 N=1,144



性別では、男女ともに「高齢者や障害のある人が入所（入居）できる施設の整備」が最も高くなっています。

年齢別では、60歳代を除くすべての年齢で「高齢者や障害のある人が入所（入居）できる施設の整備」、60歳代は「元気な高齢者の働く場の確保や障害のある人が自立できる就労支援策の充実」が最も高くなっています。

居住地区別では、上位3位は全体とおおむね同様となっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数（人）	施設の入所（入居）できる人の整備	高齢者や障害のある人の活動の場の充実	高齢者や障害のある人の生活の推進	高齢者や障害のある人の移動手段の確保	地域の全体で高齢者や障害のある人の暮らしを支える仕組みづくりの整備	地域の育成	高齢者や障害のある人の生活の充実	高齢者や障害のある人の生活の充実	高齢者や障害のある人の生活の充実	その他	不明・無回答
性別	男性	329	51.1	28.3	15.8	45.0	28.0	12.5	35.9	41.3	3.3	2.1	
	女性	423	56.7	28.8	16.8	41.4	21.7	16.3	33.1	47.0	1.4	2.8	
年齢別	10歳代	7	71.4	14.3	42.9	28.6	14.3	28.6	28.6	57.1	0.0	0.0	
	20歳代	60	46.7	45.0	21.7	30.0	20.0	13.3	41.7	36.7	1.7	1.7	
	30歳代	70	45.7	37.1	18.6	44.3	22.9	10.0	22.9	44.3	1.4	1.4	
	40歳代	131	52.7	32.8	11.5	38.9	24.4	11.5	40.5	51.1	3.1	1.5	
	50歳代	165	55.8	24.2	14.5	46.7	19.4	15.8	30.9	43.6	1.8	3.6	
	60歳代	267	47.9	30.3	18.0	44.9	28.5	13.5	36.0	49.1	2.6	2.6	
	70歳以上	413	58.1	25.7	16.9	45.0	23.7	18.4	34.4	40.0	1.9	4.4	
居住地区別	津田地区	140	56.4	23.6	20.0	44.3	22.9	19.3	34.3	45.7	0.7	4.3	
	大川地区	151	56.3	27.2	19.2	48.3	16.6	11.3	36.4	38.4	4.0	4.0	
	志度地区	432	54.6	27.1	15.0	44.4	25.0	16.9	34.3	45.1	1.2	3.0	
	寒川地区	123	48.8	33.3	17.9	40.7	33.3	13.0	37.4	42.3	2.4	2.4	
	長尾地区	257	50.6	34.6	15.2	40.9	23.3	13.2	33.9	47.5	3.5	2.3	

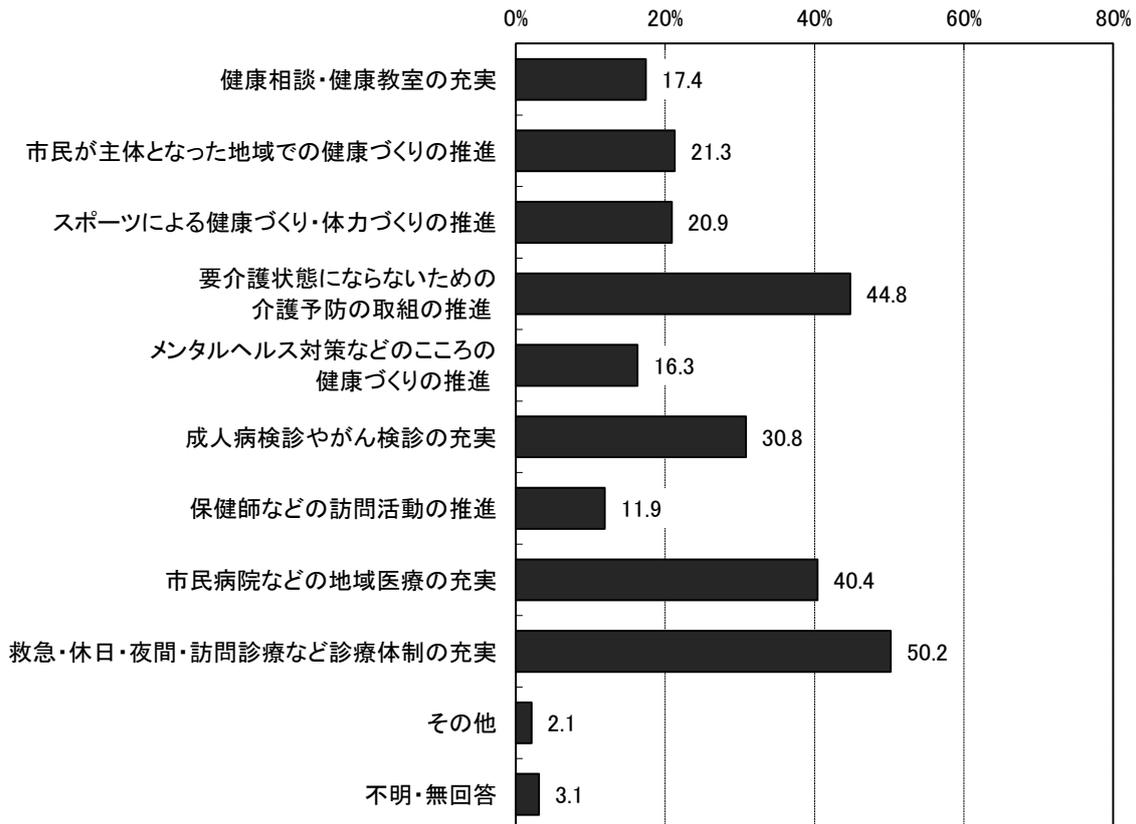
(単位:%)

＜健康づくり＞

問 14 あなたは、健康づくりを充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか（3つまで○印）

健康づくりを充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますかについてみると、「救急・休日・夜間・訪問診療など診療体制の充実」が50.2%と最も高く、次いで、「要介護状態にならないための介護予防の取組の推進」が44.8%、「市民病院などの地域医療の充実」が40.4%となっています。

全体 N=1,144



性別では、上位3位は全体と同様となっています。

年齢別では、10歳代、20歳代、70歳代以上を除くすべての年齢で「救急・休日・夜間・訪問診療など診療体制の充実」、10歳代は「スポーツによる健康づくり・体力づくりの推進」、20歳代は「成人病検診やがん検診の充実」、70歳代以上は「要介護状態にならないための介護予防の取組の推進」が最も高くなっています。

居住地区別では、津田地区を除くすべての地区で「救急・休日・夜間・訪問診療など診療体制の充実」、津田地区は「要介護状態にならないための介護予防の取組の推進」が最も高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

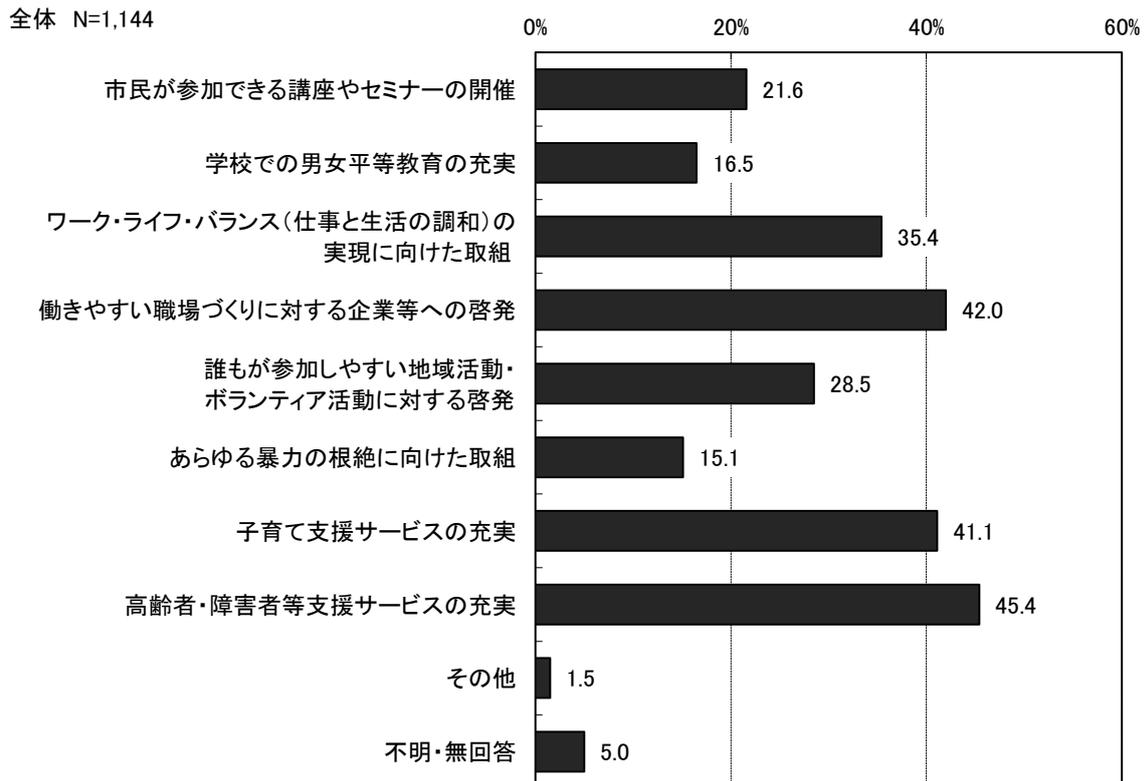
		対象者数(人)	充実 健康 相談・ 健康 教室の	進域 市の 健康 づくり の推 進	進く ス ポ ー ツ に よ る 健 康 づ き	のた 推 進 の 推 進	りど の 推 進 の 推 進	の成 充 実 の 推 進	の保 健 師 な ど の 訪 問 活 動	療の 充 実 の 推 進	問診 療 な ど の 訪 問 活 動	救急 ・休 日・ 夜間 ・診 療 体 制 の 訪 問	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性	329	17.3	23.1	24.0	42.9	15.2	30.4	13.1	41.6	44.4	2.7	2.4	
	女性	423	17.3	20.3	19.6	42.6	16.8	31.9	10.9	42.1	54.4	1.9	2.6	
年齢別	10歳代	7	0.0	28.6	71.4	14.3	0.0	57.1	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	
	20歳代	60	8.3	6.7	35.0	33.3	15.0	53.3	8.3	40.0	51.7	3.3	1.7	
	30歳代	70	10.0	17.1	21.4	32.9	20.0	42.9	2.9	34.3	50.0	2.9	2.9	
	40歳代	131	20.6	13.7	24.4	34.4	16.0	40.5	3.8	45.8	55.0	1.5	1.5	
	50歳代	165	14.5	12.7	26.1	39.4	22.4	24.8	9.7	41.8	49.7	4.2	3.0	
	60歳代	267	18.7	26.2	18.7	47.6	18.4	30.7	12.4	39.3	51.3	1.1	2.6	
	70歳以上	413	18.6	26.6	15.7	53.5	12.3	24.5	16.9	40.0	49.4	1.9	3.9	
居住地区別	津田地区	140	20.7	20.0	26.4	47.1	23.6	26.4	11.4	39.3	46.4	2.1	4.3	
	大川地区	151	18.5	16.6	13.9	41.7	15.9	31.1	13.2	47.0	49.0	3.3	2.6	
	志度地区	432	17.1	24.8	22.2	43.5	14.1	32.6	13.2	32.9	51.4	2.3	3.0	
	寒川地区	123	12.2	23.6	16.3	48.8	15.4	30.9	11.4	51.2	52.0	0.8	3.3	
	長尾地区	257	17.1	17.5	21.8	46.3	17.1	30.4	9.3	44.4	52.5	1.6	1.9	

(単位:%)

＜男女共同参画＞

問 15 あなたは、男女が性別に関わりなく家庭、職場、地域における活動を両立し、社会のあらゆる分野に参画していくためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか（3つまで〇印）

男女が性別に関わりなく家庭、職場、地域における活動を両立し、社会のあらゆる分野に参画していくためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますかについてみると、「高齢者・障害者等支援サービスの充実」が 45.4%と最も高く、次いで、「働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発」が 42.0%、「子育て支援サービスの充実」が 41.1%となっています。



性別では、男性は「子育て支援サービスの充実」「高齢者・障害者等支援サービスの充実」が同率で43.2%、女性は「高齢者・障害者等支援サービスの充実」が46.8%と最も高くなっています。

年齢別では、10歳代、20歳代、50歳代は「働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発」、30歳代、40歳代は「子育て支援サービスの充実」、60歳代、70歳以上は「高齢者・障害者等支援サービスの充実」が最も高くなっています。

居住地区別では、長尾地区を除くすべての地区で「高齢者・障害者等支援サービスの充実」、長尾地区は「働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発」が最も高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数(人)	や市民が参加できる講座	学校の男女平等教育	組(の実現に向けた取	ワーク・ライフ・バランスの啓発	働きやすい職場づくり	活動に対する啓発	誰もが参加しやすい地域	あらゆる暴力の根絶に	子育て支援サービスの充実	高齢者・障害者等支援	その他	不明・無回答
性別	男性	329	20.1	14.9	35.9	40.1	28.6	18.8	43.2	43.2	1.8	5.5		
	女性	423	22.2	18.0	37.4	43.0	25.8	12.5	40.2	46.8	1.4	3.5		
年齢別	10歳代	7	28.6	14.3	57.1	85.7	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0		
	20歳代	60	5.0	23.3	53.3	65.0	15.0	13.3	61.7	26.7	1.7	3.3		
	30歳代	70	8.6	28.6	50.0	52.9	8.6	10.0	60.0	25.7	1.4	2.9		
	40歳代	131	13.7	16.0	48.1	50.4	11.5	14.5	52.7	37.4	2.3	3.1		
	50歳代	165	20.6	13.9	41.8	46.7	20.6	11.5	43.0	40.0	1.2	4.8		
	60歳代	267	28.1	14.2	33.7	37.1	34.1	14.6	41.2	51.7	1.5	3.7		
	70歳以上	413	24.9	16.0	24.5	34.4	39.2	18.4	31.2	53.0	1.5	6.8		
居住地区別	津田地区	140	24.3	11.4	32.1	42.1	30.0	16.4	37.1	50.7	0.0	8.6		
	大川地区	151	21.2	14.6	32.5	38.4	27.8	15.2	41.1	49.0	2.0	4.6		
	志度地区	432	21.3	17.8	35.2	43.5	28.7	14.8	42.8	44.9	1.6	4.6		
	寒川地区	123	21.1	16.3	35.0	40.7	30.9	17.1	40.7	45.5	0.8	4.1		
	長尾地区	257	21.8	17.9	40.1	43.2	27.2	14.8	40.9	42.8	1.9	3.1		

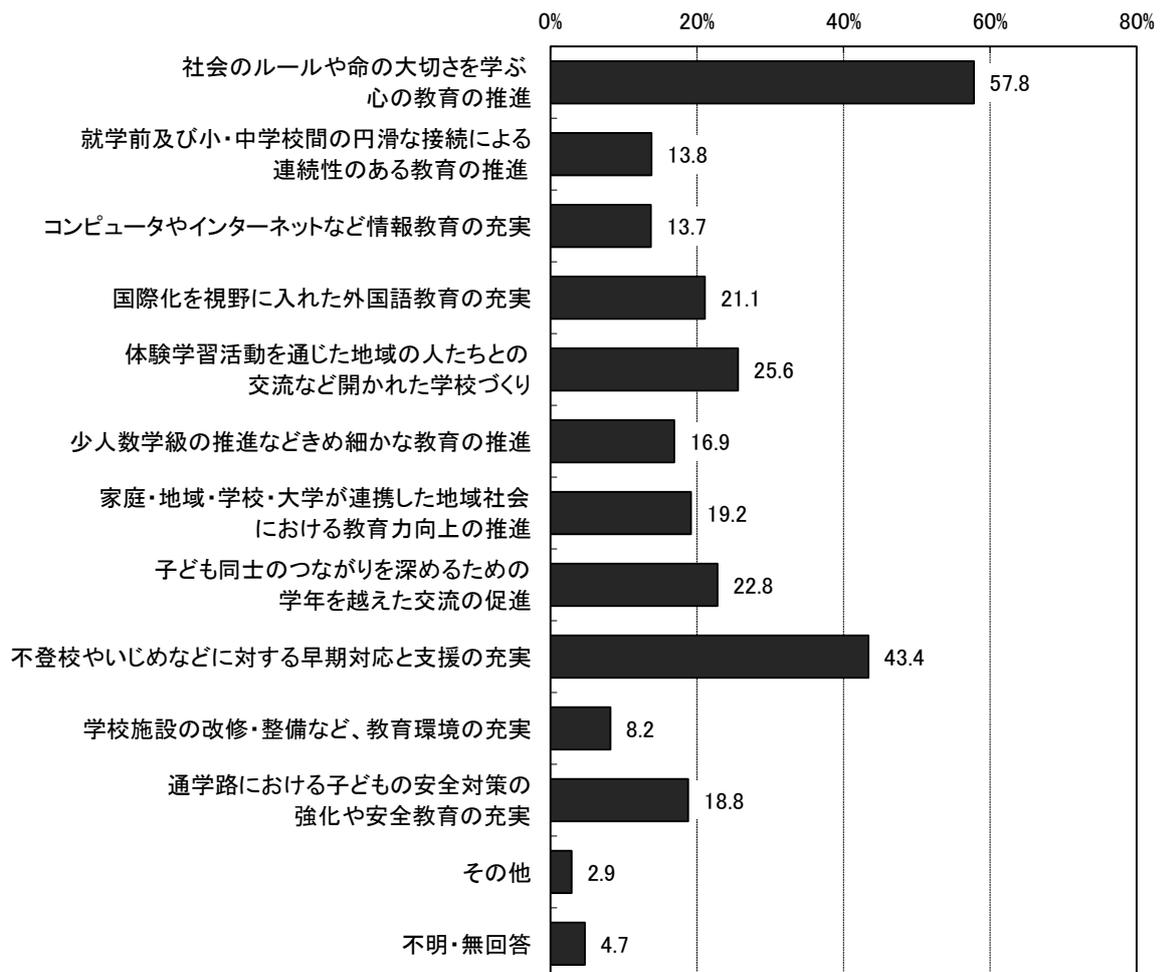
(単位:%)

＜学校教育＞

問 16 あなたは、学校教育を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか（3つまで○印）

学校教育を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますかについてみると、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が57.8%と最も高く、次いで、「不登校やいじめなどに対する早期対応と支援の充実」が43.4%、「体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流など開かれた学校づくり」が25.6%となっています。

全体 N=1,144



性別では、上位3位は全体と同様となっています。

年齢別では、10歳代、20歳代を除くすべての年齢で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」、10歳代は「コンピュータやインターネットなど情報教育の充実」「家庭・地域・学校・大学が連携した地域社会における教育力向上の推進」が同率、20歳代は「不登校やいじめなどに対する早期対応と支援の充実」が最も高くなっています。

居住地区別では、上位3位は全体とおおむね同様となっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

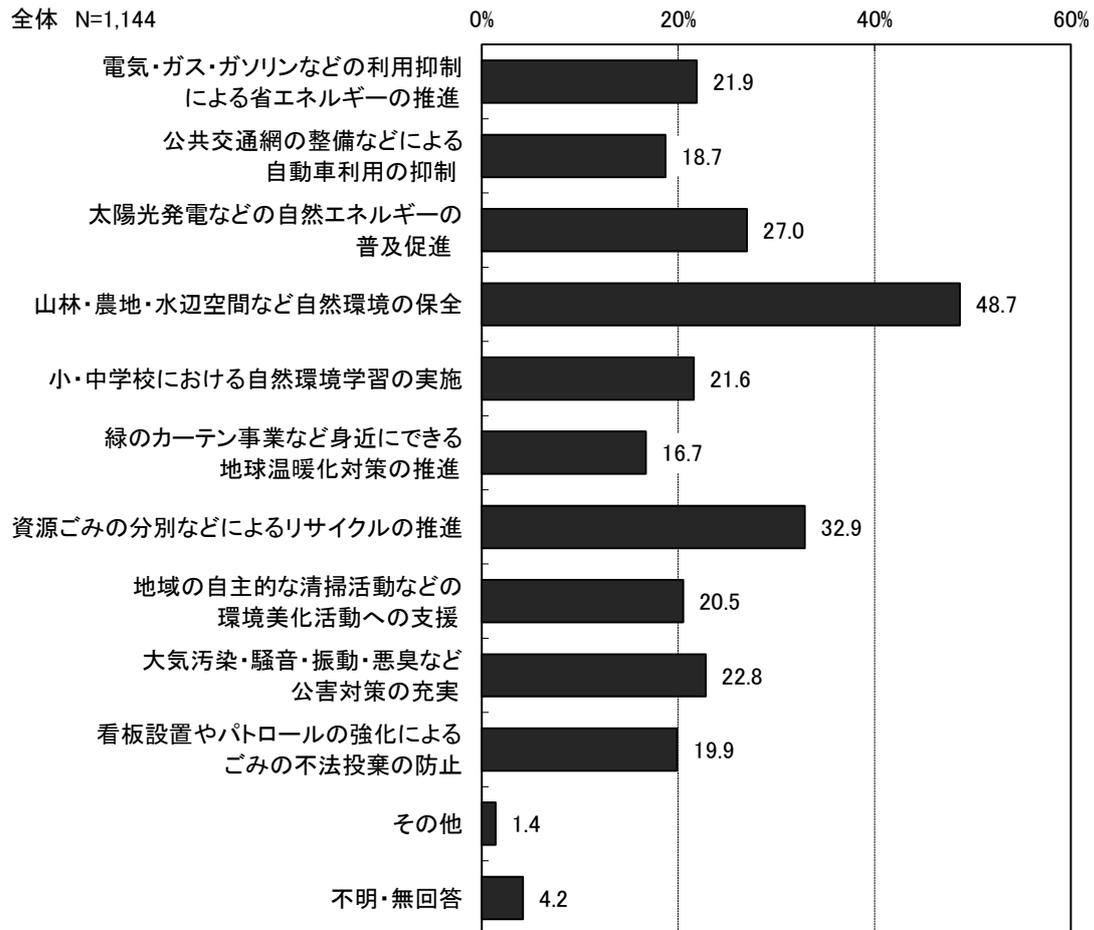
	対象者数（人）	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	連続性のある教育の推進	就学前の滑り止め・継続による学校の進捗	オンライン教育の充実	国際化教育の充実	地域学習活動を通じた交流	少人数制の教育推進	家庭・地域・学校・社会の連携
性別	男性	329	58.1	15.8	15.8	23.4	25.5	13.4	17.3
	女性	423	58.9	12.5	12.8	18.2	23.6	18.9	20.6
年齢別	10歳代	7	14.3	28.6	57.1	0.0	28.6	0.0	57.1
	20歳代	60	41.7	15.0	26.7	20.0	23.3	15.0	15.0
	30歳代	70	62.9	12.9	17.1	24.3	25.7	18.6	8.6
	40歳代	131	46.6	11.5	22.9	26.7	24.4	22.1	26.7
	50歳代	165	50.9	19.4	12.1	18.2	21.2	25.5	20.0
	60歳代	267	62.9	14.6	10.1	21.3	29.6	18.0	16.9
	70歳以上	413	62.7	11.9	10.9	19.6	25.4	11.4	20.3
居住地区別	津田地区	140	53.6	13.6	14.3	20.7	32.1	10.7	14.3
	大川地区	151	63.6	16.6	13.9	17.9	21.2	19.2	19.9
	志度地区	432	55.3	15.7	14.8	21.1	25.5	16.2	21.8
	寒川地区	123	63.4	13.8	8.9	22.0	24.4	17.1	17.9
	長尾地区	257	59.5	9.3	14.4	21.0	26.1	20.2	18.3
	対象者数（人）	越え深めた交流の促進	子ども同士のつながりを	不登校や早期対応と支援	学校施設の環境整備	交通安全対策の強化	その他	不明・無回答	
性別	男性	329	25.2	42.2	8.8	18.2	4.6	3.6	
	女性	423	21.7	45.4	6.9	19.1	2.6	4.7	
年齢別	10歳代	7	14.3	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	
	20歳代	60	18.3	50.0	10.0	20.0	10.0	1.7	
	30歳代	70	25.7	37.1	8.6	25.7	1.4	1.4	
	40歳代	131	20.6	37.4	9.2	19.1	3.1	2.3	
	50歳代	165	20.6	41.8	9.1	15.8	4.8	3.0	
	60歳代	267	21.7	49.8	7.5	15.4	1.5	4.1	
	70歳以上	413	25.7	42.6	7.5	20.8	2.2	7.3	
居住地区別	津田地区	140	30.0	44.3	3.6	19.3	3.6	7.9	
	大川地区	151	28.5	35.1	9.3	15.9	4.0	4.6	
	志度地区	432	18.3	46.1	9.5	19.7	2.1	3.7	
	寒川地区	123	25.2	42.3	8.1	26.8	2.4	3.3	
	長尾地区	257	21.8	45.9	8.2	17.1	3.1	4.3	

(単位: %)

＜環境＞

問 17 あなたは、環境を良くするためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか（3つまで○印）

環境を良くするためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますかについてみると、「山林・農地・水辺空間など自然環境の保全」が48.7%と最も高く、次いで、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」が32.9%、「太陽光発電などの自然エネルギーの普及促進」が27.0%となっています。



性別では、男女ともに「山林・農地・水辺空間など自然環境の保全」が最も高くなっています。
 年齢別では、10歳代、30歳代を除くすべての年齢で「山林・農地・水辺空間など自然環境の保全」、10歳代、30歳代は「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」が最も高くなっています。
 居住地区別では、上位3位は全体とおおむね同様となっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数（人）	省エネの抑制による	電気・ガス・ガソリン	公共交通網の整備の抑制	公共機関の整備の促進	エネルギーの普及促進	太陽光発電などの自然	山林・農地・水辺空間	自然環境の実施	小・中学校における自	身近な環境の推進	緑化の推進	資源ごみの分別の推進	地域の自主的な清掃活動	大気汚染・騒音・振動対策	法投棄の防止	看板設置やパトロール	その他	不明・無回答
性別	男性	329	21.3	20.1	31.3	50.8	18.8	14.9	29.5	22.5	22.2	19.8	2.4	4.3						
	女性	423	21.0	18.7	22.9	48.7	22.9	17.7	37.1	17.3	24.8	20.1	1.2	2.8						
年齢別	10歳代	7	42.9	28.6	14.3	14.3	42.9	28.6	57.1	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0						
	20歳代	60	35.0	10.0	35.0	48.3	13.3	15.0	26.7	13.3	35.0	11.7	3.3	1.7						
	30歳代	70	27.1	17.1	27.1	31.4	34.3	14.3	38.6	10.0	28.6	14.3	0.0	2.9						
	40歳代	131	18.3	17.6	29.0	42.7	29.8	22.1	38.2	16.8	18.3	16.0	0.8	3.1						
	50歳代	165	18.2	21.2	30.3	44.8	16.4	17.6	30.3	16.4	20.0	13.9	2.4	3.6						
	60歳代	267	19.9	19.9	21.3	58.1	24.7	15.0	32.6	24.0	26.6	21.3	1.1	3.0						
	70歳以上	413	22.5	18.6	27.8	49.2	17.9	16.0	32.4	24.5	20.8	25.7	1.2	5.8						
居住地区別	津田地区	140	19.3	20.0	27.9	50.0	17.9	24.3	30.0	17.9	27.9	19.3	1.4	5.0						
	大川地区	151	24.5	19.2	25.2	59.6	22.5	14.6	39.1	20.5	16.6	13.9	0.7	4.6						
	志度地区	432	22.0	19.2	25.0	46.3	23.8	16.2	33.1	20.1	25.0	21.5	1.6	3.0						
	寒川地区	123	18.7	17.9	29.3	56.1	21.1	11.4	30.9	24.4	30.9	21.1	0.8	3.3						
	長尾地区	257	22.6	17.5	30.4	42.4	20.2	17.5	33.5	21.0	17.5	20.6	1.6	4.7						

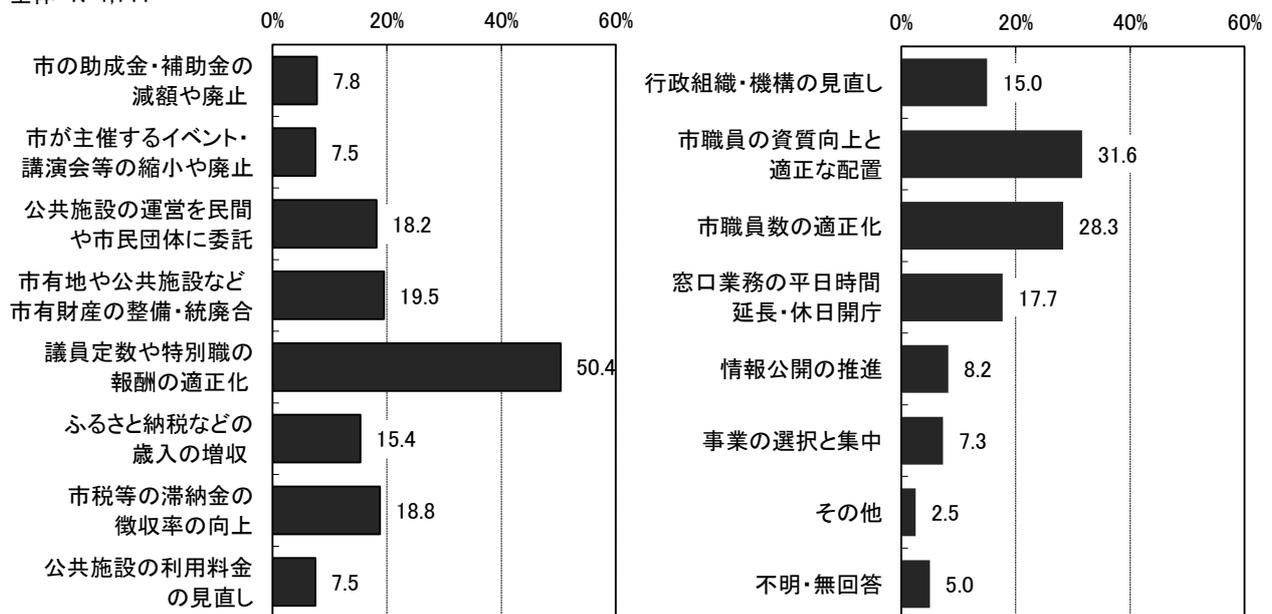
(単位:%)

＜行政の取組＞

問 18 あなたは、限られた財源や人材を有効に使い、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、今後どのような方策に力を入れるべきだと思いますか
(3つまで○印)

限られた財源や人材を有効に使い、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、今後どのような方策に力を入れるべきだと思いますかについてみると、「議員定数や特別職の報酬の適正化」が50.4%と最も高く、次いで、「市職員の資質向上と適正な配置」が31.6%、「市職員数の適正化」が28.3%となっています。

全体 N=1,144



性別では、上位3位は全体と同様となっています。

年齢別では、10歳代を除くすべての年齢で「議員定数や特別職の報酬の適正化」、10歳代は「市職員の資質向上と適正な配置」「窓口業務の平日時間延長・休日開庁」が最も高くなっています。

居住地区別では、すべての地区で「議員定数や特別職の報酬の適正化」が最も高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

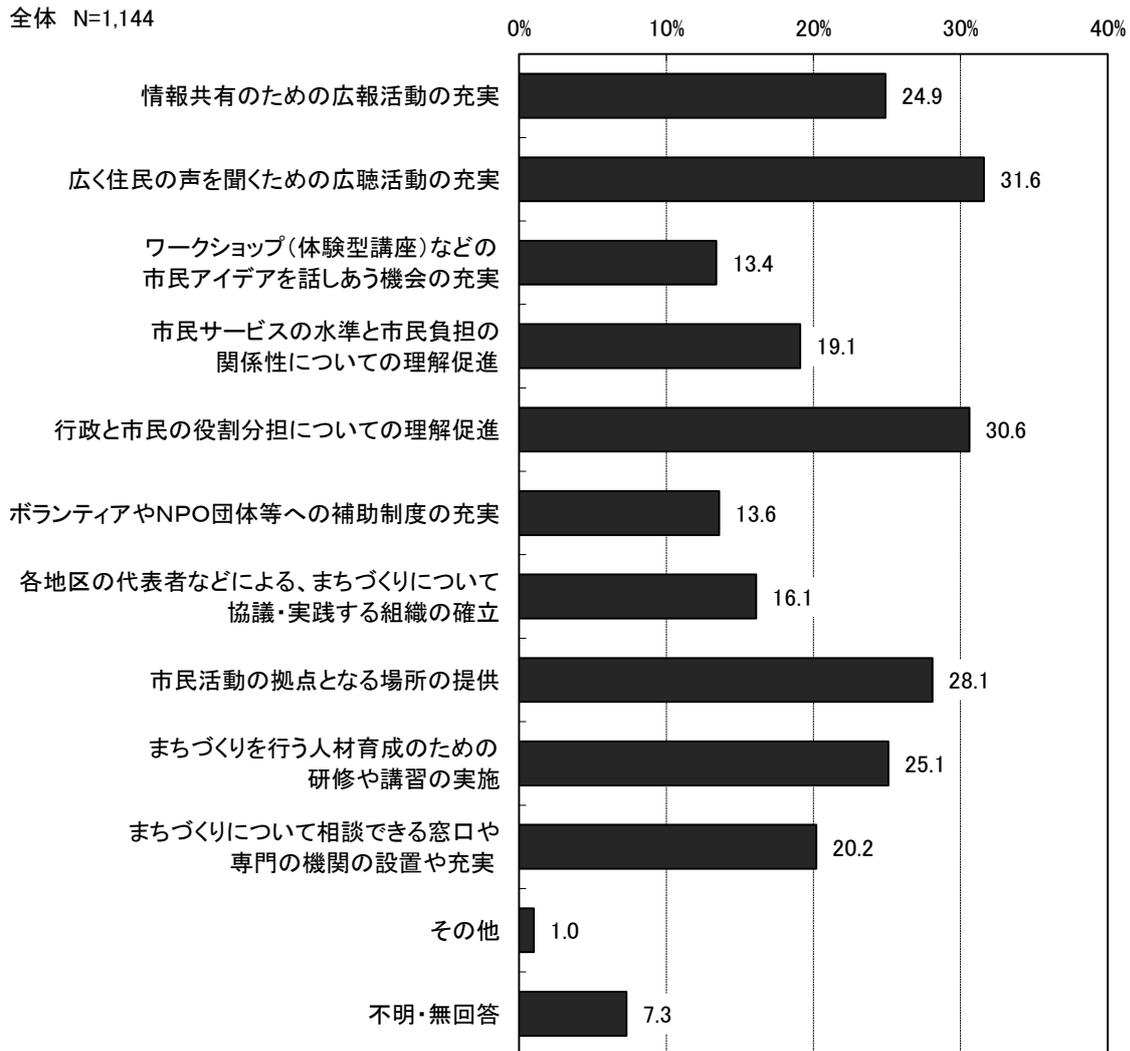
		対象者数（人）	市の助成金・補助金の減額や廃止	トが主催するイベントや市民団体の運営を民間委託	公共施設の運営を民間委託	公有財産の整備・統廃	議員定数や特別職の報酬の適正化	入るさと納税などの歳入の増収	市の税等の滞納金の徴収率の向上	見直し公共施設の利用料金の
性別	男性	329	7.3	7.0	20.7	24.6	49.2	11.6	19.1	6.4
	女性	423	8.7	7.6	15.4	15.4	53.7	17.0	17.5	6.6
年齢別	10歳代	7	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0
	20歳代	60	1.7	6.7	15.0	10.0	41.7	23.3	18.3	6.7
	30歳代	70	12.9	11.4	15.7	11.4	41.4	30.0	14.3	7.1
	40歳代	131	9.9	9.2	16.8	14.5	51.1	13.7	20.6	8.4
	50歳代	165	9.7	9.1	10.9	19.4	53.3	15.8	16.4	9.7
	60歳代	267	7.1	5.6	20.2	22.8	60.7	12.7	16.5	4.1
	70歳以上	413	6.8	7.3	21.5	22.3	45.5	14.3	21.8	9.2
居住地区別	津田地区	140	5.7	5.0	20.7	19.3	59.3	15.0	20.7	6.4
	大川地区	151	8.6	4.6	21.2	22.5	47.7	17.2	17.2	11.3
	志度地区	432	8.1	8.8	18.1	18.1	49.8	15.3	18.1	7.2
	寒川地区	123	5.7	10.6	17.1	26.0	55.3	12.2	16.3	5.7
	長尾地区	257	8.6	7.8	16.7	17.5	47.5	17.5	21.8	7.4
		対象者数（人）	行政組織・機構の見直し	市職員の資質向上と適正な配置	市職員数の適正化	長窓・休日開庁業務の平日時間延長	情報公開の推進	事業の選択と集中	その他	不明・無回答
性別	男性	329	19.8	28.6	28.0	16.7	9.4	10.6	3.3	4.6
	女性	423	11.8	36.2	28.8	19.9	7.1	5.2	1.4	3.8
年齢別	10歳代	7	0.0	42.9	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	60	25.0	33.3	31.7	25.0	6.7	5.0	5.0	5.0
	30歳代	70	14.3	38.6	31.4	18.6	5.7	5.7	1.4	1.4
	40歳代	131	14.5	30.5	30.5	21.4	5.3	12.2	2.3	2.3
	50歳代	165	12.7	32.1	30.9	24.2	6.1	6.1	2.4	1.8
	60歳代	267	19.1	29.6	31.8	17.2	10.5	8.2	2.6	3.4
	70歳以上	413	11.6	31.5	22.3	12.1	9.9	6.5	2.2	8.5
居住地区別	津田地区	140	14.3	36.4	27.9	12.1	6.4	7.9	1.4	5.0
	大川地区	151	11.3	37.1	25.8	15.2	9.3	5.3	4.0	4.0
	志度地区	432	17.1	31.0	28.7	18.5	9.0	5.8	2.5	4.6
	寒川地区	123	9.8	32.5	22.8	17.1	9.8	8.9	3.3	6.5
	長尾地区	257	15.6	27.2	30.7	19.5	6.6	10.1	1.6	4.7

(単位:%)

＜市民参画＞

問 19 あなたは、市民協働のまちづくりを進めるうえで、どのようなことが重要だと思いますか（3つまで○印）

市民協働のまちづくりを進めるうえで、どのようなことが重要だと思いますかについてみると、「広く住民の声を聞くための広聴活動の充実」が 31.6%と最も高く、次いで、「行政と市民の役割分担についての理解促進（「市民ができることは市民で取り組む」など）」が 30.6%、「市民活動の拠点となる場所の提供（公共施設の開放など）」が 28.1%となっています。



性別では、男女ともに「広く住民の声を聞くための広聴活動の充実」が最も高くなっています。

年齢別では、ばらつきがあり、「広く住民の声を聞くための広聴活動の充実」、「行政と市民の役割分担についての理解促進」などが高くなっています。

居住地区別では、津田地区、大川地区を除くすべての地区で「広く住民の声を聞くための広聴活動の充実」、津田地区、大川地区は「行政と市民の役割分担についての理解促進」が最も高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

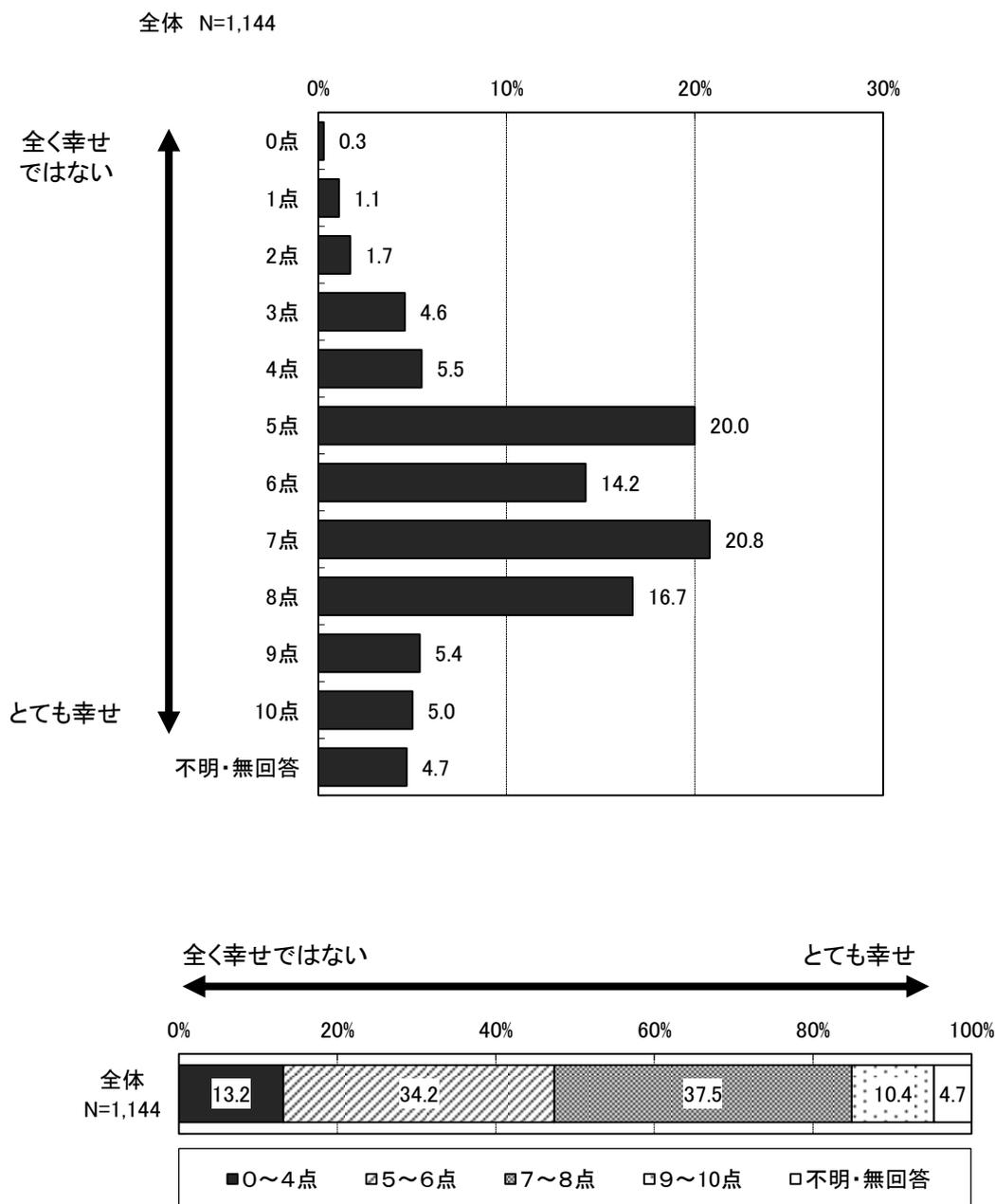
		対象者数 (人)	活動の共有の充実のため の広報	広く住民の声を聞くた め	型講座など の充実	市民の理解促進	行政と市民の役割 分担	団体等への補助 制度
性別	男性	329	25.2	32.8	15.8	21.3	32.2	11.9
	女性	423	23.9	31.7	12.3	17.5	29.3	15.4
年齢別	10歳代	7	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	57.1
	20歳代	60	30.0	25.0	11.7	21.7	23.3	16.7
	30歳代	70	40.0	30.0	11.4	18.6	22.9	14.3
	40歳代	131	25.2	21.4	24.4	22.1	27.5	16.0
	50歳代	165	19.4	30.3	15.8	18.2	26.7	13.9
	60歳代	267	25.5	35.2	13.5	22.5	37.1	13.9
	70歳以上	413	23.5	33.7	9.4	16.2	32.4	11.4
地区別	津田地区	140	25.7	28.6	17.9	18.6	30.7	17.1
	大川地区	151	26.5	31.1	16.6	19.9	36.4	11.9
	志度地区	432	26.6	31.5	10.9	20.1	30.8	13.7
	寒川地区	123	20.3	39.0	12.2	17.1	31.7	11.4
	長尾地区	257	23.3	29.6	13.2	19.1	28.8	14.4
		対象者数 (人)	織いよ各 のてる地 確協、区 立議まの ・ち代 実践者 するな るにど 組つに	場市民 所の活 動の提 供拠 点と なる	習育ま の成ち の実の 実施づ のた り研 修う や人 講材	機談ま 関でち のける 設置る や窓 充口 実や の専 の門 の相	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性	329	16.4	27.7	24.6	20.4	1.5	5.5
	女性	423	15.4	30.0	23.2	18.9	0.9	7.1
年齢別	10歳代	7	0.0	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0
	20歳代	60	10.0	35.0	28.3	28.3	0.0	6.7
	30歳代	70	15.7	24.3	25.7	14.3	0.0	0.0
	40歳代	131	13.0	29.0	23.7	19.1	0.0	2.3
	50歳代	165	10.3	30.3	20.6	23.0	1.2	5.5
	60歳代	267	12.4	29.6	23.6	19.9	1.5	6.0
	70歳以上	413	22.8	25.9	27.6	19.4	1.2	11.4
居住地区別	津田地区	140	8.6	30.7	25.0	22.1	0.0	8.6
	大川地区	151	19.2	24.5	22.5	20.5	0.7	5.3
	志度地区	432	16.7	28.5	22.5	19.0	1.4	7.2
	寒川地区	123	16.3	33.3	29.3	18.7	0.8	4.9
	長尾地区	257	16.3	26.5	29.2	21.4	1.2	7.8

(単位:%)

□ あなたの暮らしについて

問 20 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「全く幸せではない」を0点とすると、何点くらいになるとお思いますか（1つに○印）

幸福度についてみると、「7点」が20.8%と最も高く、次いで、「5点」が20.0%、「8点」が16.7%となっており、全体的にやや幸せと感じている人が多い状況となっています。

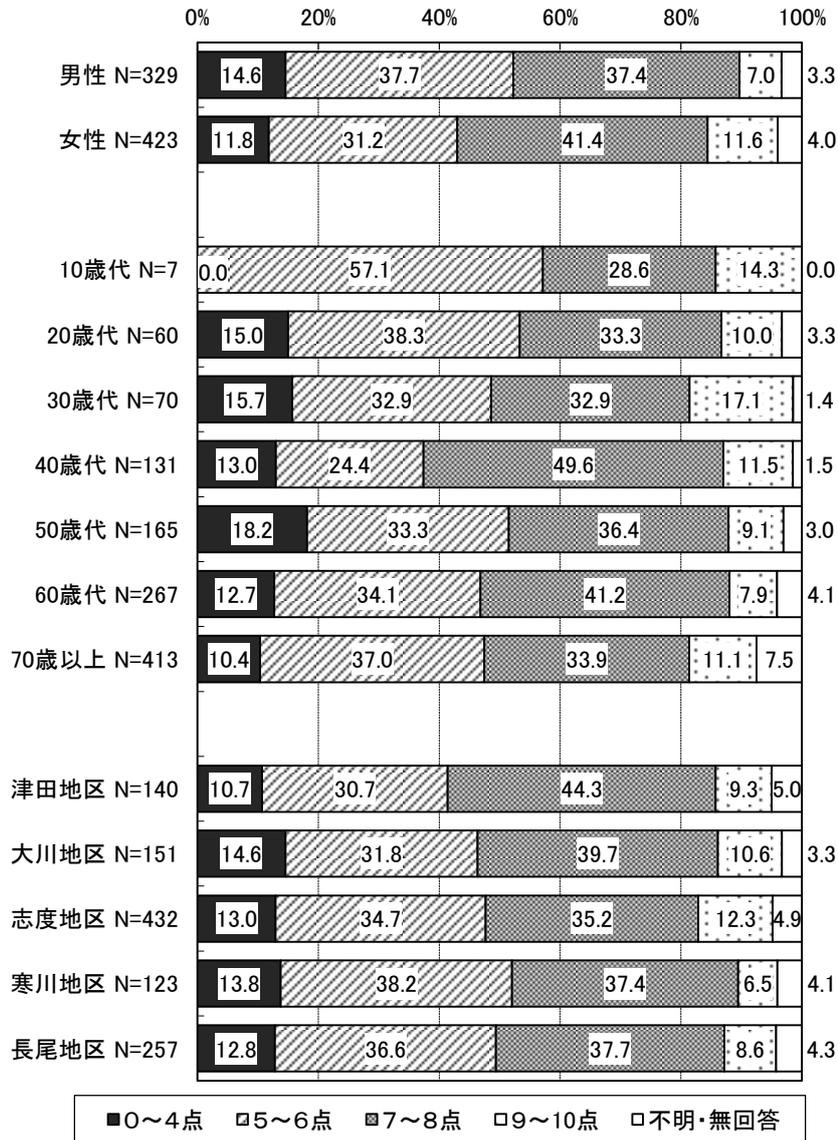


性別では、男性は「5～6点」が37.7%、女性は「7～8点」が41.4%と最も高くなっています。

年齢別では、10歳代は「5～6点」が57.1%、40歳代は「7～8点」が49.6%と最も高くなっています。

居住地区別では、寒川地区を除くすべての地区で「7～8点」、寒川地区は「5～6点」が最も高くなっています。

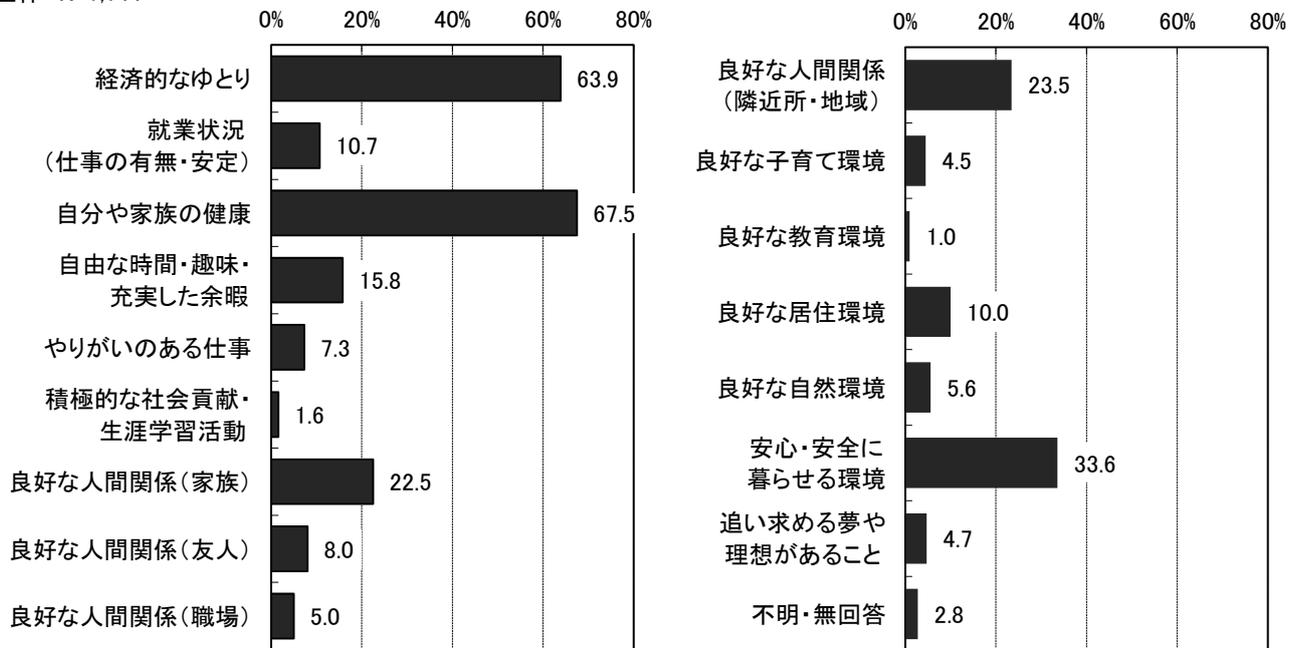
【性別、年齢別、居住地区別】



問 21 あなたが「幸せ」でいるために、重要だと思う事項は何ですか（3つまで○印）

「幸せ」でいるために、重要だと思う事項は何ですかについてみると、「自分や家族の健康」が67.5%と最も高く、次いで、「経済的なゆとり」が63.9%、「安心・安全に暮らせる環境」が33.6%となっています。

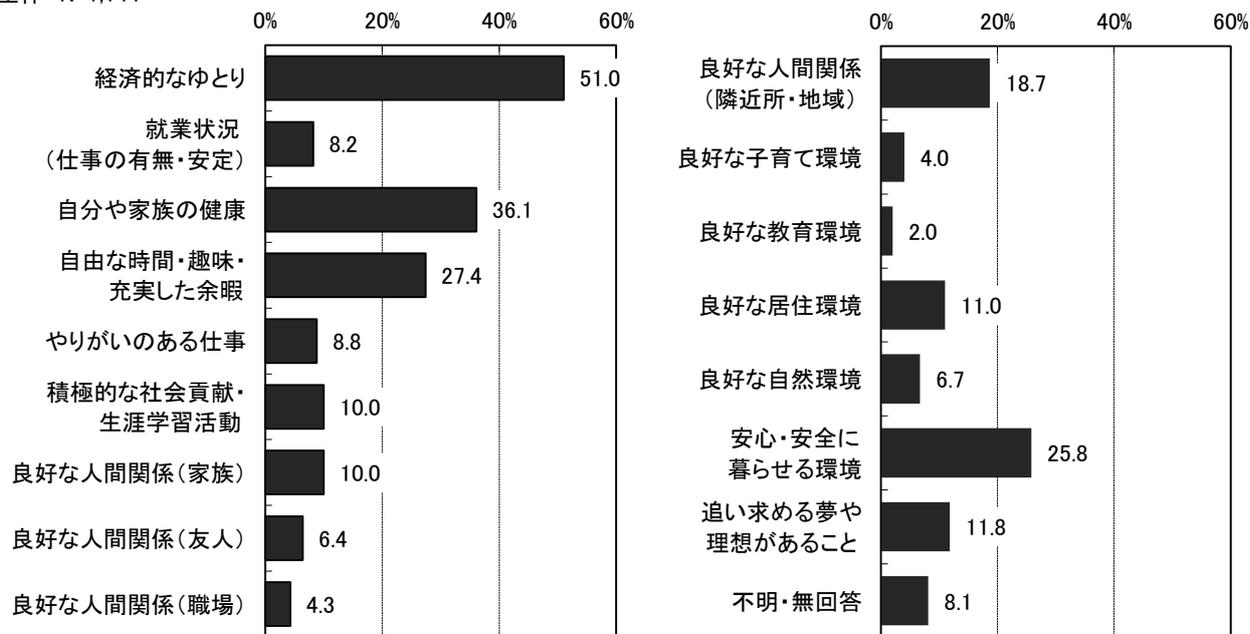
全体 N=1,144



問 22 あなたが幸福感をさらに高めるために、今足りていない（さらに高めたい）と思う事項は何ですか（3つまで〇印）

幸福感をさらに高めるために、今足りていない（さらに高めたい）と思う事項は何ですかについてみると、「経済的なゆとり」が51.0%と最も高く、次いで、「自分や家族の健康」が36.1%、「自由な時間・趣味・充実した余暇」が27.4%となっています。

全体 N=1,144



性別では、上位3位は全体と同様となっています。

年齢別では、10歳代、80歳以上を除くすべての年齢で「経済的なゆとり」、10歳代は「経済的なゆとり」「やりがいのある仕事」が同率、80歳以上は「自分や家族の健康」が最も高くなっています。

居住地区別では、上位3位は全体とおおむね同様となっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数(人)	経済的なゆとり	無・就業状況(仕事の有)	自分や家族の健康	実した余暇	自由な時間・趣味・充	やりがいのある仕事	生涯学習的な社会貢献・生	積極的な社会貢献・生	良好な人間関係(家族)	良好な人間関係(友人)	良好な人間関係(職場)
性別	男性	329	53.5	10.0	36.8	26.1	10.6	10.3	9.1	6.1	5.2		
	女性	423	53.9	7.1	35.2	27.4	9.0	10.4	10.2	6.1	2.8		
年代別	10歳代	7	42.9	28.6	14.3	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	14.3		
	20歳代	60	66.7	13.3	11.7	33.3	16.7	6.7	5.0	10.0	11.7		
	30歳代	70	52.9	8.6	18.6	38.6	14.3	5.7	4.3	5.7	14.3		
	40歳代	131	69.5	19.1	22.1	32.1	14.5	3.8	9.2	3.8	7.6		
	50歳代	165	54.5	12.7	30.3	32.1	10.9	10.9	7.9	1.8	4.2		
	60歳代	267	49.1	6.4	36.3	29.2	6.0	13.9	8.6	6.4	3.0		
	70歳以上	413	42.4	2.7	49.4	19.6	5.1	10.4	14.3	8.7	0.7		
地区別	津田地区	140	47.1	5.0	39.3	19.3	12.9	8.6	12.1	11.4	0.7		
	大川地区	151	47.7	11.3	37.7	29.1	6.6	11.3	9.9	6.0	4.6		
	志度地区	432	51.6	8.6	35.6	27.1	9.0	10.2	8.6	5.6	5.1		
	寒川地区	123	49.6	7.3	42.3	27.6	11.4	10.6	12.2	4.1	4.1		
	長尾地区	257	55.3	7.8	31.9	30.4	6.6	10.5	10.1	7.0	4.3		
		対象者数(人)	(良好な人間関係(隣近所・地域))	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	良好な自然環境	環境安心・安全に暮らせる	追い求める夢や理想があること	不明・無回答			
性別	男性	329	16.7	5.5	2.4	9.1	7.3	25.8	9.4	9.1			
	女性	423	19.9	3.1	1.9	10.2	5.9	26.2	13.2	6.6			
年齢別	10歳代	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3			
	20歳代	60	11.7	6.7	0.0	10.0	6.7	18.3	20.0	6.7			
	30歳代	70	11.4	18.6	5.7	8.6	2.9	12.9	12.9	10.0			
	40歳代	131	5.3	6.9	5.3	12.2	2.3	15.3	13.7	3.8			
	50歳代	165	11.5	3.0	2.4	9.1	4.8	21.2	11.5	9.7			
	60歳代	267	22.1	2.2	1.5	16.5	8.2	25.1	14.2	7.1			
	70歳以上	413	26.4	2.2	0.7	9.2	9.0	34.9	8.2	9.0			
居住地区別	津田地区	140	20.0	2.9	2.1	15.0	5.0	26.4	7.1	12.9			
	大川地区	151	19.2	4.6	1.3	12.6	6.6	23.8	11.9	6.6			
	志度地区	432	19.7	3.2	1.9	12.5	6.7	27.8	11.1	6.0			
	寒川地区	123	17.9	0.8	0.0	8.1	5.7	27.6	12.2	11.4			
	長尾地区	257	16.3	7.8	3.5	7.8	8.9	21.4	15.2	7.8			

(単位:%)

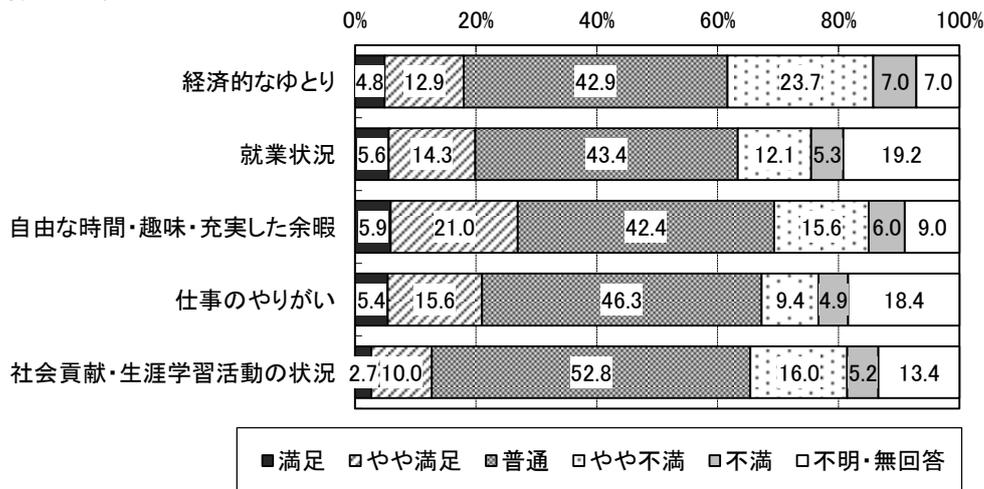
問 23 あなたの状況についておたずねします（1つに○印）

満足度についてみると、『満足（満足+やや満足の合計）』では、「自由な時間・趣味・充実した余暇」が26.9%、『不満（不満+やや不満の合計）』では、「経済的なゆとり」が30.7%と最も高くなっています。

評価についてみると、『良い（良い+おおむね良いの合計）』では、「家族との人間関係」が49.6%、『悪い（悪い+少し悪いの合計）』では、「夢や理想を追い求めることができる環境」が24.8%と最も高くなっています。

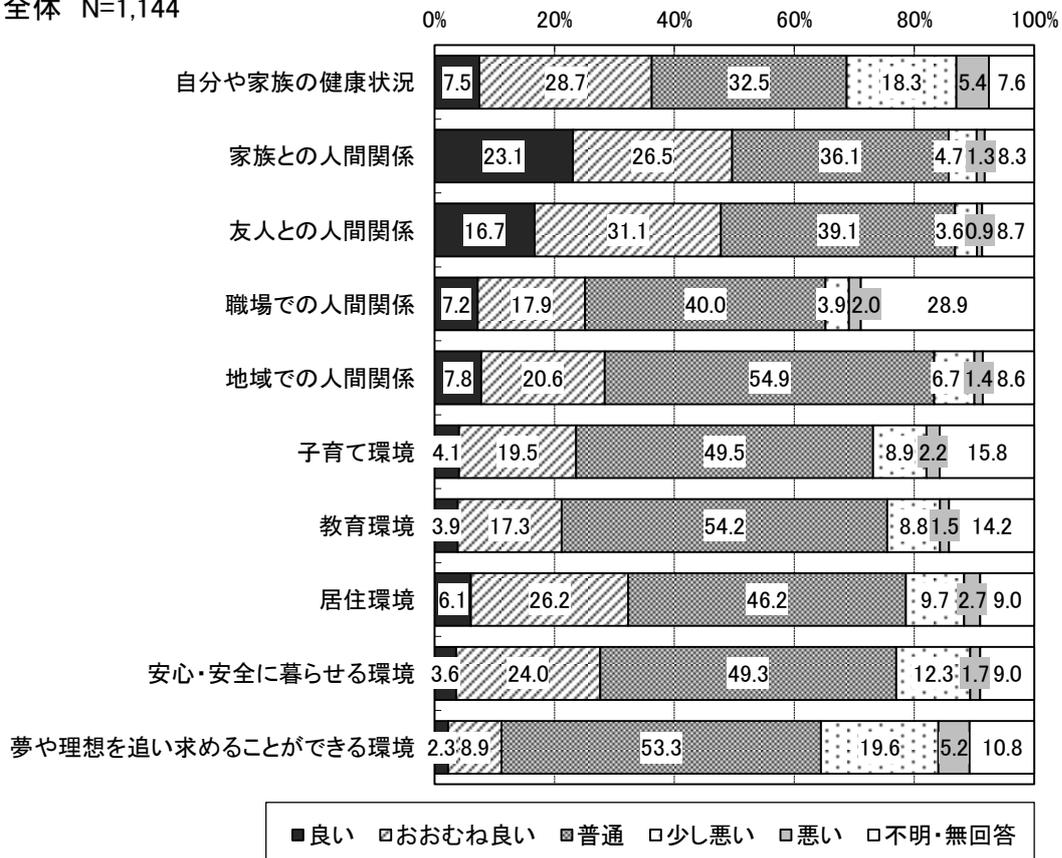
<満足度>

全体 N=1,144



<評価>

全体 N=1,144



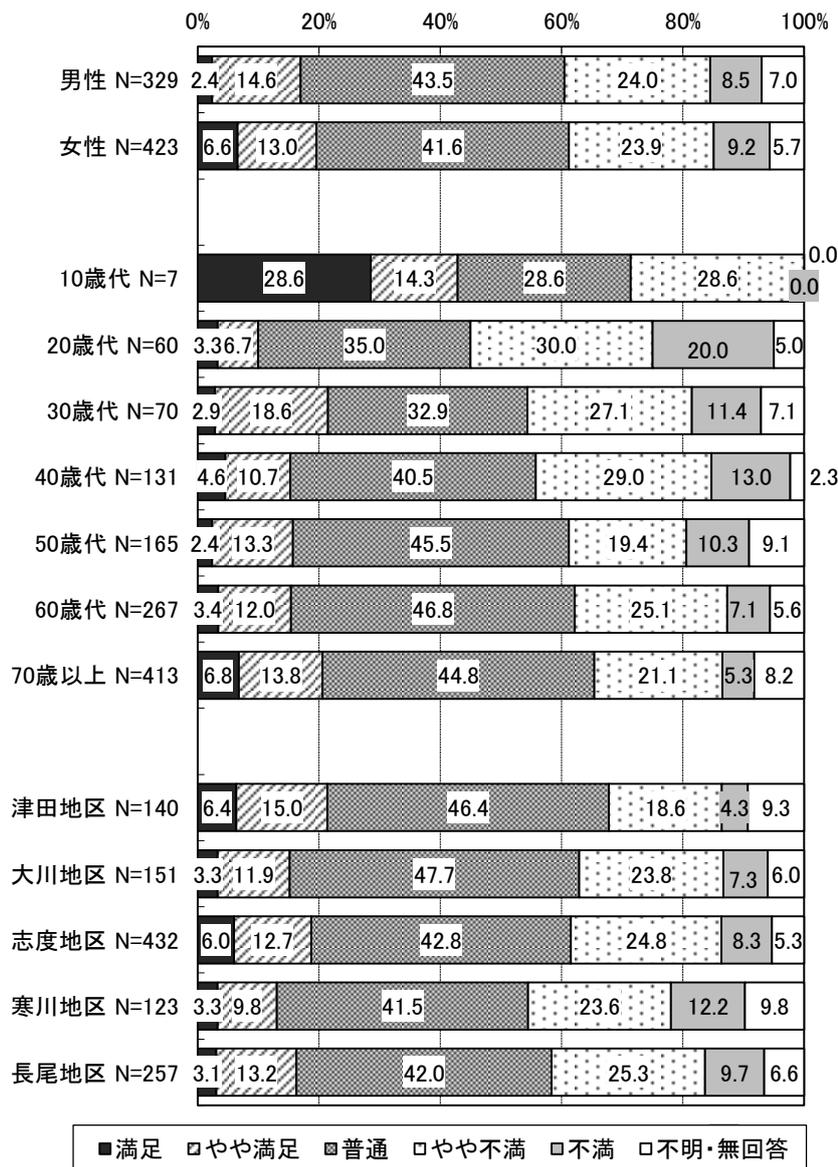
性別では、『満足』と回答された方は、男性が 17.0%、女性が 19.9%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『不満』と回答された方は、20 歳代が 50.0%と他の年齢より高くなっており、20 歳代から 70 歳以上にかけて、年齢が上がるほど割合が低くなる傾向となっています。

居住地区別では、『満足』と回答された方は、津田地区で 21.4%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<満足度：経済的なゆとり>



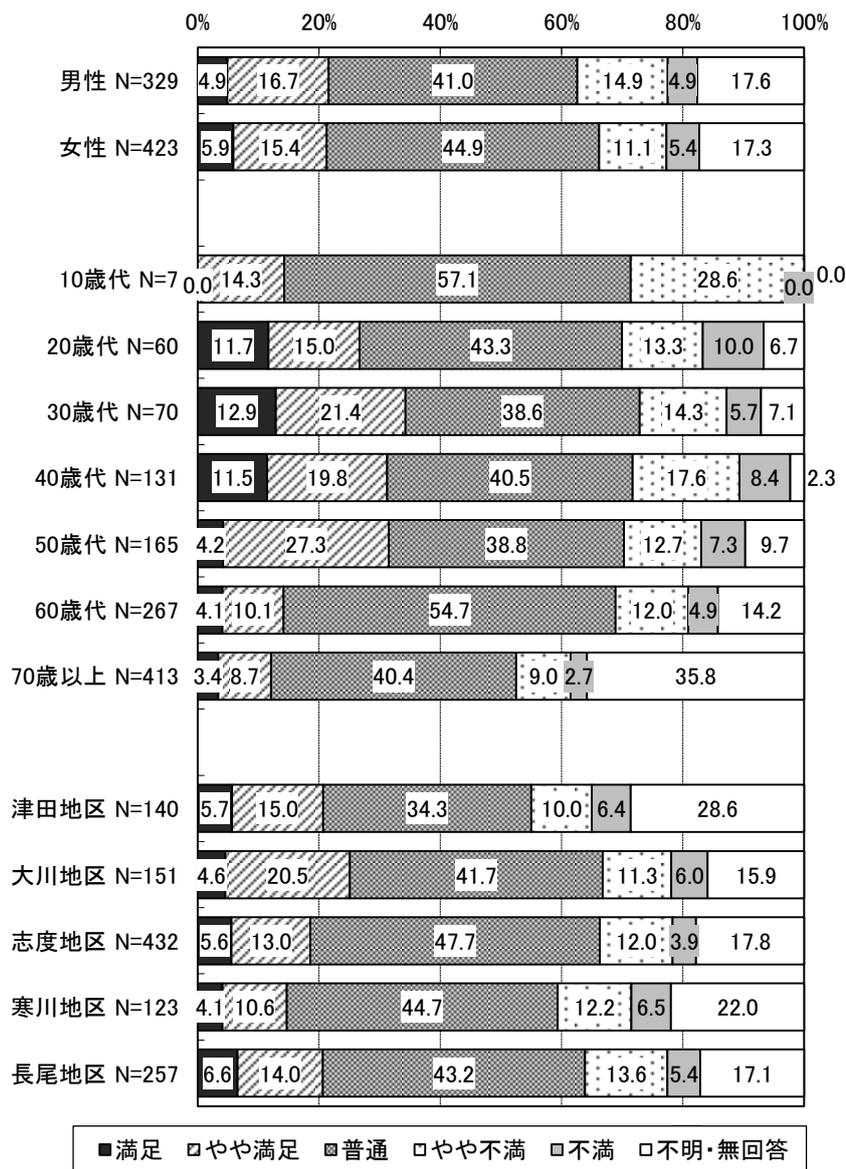
性別では、『不満』と回答された方は、男性が 19.8%、女性が 16.5%と、女性より男性の割合が高くなっています。

年齢別では、『満足』と回答された方は、20 歳代から 50 歳代の稼働年齢層で2割を超えて全体より高くなっているものの、『不満』との回答も2、3割となっています。

居住地区別では、『満足』と回答された方は、大川地区で 25.1%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<満足度：就業状況>



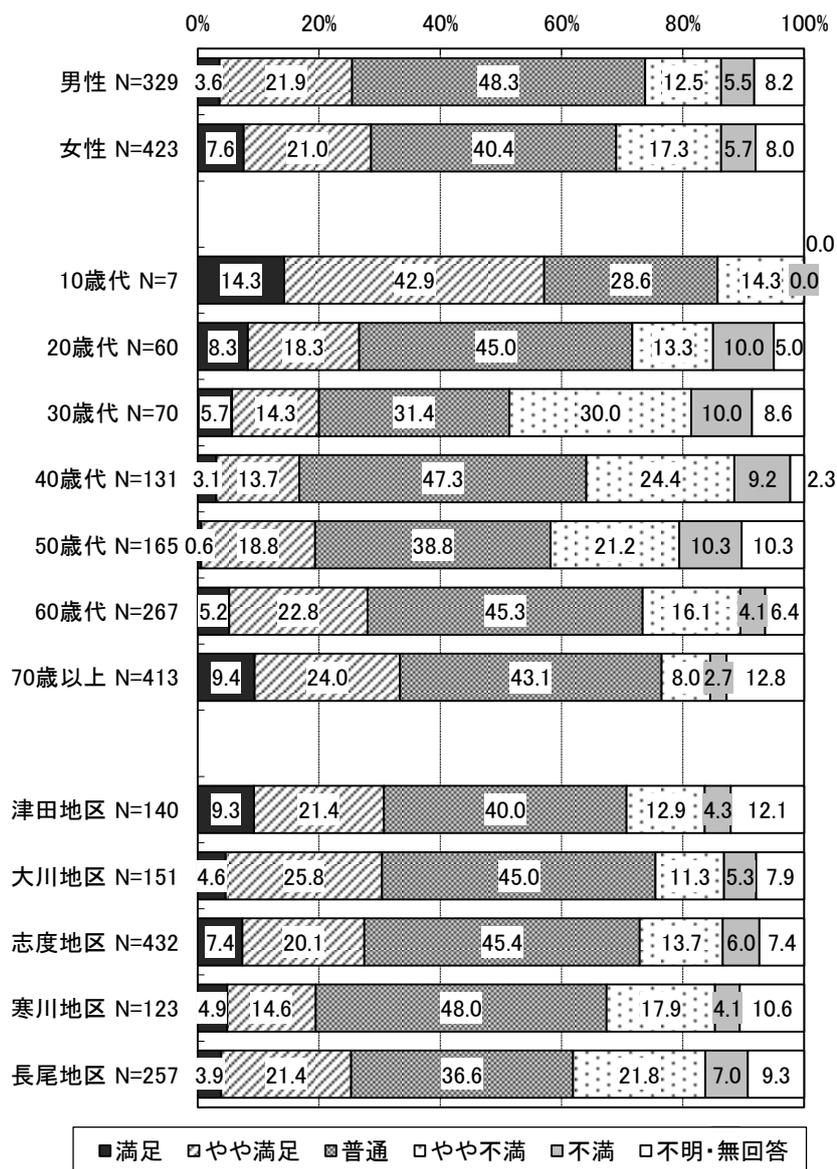
性別では、『満足』と回答された方は、男性が25.5%、女性が28.6%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『不満』と回答された方は、30歳代が40.0%と他の年齢より高くなっており、30歳代から50歳代で3、4割と他の年齢より高くなっています。

居住地区別では、『満足』と回答された方は、津田地区で30.7%、大川地区で30.4%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<満足度：自由な時間・趣味・充実した余暇>



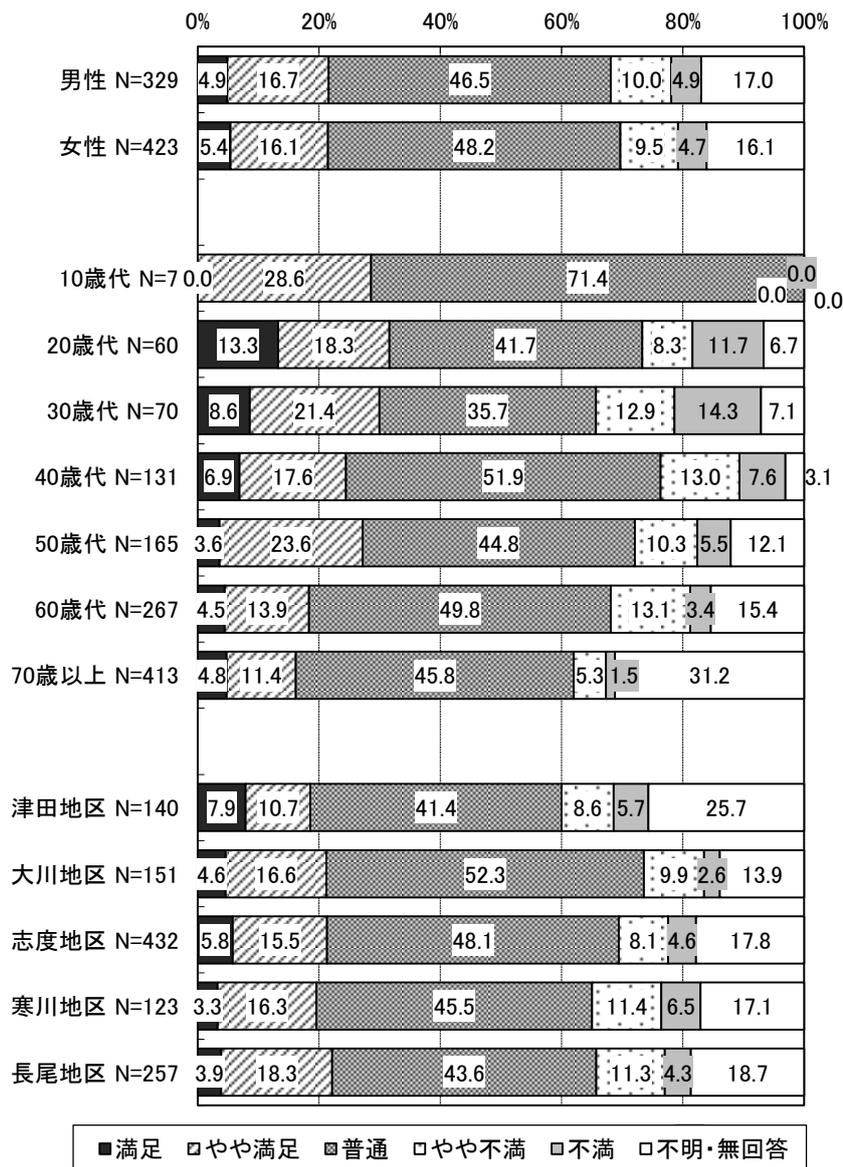
性別では、『満足』『不満』ともに男女でおおむね同様となっています。

年齢別では、『満足』と回答された方は、20歳代から70歳以上にかけて、年齢が上がるほど割合が低くなる傾向となっています。また、『不満』と回答された方は、30歳代が27.2%と他の年齢より高くなっています。

居住地区別では、『不満』と回答された方は、寒川地区で17.9%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

＜満足度：仕事のやりがい＞



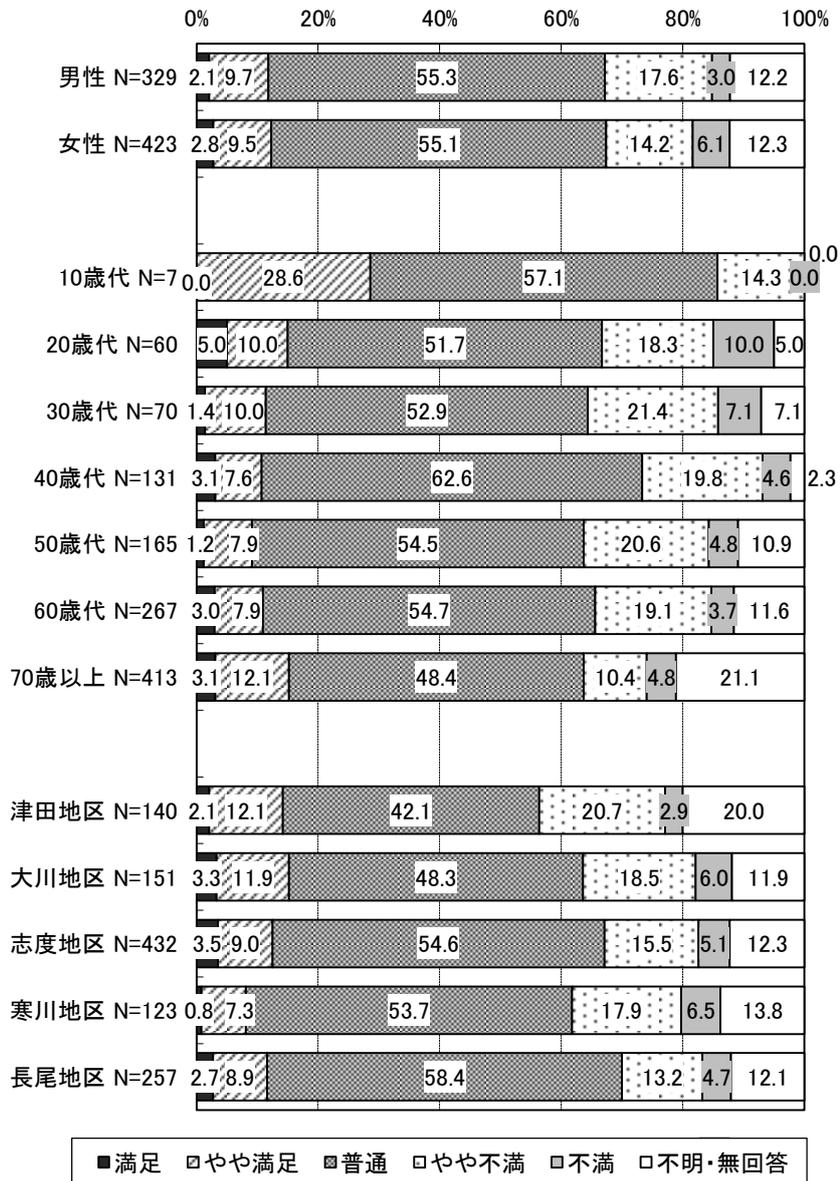
性別では、『満足』『不満』ともに男女でおおむね同様となっています。

年齢別では、『満足』と回答された方は、20歳代で15.0%、70歳以上で15.2%と他の年齢より高く、一方『不満』と回答された方は、20歳代で28.3%、30歳代で28.5%と他の年齢より高くなっています。

居住地区別では、『満足』と回答された方は、寒川地区で9.1%と他の地区より低くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<満足度：社会貢献・生涯学習活動の状況>



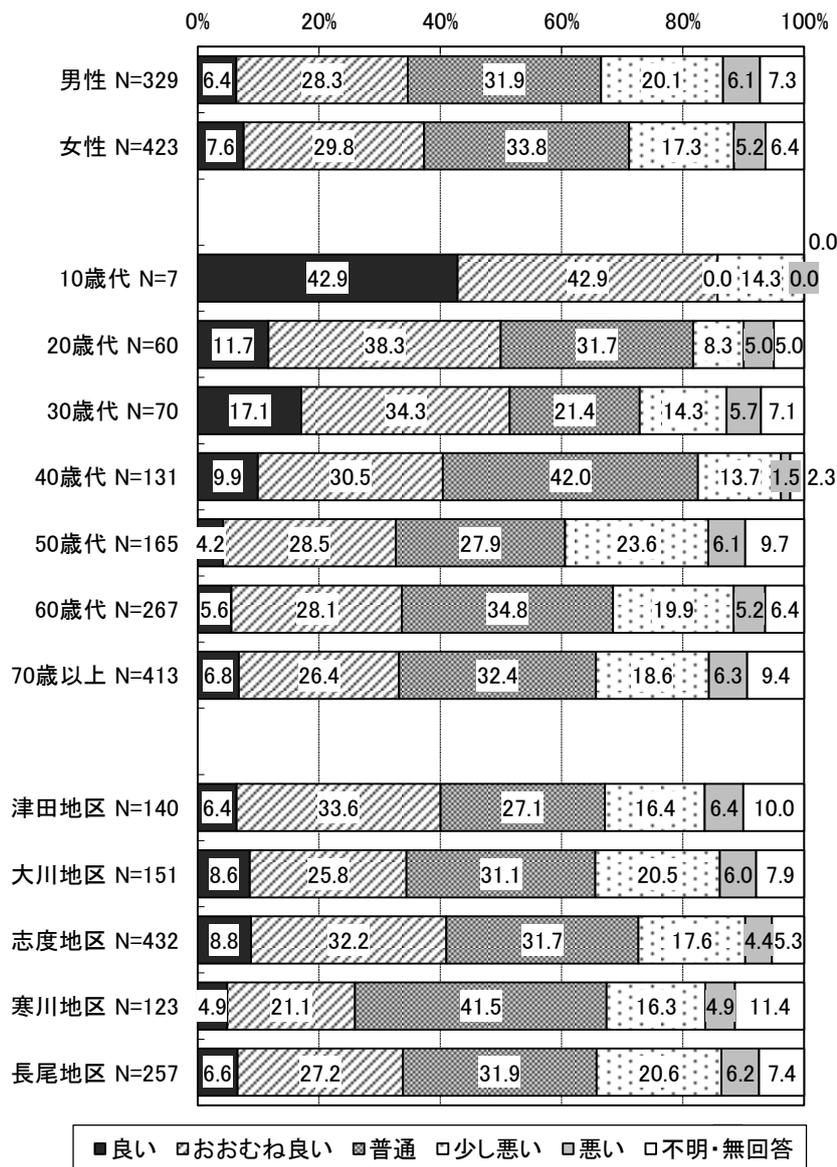
性別では、『悪い』と回答された方は、男性が26.2%、女性が22.5%と、女性より男性の割合が高くなっています。

年齢別では、『悪い』と回答された方は、50歳代が29.7%と他の年齢より高くなっており、50歳代から70歳以上においては、30歳代以下より高くなっています。

居住地区別では、『悪い』と回答された方は、大川地区で26.5%、長尾地区で26.8%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<評価：自分や家族の健康状況>



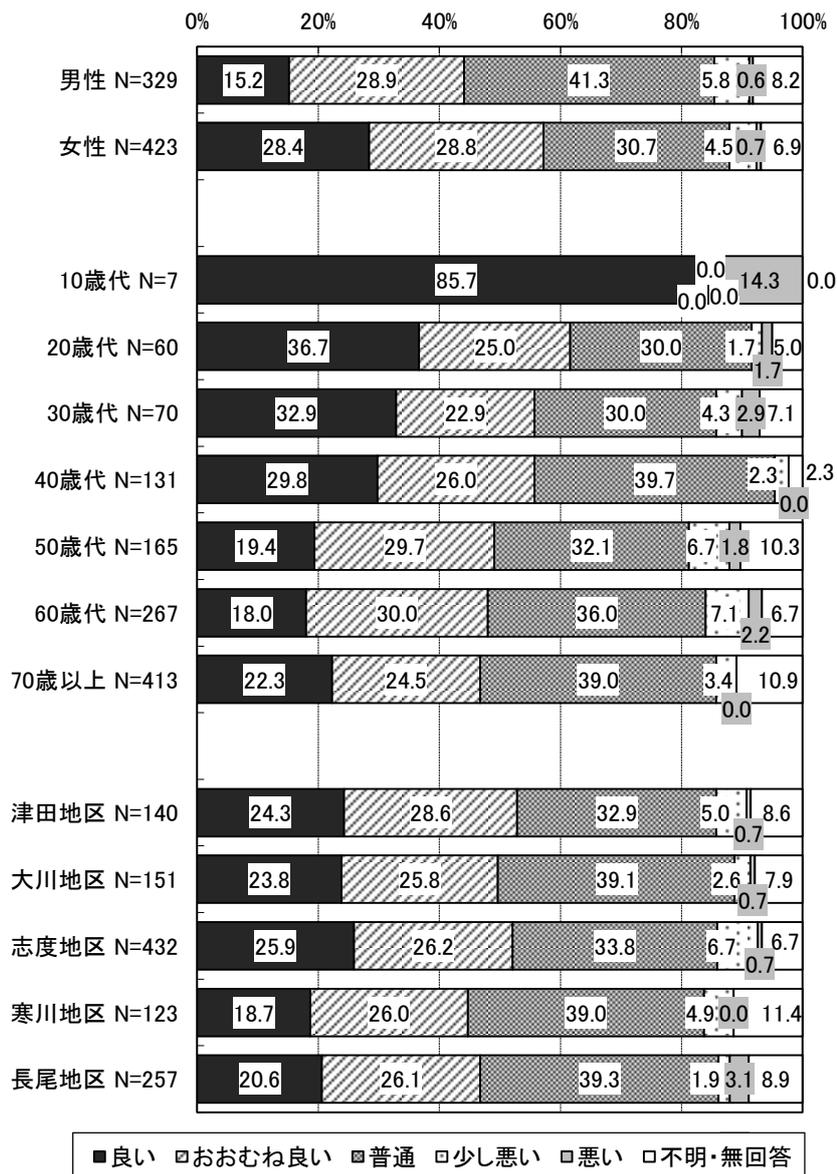
性別では、『良い』と回答された方は、男性が44.1%、女性が57.2%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『良い』と回答された方は、10歳代が85.7%と最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっています。

居住地区別では、『良い』と回答された方は、津田地区で52.9%、志度地区で52.1%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

＜評価：家族との人間関係＞



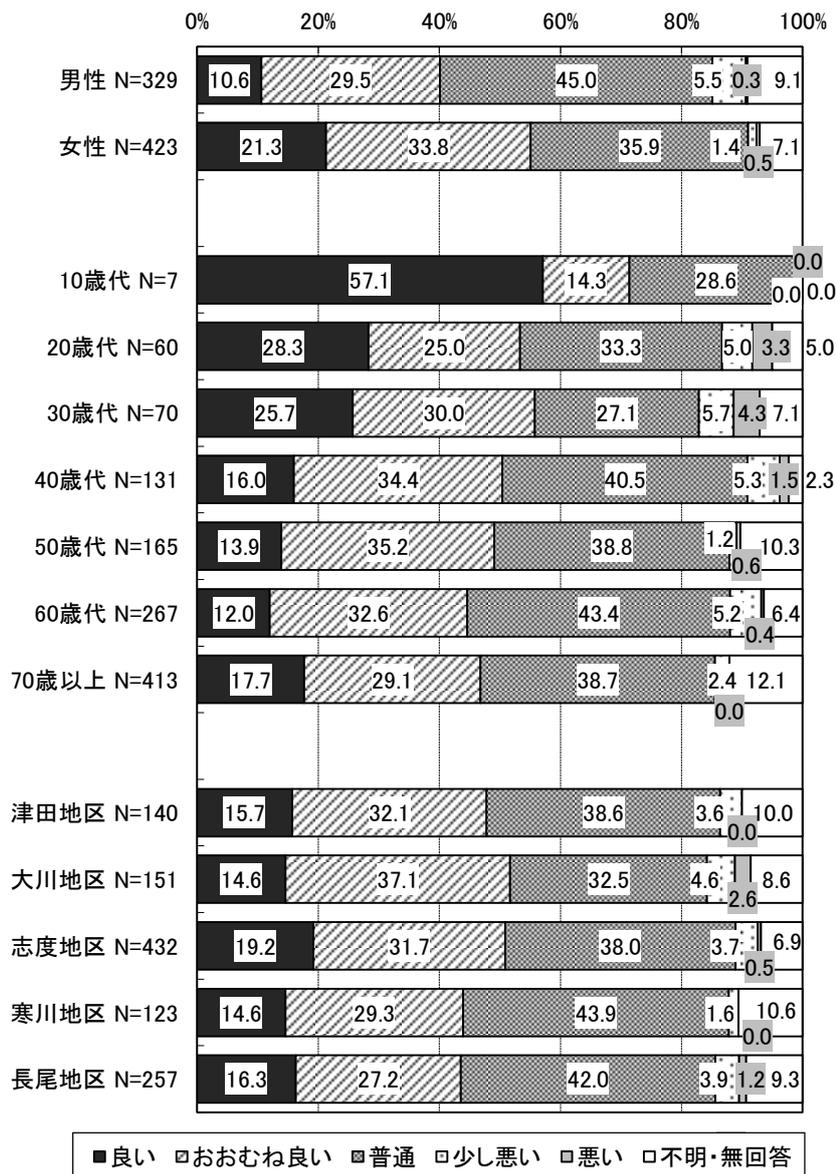
性別では、『良い』と回答された方は、男性が40.1%、女性が55.1%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『良い』と回答された方は、10歳代が71.4%と最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなる傾向となっています。

居住地区別では、『良い』と回答された方は、大川地区で51.7%、志度地区で50.9%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<評価：友人との人間関係>



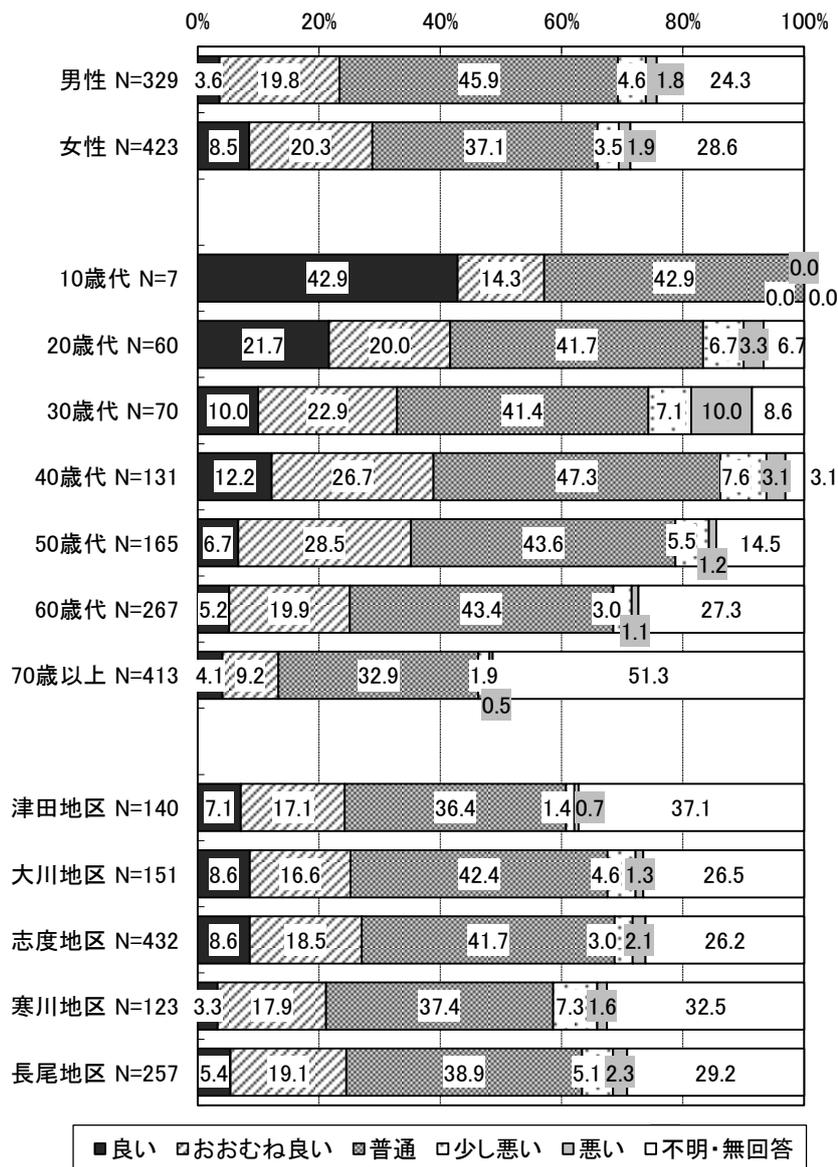
性別では、『良い』と回答された方は、男性が23.4%、女性が28.8%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『良い』と回答された方は、10歳代が57.2%と最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなる傾向となっています。

居住地区別では、『良い』と回答された方は、志度地区で27.1%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<評価：職場での人間関係>



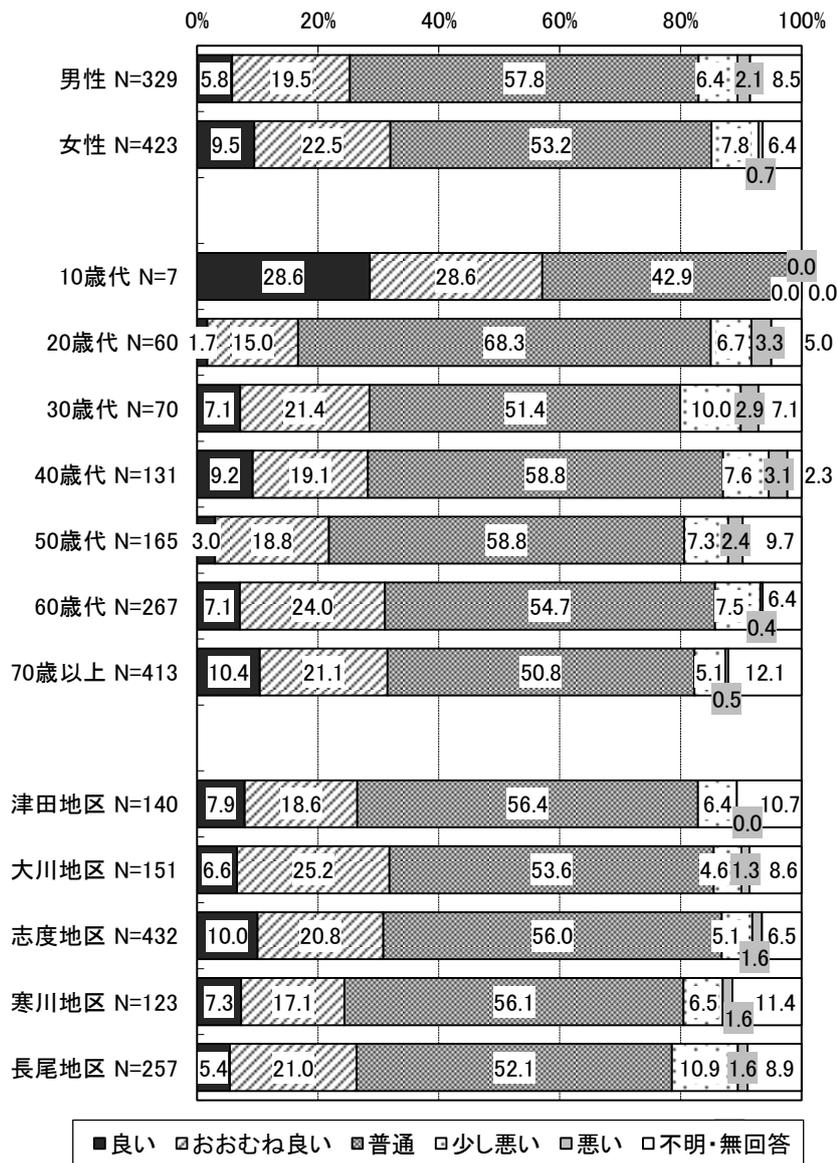
性別では、『良い』と回答された方は、男性が25.3%、女性が32.0%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『良い』と回答された方は、20歳代が16.7%と最も低くなっています。

居住地区別では、『良い』と回答された方は、大川地区で31.8%、志度地区で30.8%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

＜評価：地域での人間関係＞



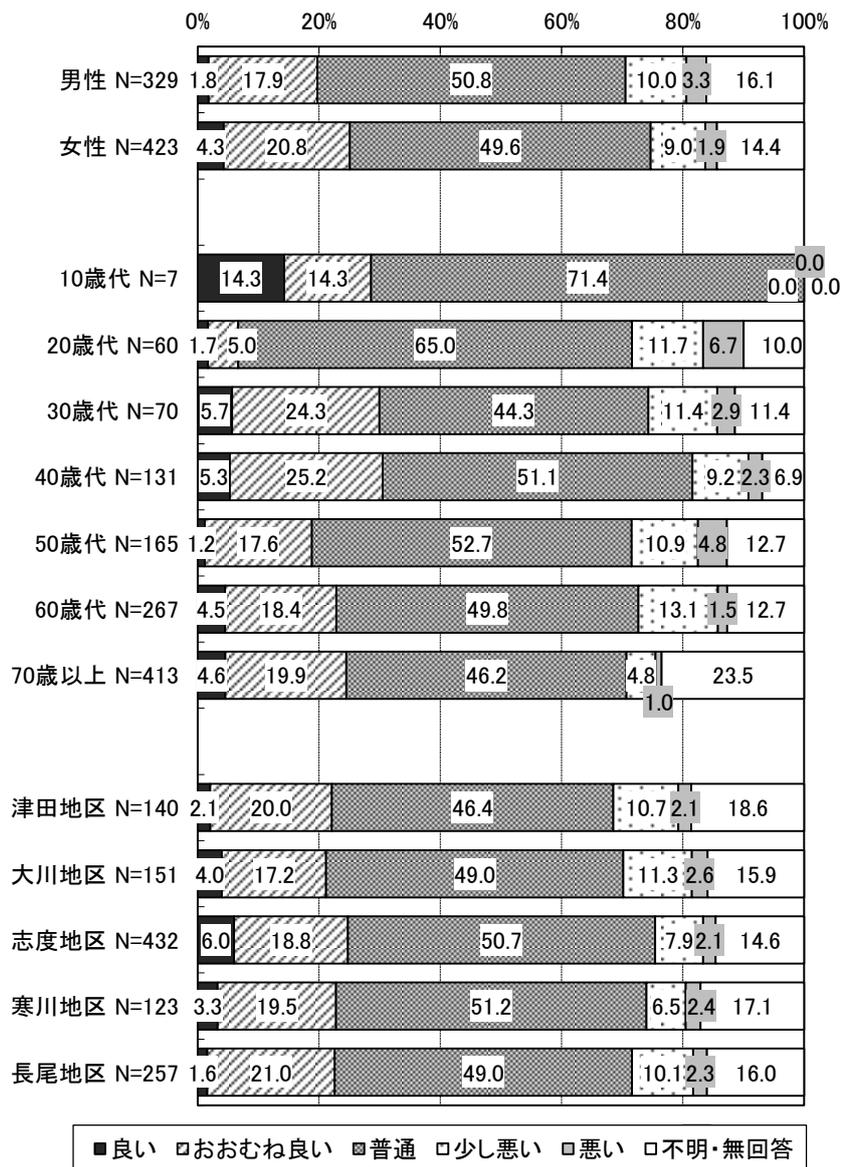
性別では、『良い』と回答された方は、男性が 19.7%、女性が 25.1%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『良い』と回答された方は、30 歳代、40 歳代の子育て世代で 30.0%、30.5%と他の年齢より高くなっています。

居住地区別では、『良い』と回答された方は、志度地区で 24.8%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<評価：子育て環境>



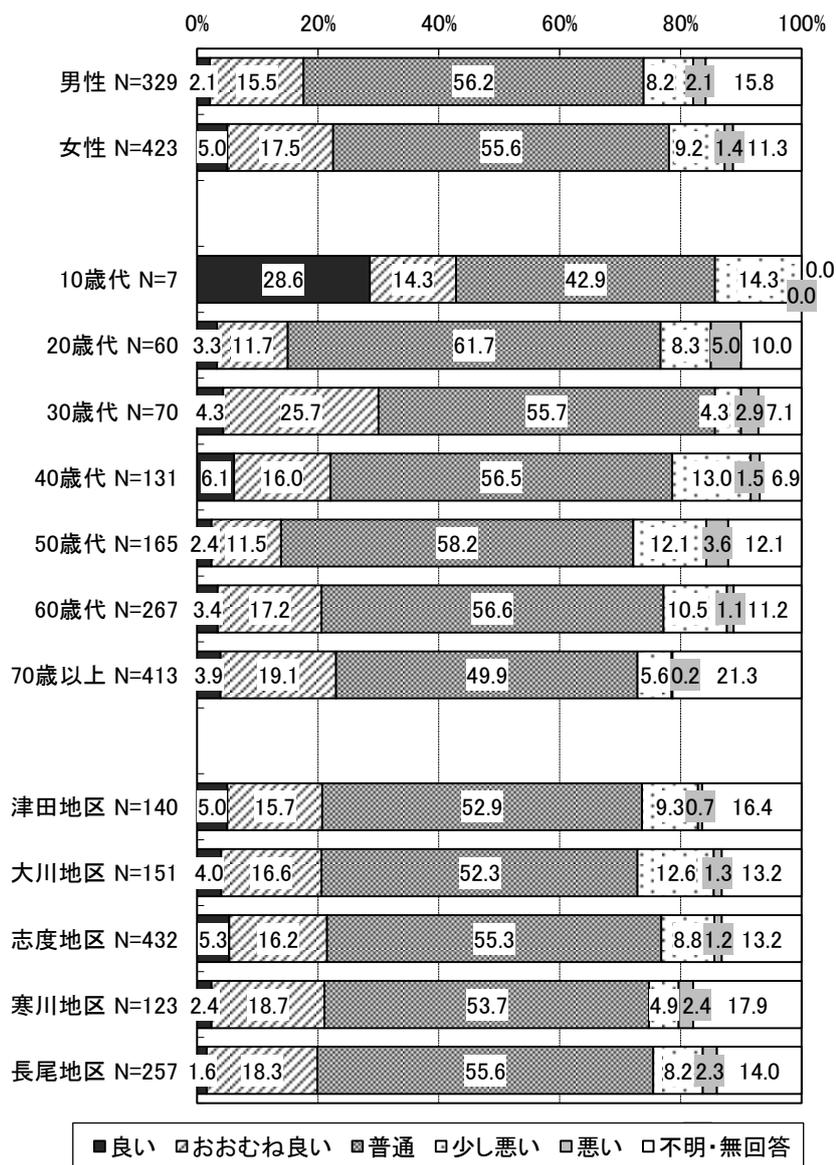
性別では、『良い』と回答された方は、男性が 17.6%、女性が 22.5%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『良い』と回答された方は、10 歳代で 42.9%、30 歳代で 30.0%と他の年齢より高くなっています。

居住地区別では、『悪い』と回答された方は、大川地区で 13.9%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<評価：教育環境>



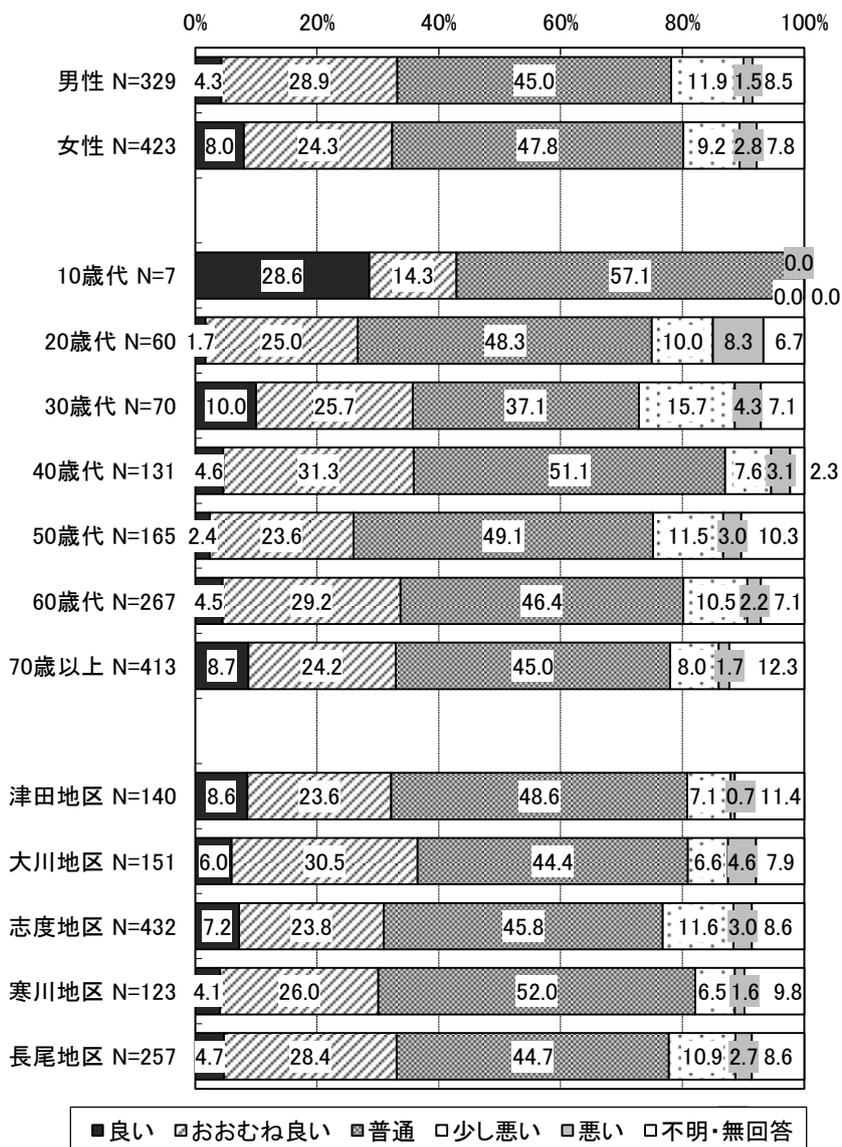
性別では、『良い』『悪い』ともに男女でおおむね同様となっています。

年齢別では、『良い』と回答された方は、30歳代で35.7%、40歳代で35.9%と20歳代から70歳以上の他の年齢より高くなっています。

居住地区別では、『良い』と回答された方は、大川地区で36.5%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

＜評価：居住環境＞



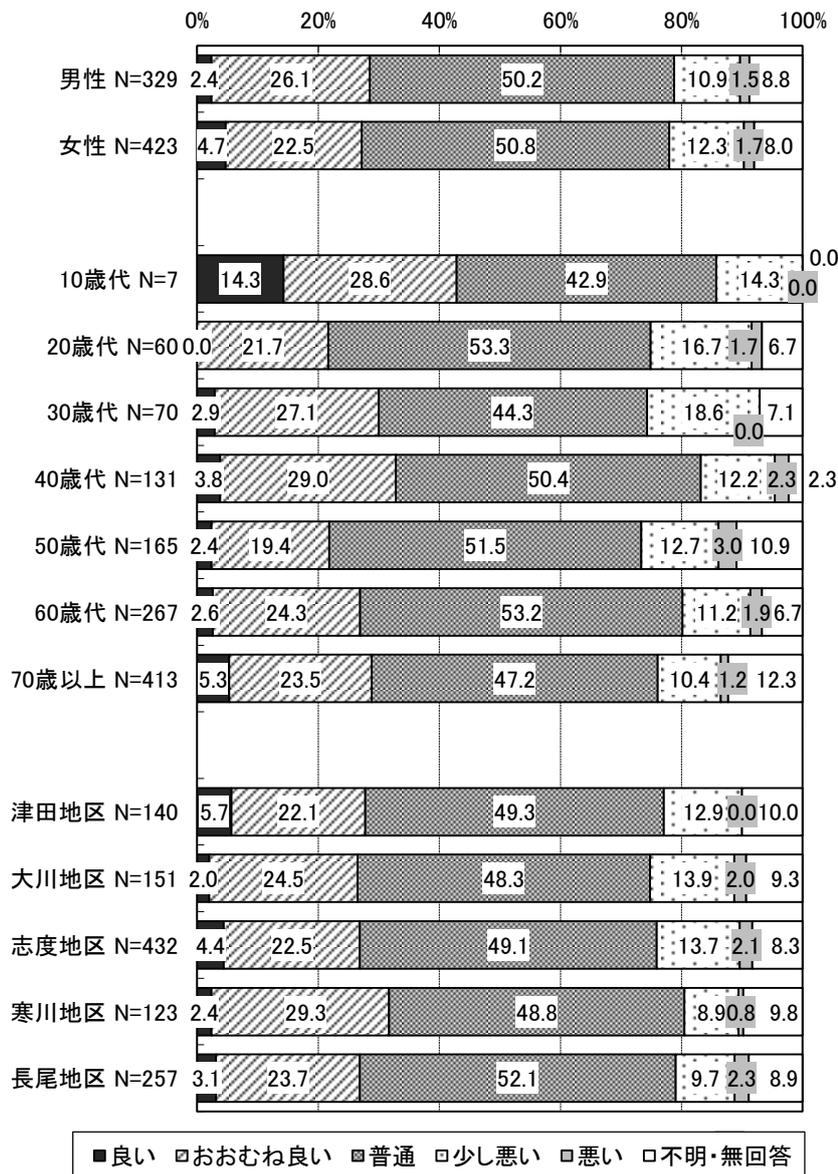
性別では、『良い』『悪い』ともに男女でおおむね同様となっています。

年齢別では、『良い』と回答された方は、20歳代から70歳以上について、40歳代で32.8%と他の年齢より高くなっています。

居住地区別では、『良い』と回答された方は、寒川地区で31.7%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<評価：安心・安全に暮らせる環境>



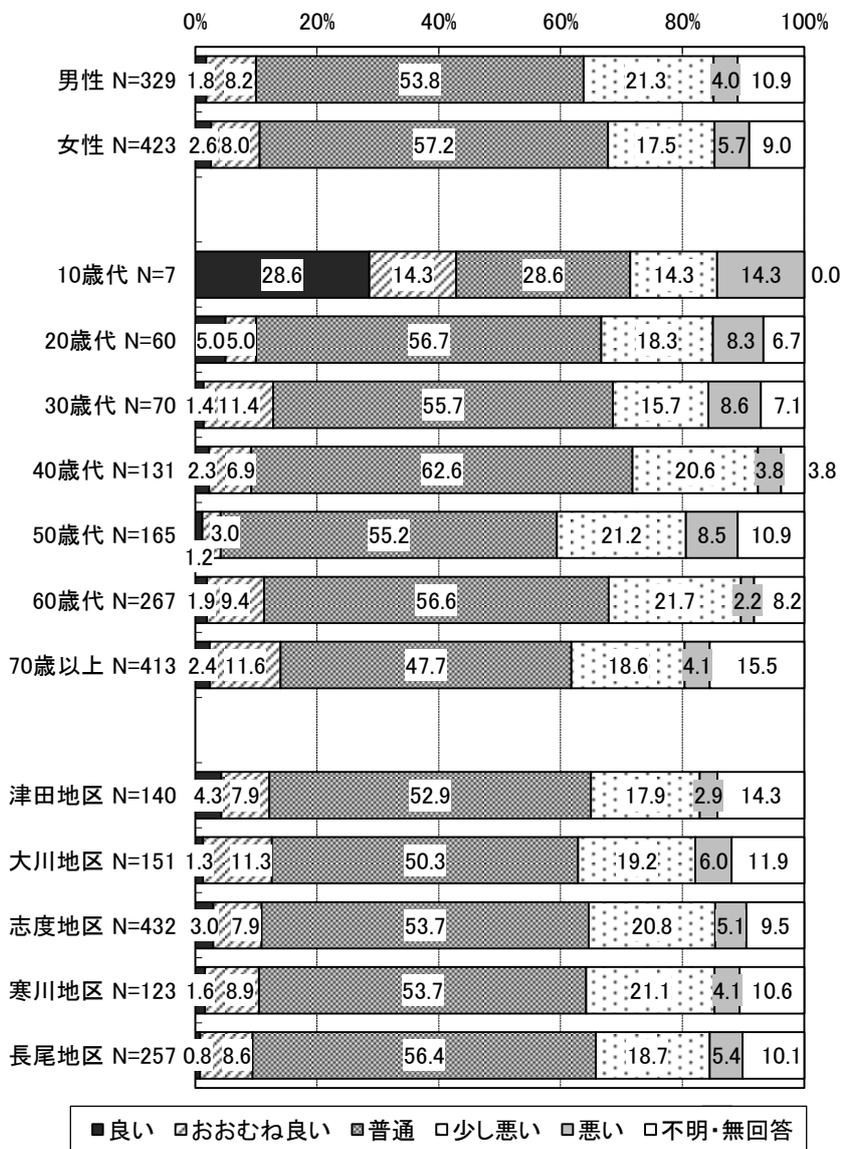
性別では、『悪い』と回答された方は、男性が25.3%、女性が23.2%と、女性より男性の割合が高くなっています。

年齢別では、『良い』と回答された方は、50歳代で4.2%と他の年齢より低くなっています。

居住地区別では、『良い』と回答された方は、長尾地区で9.4%と他の地区より低くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<評価：夢や理想を追い求めることができる環境>

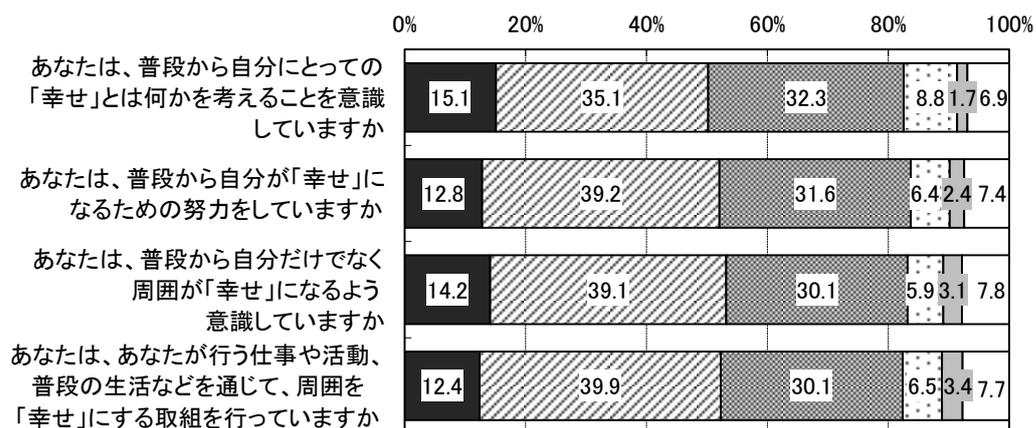


問 24 あなたは、あなた自身の「幸せ」や、あなたの周囲の人などの「幸せ」を高めることについて、どの程度意識し、どの程度取組を行なっていますか（1つに○印）

取組についてみると、『している（している+ややしているの合計）』では、「あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか」が 53.3%、『していない（していない+あまりしていないの合計）』では、「あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか」が 41.1%と最も高くなっています。

＜取組＞

全体 N=1,144



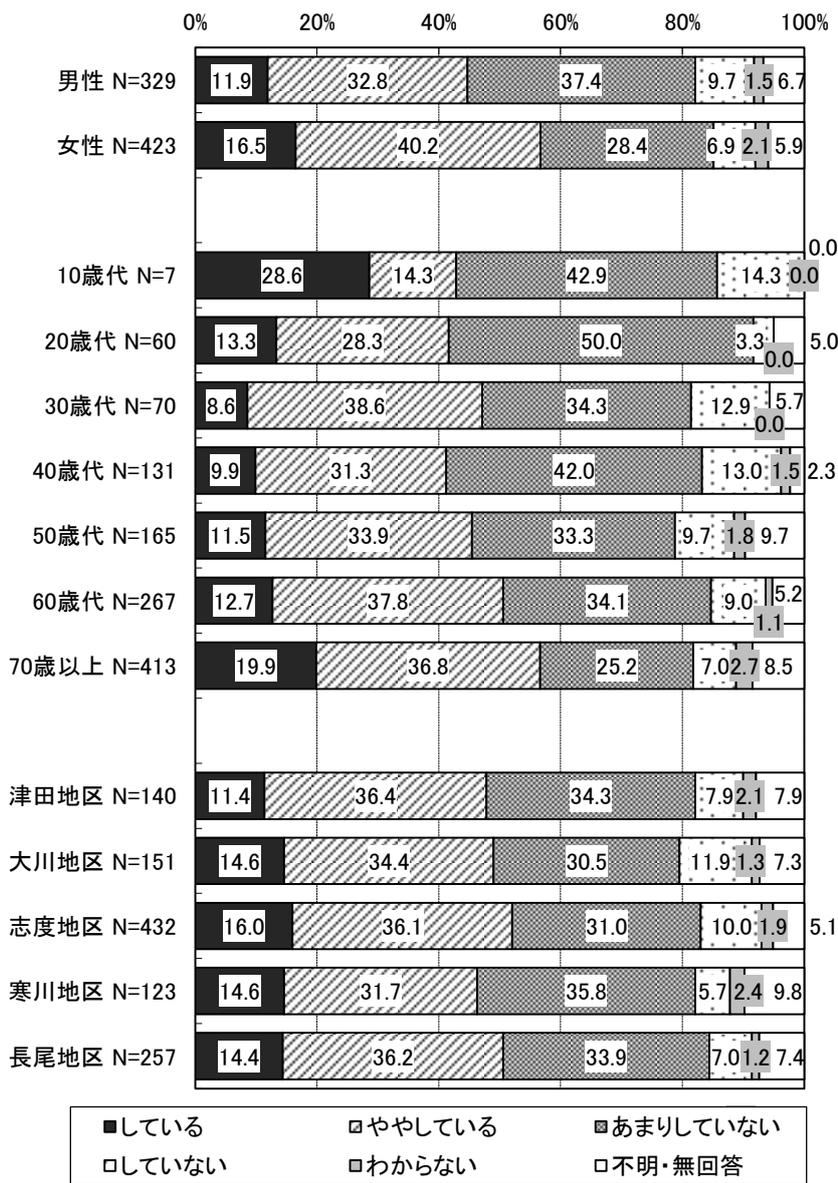
性別では、『している』と回答された方は、男性が44.7%、女性が56.7%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『している』と回答された方は、20歳代で41.6%、40歳代で41.2%と他の年齢より低くなっており、40歳代以降は年齢が上がるほど割合が高くなっています。

居住地区別では、『している』と回答された方は、志度地区で52.1%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<取組：あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか。>



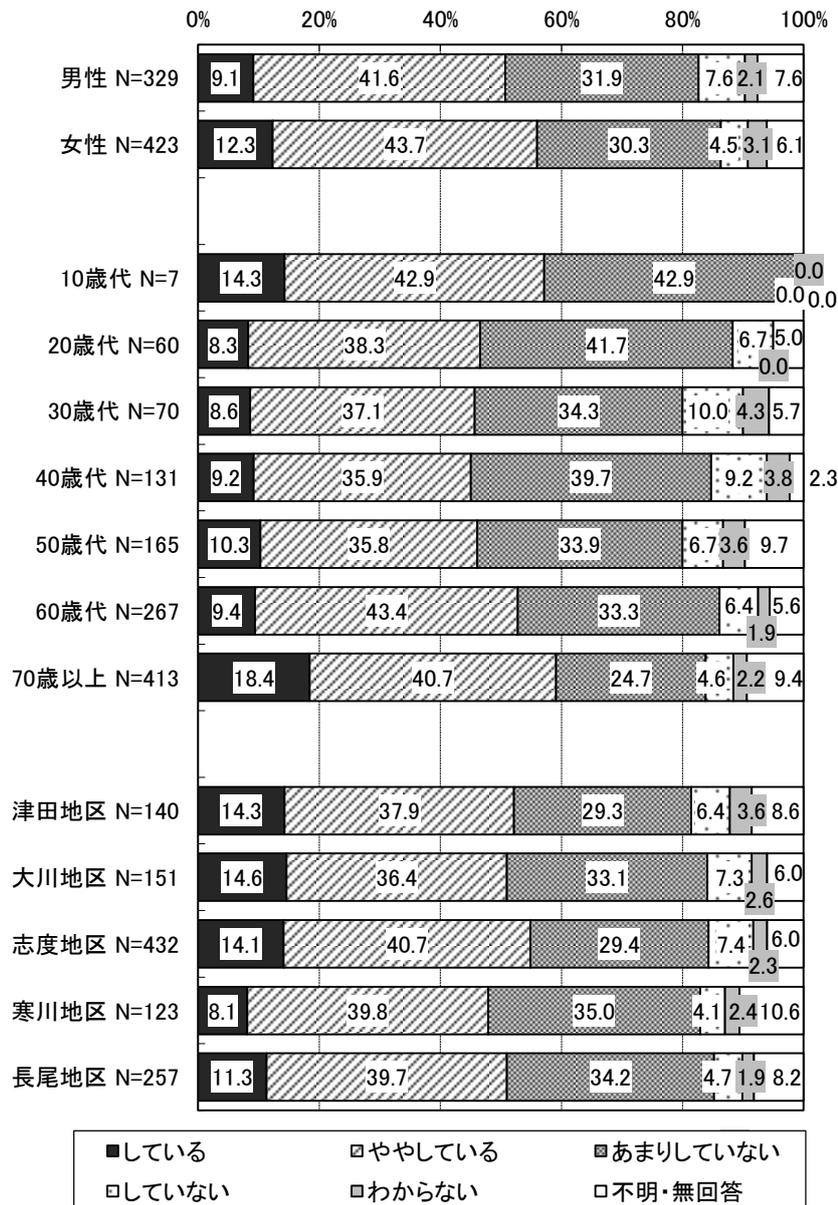
性別では、『している』と回答された方は、男性が50.7%、女性が56.0%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『している』と回答された方は、20歳代から50歳代では4割半ばとなっていますが、60歳代、70歳以上と割合が高くなっています。

居住地区別では、『している』と回答された方は、志度地区で54.8%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

＜取組：あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。＞



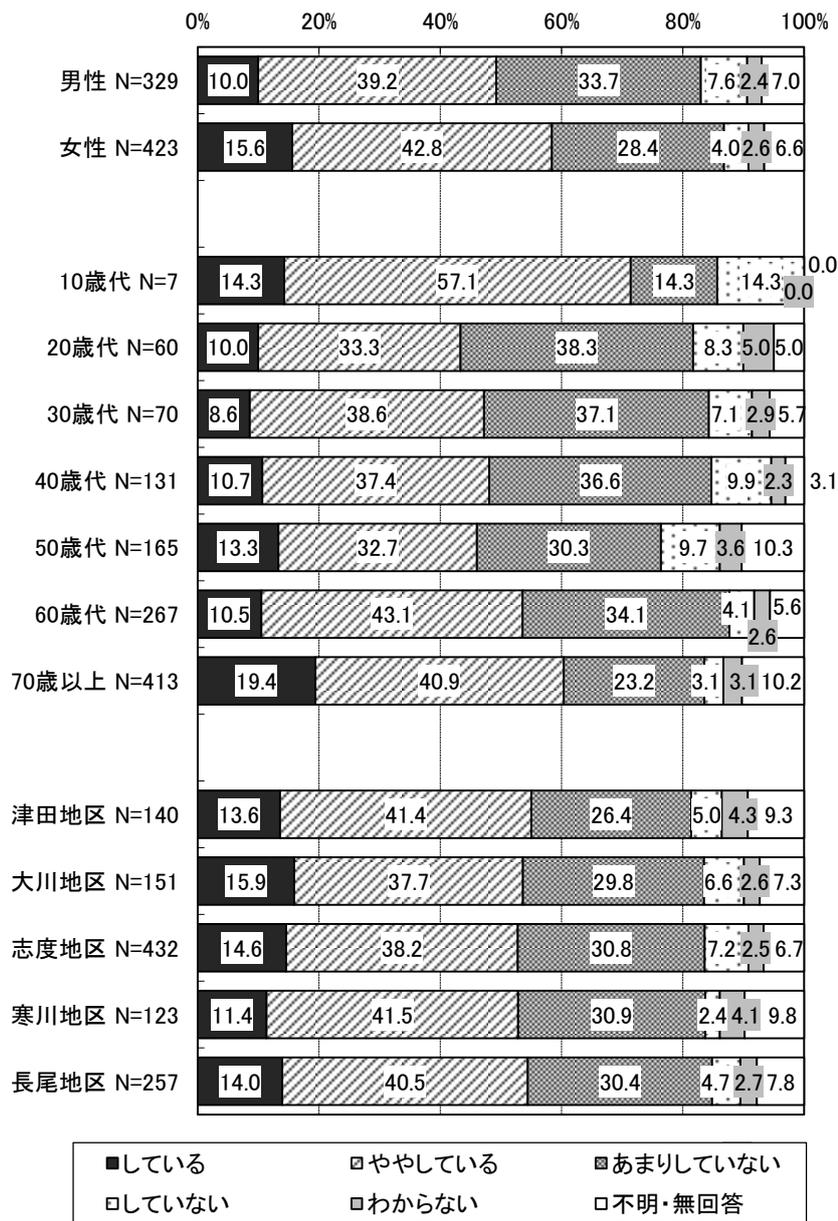
性別では、『している』と回答された方は、男性が49.2%、女性が58.4%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『している』と回答された方は、20歳代から70歳以上について、20歳代が43.3%と他の年齢より低く、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向となっています。

居住地区別では、『していない』と回答された方は、志度地区で38.0%と他の地区より高くなっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

<取組：あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか。>



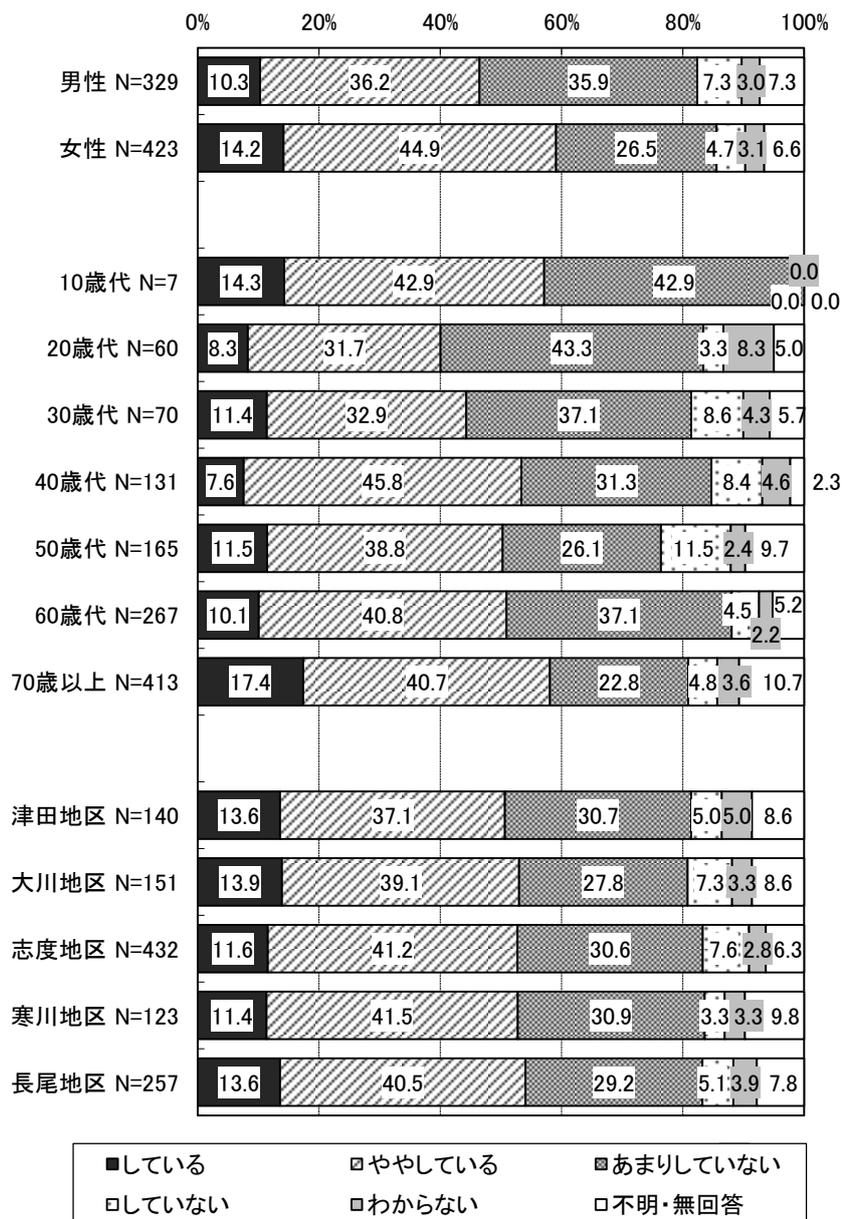
性別では、『している』と回答された方は、男性が46.5%、女性が59.1%と、男性より女性の割合が高くなっています。

年齢別では、『している』と回答された方は、20歳代から70歳以上について、20歳代が40.0%と他の年齢より低く、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向となっています。

居住地区別では、『していない』と回答された方は、志度地区で38.2%と他の地区より高くなっています。

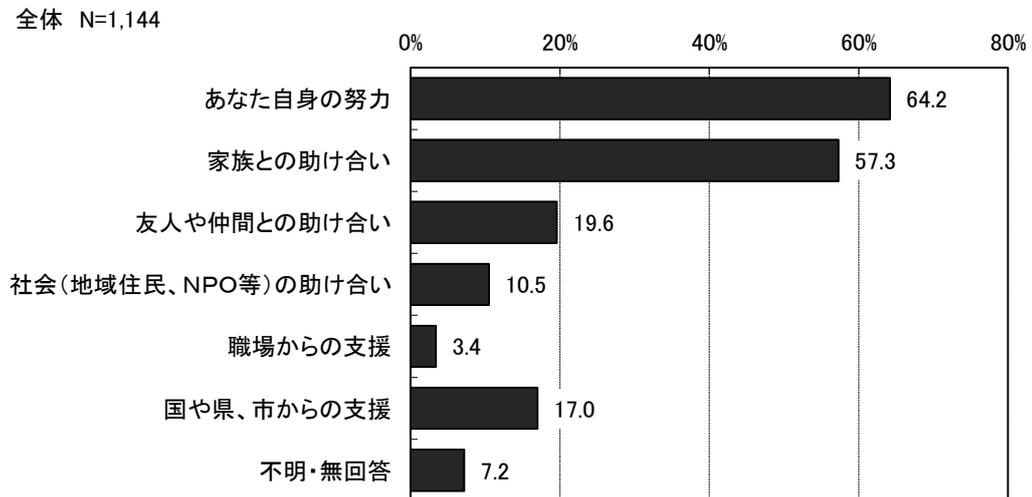
【性別、年齢別、居住地区別】

＜取組：あなたは、あなたが行う仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取組を行っていますか。＞



問 25 あなたの幸福感を高めるために重要と思うことは何ですか（2つまで○印）

幸福感を高めるために重要と思うことは何ですかについてみると、「あなた自身の努力」が64.2%と最も高く、次いで、「家族との助け合い」が57.3%、「友人や仲間との助け合い」が19.6%となっています。



性別では、男性は「あなた自身の努力」が65.0%、女性は「家族との助け合い」が62.2%と最も高くなっています。

年齢別では、上位3位は全体とおおむね同様となっています。

居住地区別では、上位3位は全体とおおむね同様となっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数（人）	あなた自身の努力	家族との助け合い	友人や仲間との助け合い	社会（地域住民、NPO等）の助け合い	職場からの支援	国や県、市からの支援	不明・無回答
性別	男性	329	65.0	51.1	18.5	14.6	3.6	17.3	7.6
	女性	423	61.5	62.2	21.0	7.1	3.3	16.5	6.4
年齢別	10歳代	7	71.4	57.1	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0
	20歳代	60	68.3	41.7	25.0	11.7	8.3	16.7	5.0
	30歳代	70	64.3	54.3	15.7	4.3	5.7	24.3	5.7
	40歳代	131	63.4	58.8	16.8	4.6	6.9	23.7	3.1
	50歳代	165	61.8	48.5	15.8	8.5	9.1	18.2	9.7
	60歳代	267	68.9	61.4	16.5	14.2	0.7	15.4	6.0
	70歳以上	413	61.3	60.8	23.7	11.9	0.5	14.3	8.7
居住地区別	津田地区	140	66.4	57.1	20.7	10.7	2.1	15.0	9.3
	大川地区	151	65.6	59.6	18.5	8.6	2.0	15.2	6.6
	志度地区	432	65.0	59.0	20.4	10.2	3.5	15.7	6.3
	寒川地区	123	56.1	53.7	16.3	17.9	2.4	20.3	9.8
	長尾地区	257	63.0	55.3	19.5	9.3	5.1	20.2	6.6

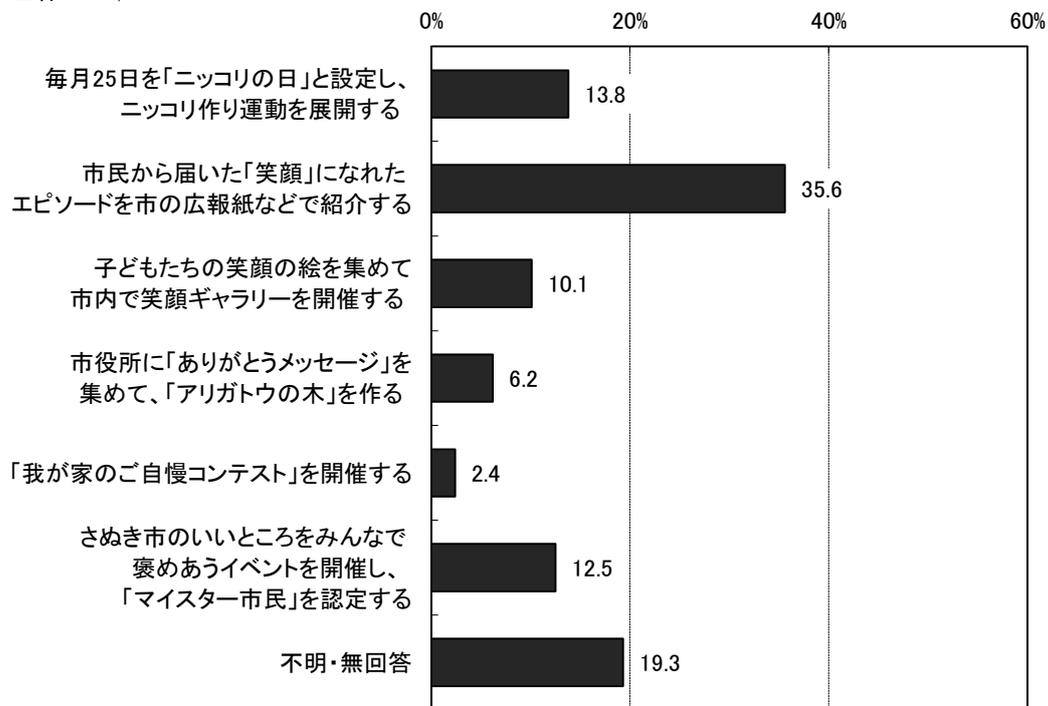
(単位: %)

□ 自由な意見

問 26 誰もが「幸せ」で「笑顔」に暮らせるまちを目指して、さまざまな取組を実施できればと考えています。あなたが見てみたい・参加してみたいと思う取組は何ですか（1つに○印）

見てみたい・参加してみたいと思う取組は何ですかについてみると、「市民から届いた「笑顔」になれたエピソードを市の広報紙などで紹介する」が35.6%と最も高く、次いで、「毎月25日を「ニッコリの日」と設定し、ニッコリ作り運動を展開する」が13.8%、「さぬき市のいいところをみんなで褒めあうイベントを開催し、「マイスター市民」を認定する」が12.5%となっています。

全体 N=1,144



性別では、男女ともに「市民から届いた「笑顔」になれたエピソードを市の広報紙などで紹介する」が最も高くなっています。

年齢別では、10歳代を除くすべての年齢で「市民から届いた「笑顔」になれたエピソードを市の広報紙などで紹介する」、10歳代は「毎月25日を「ニッコリの日」と設定し、ニッコリ作り運動を展開する」が最も高くなっています。

居住地区別では、上位3位は全体とおおむね同様となっています。

【性別、年齢別、居住地区別】

		対象者数（人）	開するコリ	ニッコリの日25日を設定し、ニコニコ作り運動を展開	毎月25日を「ニッコリの日」と設定し、ニコニコ作り運動を展開	紹介する	ドを市に届いたエピソード	顔を市に届いたエピソード	市民から届いたエピソード	ギヤラリ市を開催する	子どもたち笑顔の絵	木を制作する	て、メッセーをアグリガトウの	市役所に「ありがとう	テ「我が家のご自慢コン	する	イベントを市民に認	をみんなで褒め、う	さぬきのいいところ	不明・無回答
性別	男性	329	13.1	35.9	8.5	5.5	1.8	14.0	21.3											
	女性	423	17.5	36.6	9.0	7.3	2.4	10.4	16.8											
年齢別	10歳代	7	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6											
	20歳代	60	8.3	33.3	13.3	11.7	8.3	10.0	15.0											
	30歳代	70	12.9	32.9	21.4	2.9	4.3	15.7	10.0											
	40歳代	131	13.0	31.3	16.0	6.1	2.3	13.7	17.6											
	50歳代	165	17.6	32.1	6.7	6.1	4.2	12.7	20.6											
	60歳代	267	12.7	39.7	7.5	7.9	1.5	14.2	16.5											
	70歳以上	413	14.5	37.0	8.5	5.1	1.2	10.7	23.0											
居住地区別	津田地区	140	16.4	32.9	11.4	5.0	4.3	13.6	16.4											
	大川地区	151	13.2	35.8	9.3	6.0	2.6	12.6	20.5											
	志度地区	432	13.4	33.3	10.2	6.9	2.3	12.5	21.3											
	寒川地区	123	17.1	38.2	9.8	6.5	0.8	10.6	17.1											
	長尾地区	257	12.5	40.1	9.7	5.4	1.9	12.8	17.5											

(単位:%)